

四日市市

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

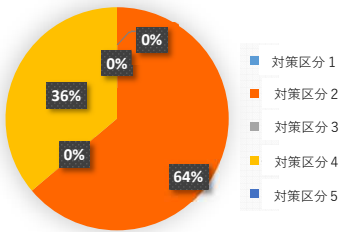
市町名	市町名	三重県
人口（人）	310,019	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	2,865.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	2,497.56	348,833.49
森林率(%)	13.8%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.2	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	小学校支障木伐採 業務委託	3,261,500	3,261,500		3,261,500				
2	2	中学校支障木伐採 業務委託	4,286,700	4,286,700		4,286,700				
3	4	認定こども園備品 整備事業	5,720,000	5,720,000				5,720,000		
4	4	少年自然の家 管理運営事業	1,804,000	1,804,000				1,804,000		
5	2	都市公園危険木 処理事業	4,453,900	4,453,900		4,453,900				
6	4	市民活動センター 運営事業	869,000	869,000				869,000		
7	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,721,042	1,145,000		1,145,000				
8	2	危険木等除去支援事業	396,000	100,000		100,000				
9	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	6,245,800	1,561,450		1,561,450				
計			28,757,942	23,201,550	0	14,808,550	0	8,393,000	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当 額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市は、東側に伊勢湾、西側に鈴鹿山脈に接し伊勢湾沿いには石油化学工業等の発達した中核都市です。四日市市総合計画の基本構想で「環境・防災先進都市」を将来都市像の一つに位置付けており、公害の歴史と教訓から、豊かな環境を基本とした都市整備と、防災力強化を両軸に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指しています。 みえ森と緑の県民税市町交付金を活用することにより、都市公園や地域の里山や竹林を整備し、緑にふれあう環境を整えるとともに、公共施設等での県産材の利用を進めることにより、森への関心、木材利用の意義への理解を深め、緑を身近に感じ大切にしていくことのできる社会づくりを推進します。
事業実施により期待される効果	森林整備や危険木除去を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保されたとともに、整備された場所は子供の遊び場としても利用され、子供が森林にふれあう場を作ることができた。 木製備品を導入したことにより、施設利用者に森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。
情報発信への取組	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るため、ホームページへの掲載と、導入した木製備品へのロゴマークの焼き印をつけた。

第 1 1 号様式（その 1）（参考資料）

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑦ その他（森林整備）	919	919
2	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	3,564	3,564
3	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	4,026	4,026
4	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	4,378	4,378
5	① 意向調査の準備作業	8,422	8,422
6	⑰ 基金積立（森林整備等）	6,703	6,703
7			
8			
9			
10			
	合計	28,012	28,012

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私所有林整備
④ 公有林整備（財産区有林含む）
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他（森林整備）
⑧ 担い手確保
⑨ 林業事業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他（人材育成等）
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他（木材・普及啓発関係）
⑰ 基金積立（森林整備等）
⑱ 基金積立（人材育成等）
⑲ 基金積立（木材利用等）
⑳ 基金積立（執行残額等）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
1	小学校支障木伐採業務委託				
事 業 費	3,261,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,261,500		

1. 事業の目的

四日市市立各小学校において、支障木や危険木の伐採等を行うことにより、台風や強風に起因する倒木や枝折れによる被害を未然に防ぎ、学校関係者の安全を確保する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

小学校の支障木や危険木の伐採等について、造園業者に業務委託を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

四日市市

【実施個所及び箇所数】

2校（笹川小学校・内部東小学校）

【事業量】

笹川小学校 13本 伐採

内部東小学校 7本 伐採

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

学校敷地内の安全が確保され、児童が安心して校庭等を利用できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

教頭だけでなく、用務員等その学校に長年勤務する職員と帯同して学校敷地内を回ることによって、支障木や潜在的に危険のある樹木について発見しやすくしている。

【新たな対策・視点及び改善点】

大きくなりすぎた結果、長年手付かずのままとなっている支障木・危険木を新たな小学校にて伐採等を行うことで、倒木や折れ枝等の被害を予防的に防ぐ。既に取り入れた学校からは好評の声が上がっているため、上記の小学校でも取り入れた。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
1	小学校支障木伐採業務委託				
事 業 費	3,261,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,261,500		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札

小学校敷地内で樹木の伐採を行うことから、安全に作業を行える高度な技術を有している造園業者を選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	学校関係者および地域住民
期待する波及効果	笹川小学校 850人 内部東小学校 1,110人

【公的関与の必要性】

市有施設であるため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

- ・地元ボランティア団体やPTAなどによる奉仕活動、NPO団体及び市費による対応
- ・市立小学校であるため、転用が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	小学校関係者
HP掲載	実施後	小学校関係者

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

・「プール近くの大きく危険な木を伐採してもらったので、安心してプールまで行くことができる。」等の反応があった。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
事業名	小学校支障木伐採業務委託		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
支障木伐採	20 ≦ C < 30	本	1.00	1,339	1,339	
	30 ≦ C < 60	本	1.00	5,099	5,099	
	60 ≦ C < 90	本	5.00	12,652	63,260	
	90 ≦ C < 120	本	3.00	24,005	72,015	
	120 ≦ C < 150	本	3.00	60,461	181,383	
	150 ≦ C < 200	本	5.00	124,529	622,645	
	200 ≦ C < 250	本	2.00	210,000	420,000	
諸経費	共通仮設費				190,191	
	現場管理費				785,498	
	一般管理費				591,458	
	消費税				328,612	
		合計			3,261,500	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	小学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

笹川小学校 着手前



写真2

笹川小学校 着手後



写真3

笹川小学校 工事看板



写真4

内部東小学校 着工前



写真5

内部東小学校 着工後



写真6

内部東小学校 工事看板

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	中学校支障木伐採業務委託				
事 業 費	4,286,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,286,700		

1. 事業の目的

四日市市立各中学校において、支障木や危険木の伐採等を行うことにより、台風や強風に起因する倒木や枝折れによる被害を未然に防ぎ、学校関係者の安全を確保する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

中学校の支障木や危険木の伐採等について、造園業者に業務委託を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

四日市市

【実施個所及び箇所数】

4校（保々中学校・西陵中学校・西笹川中学校・大池中学校）

【事業量】

保々中学校 20本 伐採

西陵中学校 6本 伐採

西笹川中学校 6本 伐採

大池中学校 10本 伐採

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

学校敷地内の安全が確保され、生徒が安心して校庭等を利用できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

教頭だけでなく、用務員等、その学校に長年勤務する職員と帯同して学校敷地内を回ることによって、支障木や潜在的に危険のある樹木について発見しやすくしている。

【新たな対策・視点及び改善点】

大きくなりすぎた結果、長年手付かずのままとなっている支障木・危険木を新たな中学校にて伐採等を行うことで、倒木や折れ枝等の被害を予防的に防ぐ。既に取り入れた学校からは好評の声が上がっているため、上記の中学校でも取り入れた。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	中学校支障木伐採業務委託				
事 業 費	4,286,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,286,700		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
一般競争入札 中学校敷地内で樹木の伐採を行うことから、安全に作業を行える高度な技術を有している造園業者を選定。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	学校関係者および地域住民			
期待する波及効果	保々中：420人 西陵中：360人 西笹川中：450人 大池中学校：1,110人			
【公的関与の必要性】				
市有施設であるため				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
・地元ボランティア団体やPTAなどによる奉仕活動、NPO団体及び市費による対応 ・市立中学校であるため、転用が想定されず、該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
施工看板に掲示	実施中	中学校関係者		
HP掲載	実施後	中学校関係者		
学校だより等掲載	実施後	中学校関係者		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
・「階段付近の木を伐採したため、落ち葉が少なくなり、雨の日などの階段の上り下りがより安全になった。」等の反応があった。				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
事業名	中学校支障木伐採業務委託		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
支障木伐採	20 ≦ C < 30	本	5.00	1,339	6,695	
	30 ≦ C < 60	本	8.00	5,099	40,792	
	60 ≦ C < 90	本	12.00	12,652	151,824	
	90 ≦ C < 120	本	6.00	24,005	144,030	
	120 ≦ C < 150	本	3.00	60,461	181,383	
	150 ≦ C < 200	本	5.00	124,529	622,645	
	200 ≦ C < 250	本	3.00	210,000	630,000	
諸経費	共通仮設費				244,513	
	現場管理費				1,032,386	
	一般管理費				792,485	
	消費税				439,947	
		合計			4,286,700	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

7の(1).写真



写真1

保々中学校 着工前



写真2

保々中学校 着工後



写真3

保々中学校 工事看板



写真4

西陵中学校 着工前



写真5

西陵中学校 着工後



写真6

西陵中学校 工事看板

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校支障木伐採業務委託
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

西笹川中学校 着工前



写真2

西笹川中学校 着工後



写真3

西笹川中学校 工事看板



写真4

大池中学校 着工前



写真5

大池中学校 着工後



写真6

大池中学校 施工看板

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	認定こども園備品整備事業				
事 業 費	5,720,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,720,000		

1. 事業の目的

神前こども園に木製の机及び椅子を導入し、木材と市民の関係を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

神前こども園に三重県産材を活用した机及び椅子を導入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

四日市市

【実施箇所及び箇所数】

1箇所

【事業量】

机50個、椅子181脚

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

園児及び教職員等が三重県産材を活用した机及び椅子を利用することによって、木材とのふれあいが進む。机及び椅子とふれあい、実際に使用することで、木材の性質や特性について実体験できる“学びの場”になる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

三重県材を活用した備品を配置することにより、施設の利用者等に森林が保全されることの意義を周知する。

施設内の掲示板に掲示、園だよりの配布を行うなどする。

【新たな対策・視点及び改善点】

施設の教職員や多くの保護者が集まるイベント開催時に啓発活動等を行うなどする。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	認定こども園備品整備事業				
事 業 費	5,720,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,720,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
調達契約課により選定された業者で指名競争入札を行い、最も低額であった業者。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	園児100人、保育所関係者30人			
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる			
【公的関与の必要性】				
公立のこども園の整備				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
園での管理を行う				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中	シール、焼印によりみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを周知する。		
回覧板・掲示板	今後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、園の掲示板に掲示する。		
学校だより等掲載	今後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、園だよりに掲載する。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市
事業名	認定こども園備品整備事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
神前こども園	机	台	50.00	63,272	3,163,600	県産材使用
神前こども園	椅子（0～3歳児用）	脚	88.00	12,925	1,137,400	県産材使用
神前こども園	椅子（4～5歳児用）	脚	90.00	14,993	1,349,370	県産材使用
神前こども園	箱型椅子	脚	3.00	23,210	69,630	県産材使用
		合計			5,720,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	認定こども園備品整備事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

園児机



写真2

園児椅子



写真3

ロゴマーク 机



写真4

ロゴマーク 椅子



写真5

園児使用の様子



写真6

園児椅子 箱型

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	木とふれあう環境づくり事業(少年自然の家管理運営費)				
事 業 費	1,804,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,804,000		

1. 事業の目的

四日市市少年自然の家において、三重県産材を活用したテーブルやベンチ等の備品を導入することにより、施設の利用者に対し、森林や木材についてふれあい、学ぶ機会を提供し、森と県民の関係を深めることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

四日市市少年自然の家において、三重県産材を活用したテーブルやベンチ等の備品を導入する。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

四日市市

【実施箇所及び箇所数】

四日市市少年自然の家 1 箇所

【事業量】

ベンチ29台、机(1800×900×700) 6 台、机 (1200×750×700) 5 台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

三重県産材を活用した備品を配置することにより、施設の利用者に森林や木材についてふれあい、学ぶ機会を提供し、森と県民の関係を深めるとともに、環境に対する意識を高める効果が期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

- ・利用者に里山保全活動等を通して、森林等が保全されることの意義を広く周知する。
- ・小中学校等が実施する自然教室、施設が実施する主催事業において、木製備品を活用し里山保全等の森林環境教育を行う。

【新たな対策・視点及び改善点】

- ・施設が実施する主催事業において「里山体験キャンプ」を実施し、里山保全等の森林環境教育を実施した。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
4	木とふれあう環境づくり事業(少年自然の家管理運営費)				
事 業 費	1,804,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,804,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	小売業者	補助事業ではない		指名競争入札にて購入した。

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

指名競争入札
木製机、木製椅子の製作の実績のある三重県内の業者から選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	利用者（市内外の小中学校、青少年団体、主催事業の参加者等）	約20,000人
期待する波及効果	リピーターの増加が期待できる。また、利用者家族への波及効果も期待できる。	

【公的関与の必要性】

市が管理運営を委託している施設である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市の備品であり、施設管理者へ貸付を行い管理を委託する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用して購入した備品について紹介した。
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	購入した備品にロゴマークの焼き印を付けた。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

4. 効率性：主な経費内訳

4-19

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	少年自然の家管理運営事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

机（1200×750×700）



写真2

ベンチ



写真3

机（1800×900×700）



写真4

ベンチ



写真5

みえ森と緑の県民税ロゴマーク 焼き印



写真6

みえ森と緑の県民税ロゴマーク 焼き印

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
5	都市公園危険木処理事業				
事 業 費	4,453,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,453,900		

1. 事業の目的

南部丘陵公園、垂坂公園・羽津山緑地等において、危険木の伐採をおこなうことで、台風に起因する倒木や枝折れを未然に防ぎ、利用者の安全を確保する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

南部丘陵公園、垂坂公園・羽津山緑地等における樹木等の伐採作業等について、業者に委託する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

四日市市

【実施箇所及び箇所数】

南部丘陵公園、垂坂公園・羽津山緑地、三重城山緑地、鵜の森公園

【事業量】

危険木伐採 58本、支障枝剪定 10本、支障竹伐採 100㎡

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

利用者及び通行者の安全性が確保され、利用者が安心して公園を利用することができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

利用者が多い箇所に近接する枯木を優先的に伐採する。

【新たな対策・視点及び改善点】

枯れそうな樹木を早期に発見し、倒木による事故を未然に防ぐよう努める。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
5	都市公園危険木処理事業				
事 業 費	4,453,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,453,900		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

園路脇等の伐採作業は高度の技術を要するため、現場経験豊富な地元造園業者へ委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	利用者
期待する波及効果	安全が確保される

【公的関与の必要性】

公共施設である公園等の利用者の安全を確保する必要があるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

特になし。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税を活用した取組としてホームページに掲載する。
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業である施工看板を設置

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
事業名	都市公園危険木処理事業		

4. 効率性：主な経費内訳

鵜の森公園

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採(吊り切り、 $90 \leq C < 120$ 、処分含む)	本	1	181,000	181,000	
危険木伐採($60 \leq C < 90$ 、処分含む)	本	1	31,000	31,000	
諸経費	式	1	61,000	61,000	
消費税	式	1		27,300	
事業費				300,300	

南部丘陵公園①

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険竹伐採	m ²	100	4,100	410,000	
諸経費	式	1	40,000	40,000	
消費税	式	1		45,000	
事業費				495,000	

南部丘陵公園②

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採	本	3	40,000	120,000	
諸経費	式	1	10,000	10,000	
消費税	式	1		13,000	
事業費				143,000	

三重城山緑地

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採($90 \leq C < 120$ 、処分含む)	本	1	241,000	241,000	
諸経費	式	1	49,000	49,000	
消費税	式	1		29,000	
事業費				319,000	

南部丘陵公園及び垂坂公園・羽津山緑地

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
危険木伐採($30 \leq C < 60$)	本	3	5,101	15,303	
危険木伐採($60 \leq C < 90$)	本	17	12,660	215,220	
危険木伐採($90 \leq C < 120$)	本	17	24,010	408,170	
危険木伐採($120 \leq C < 150$)	本	8	50,330	402,640	
危険木伐採($150 \leq C < 180$)	本	7	67,660	473,620	
支障枝剪定	本	10	14,375	143,750	
諸経費	式	1	2,206,297	1,247,297	
消費税	式	1		290,600	
事業費				3,196,600	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	都市公園危険木処理事業
-----	-------------

7の(1). 写真



写真1

鵜の森公園 伐採前



写真2

鵜の森公園 伐採後



写真3

南部丘陵公園 伐採前



写真4

南部丘陵公園 伐採後



写真5

垂坂公園・羽津山緑地 伐採前



写真6

垂坂公園・羽津山緑地 伐採後

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	都市公園危険木処理事業
-----	-------------

7 の（1）. 写真



写真1
三重城山緑地 伐採前

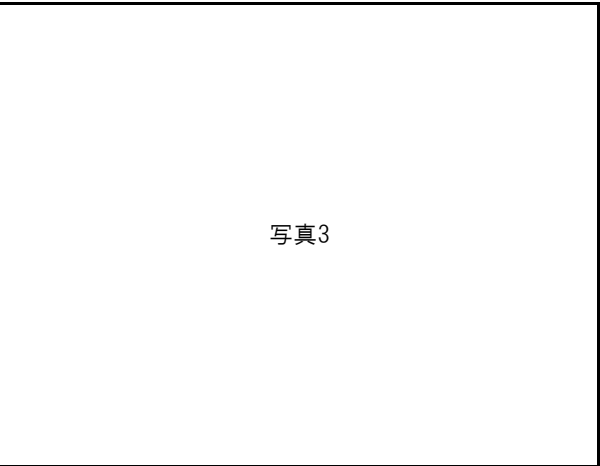


写真3

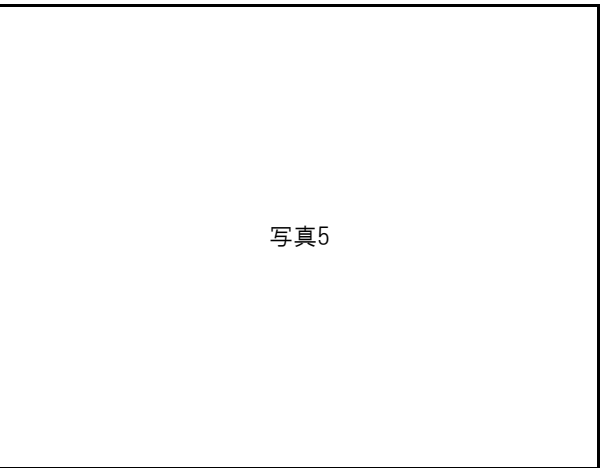


写真5



写真2
三重城山緑地 伐採後

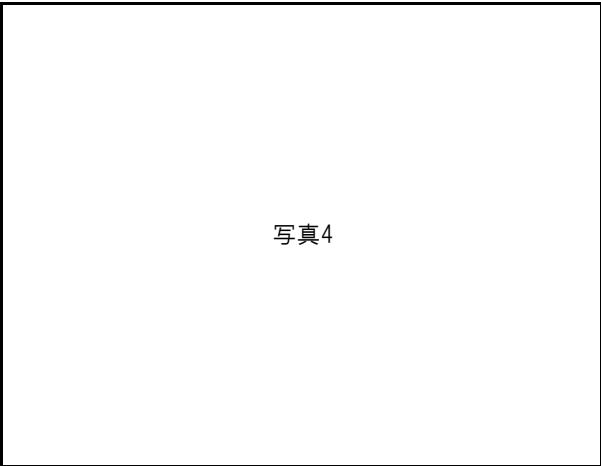


写真4

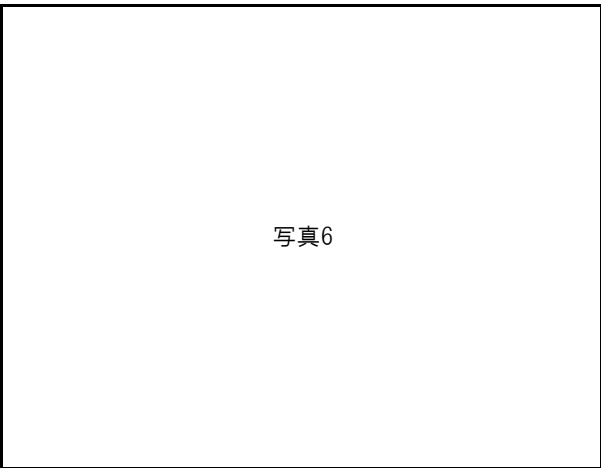


写真6

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
6	木とふれあう環境づくり事業(市民活動センター運営費)				
事 業 費	869,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			869,000		

1. 事業の目的

市民活動の拠点である市民活動センター「なやプラザ」において、施設の利用促進を目的として、来館者にとってさらに魅力のある空間とするために三重県材を活用した壁面設置用ルーバーパネルを導入することで、施設利用者に対し、森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森林に対する県民の意識向上に繋げる。

2. 事業実績概要

【事業内容】

令和元年度に三重県材を用いた机及び椅子を導入し、令和 2 年度に木質床パネルを設置した市民活動センター「なやプラザ」内のフリースペースについて、三重県材壁面設置用ルーバーパネルを設置する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

四日市市

【実施個所及び箇所数】

1 箇所

【事業量】

県産材壁面設置用ルーバーパネル 7 台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

三重県材を活用した設備を導入することにより、施設利用者へ、森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森林の役割や木材利用の意義について考えるきっかけとなることが期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

当該事業において木製設備を導入したスペースは、施設内のフリースペースであり、施設利用者に対し、当該スペースの利用を呼びかける中で、三重県材を用いた木製設備・備品が整備されている旨も積極的に周知していく。

【新たな対策・視点及び改善点】

来館者にとって魅力ある空間となるよう、三重県材を活用したエリアをさらに拡充した。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
6	木とふれあう環境づくり事業(市民活動センター運営費)				
事 業 費	869,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			869,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

本市の過去の交付金事業において入札のあった事業者など、県産材を活用した事業について対応可能な事業者から、見積合せにより選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	施設利用者（R3年度：26,278人/年間）
期待する波及効果	施設利用者からの口コミによる波及効果も期待できる

【公的関与の必要性】

本市が管理する公的施設の施設整備の一環として実施する事業であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当該施設は指定管理による運営となっているため、当該事業において導入した木製設備は、指定管理者により長期にわたり利用できるよう適正に管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示	実施後	交付金事業による導入品であることを示すシールを導入設備に貼付する
広報誌掲載	実施後	施設の広報誌に「みえ森と緑の県民税」を活用し、木製設備を導入したことを掲載するなどして周知を図る。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市
事業名	市民活動センター運営事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
なやプラザ	ルーバーパネルW910	台	6.00	115,500	693,000	
なやプラザ	ルーバーパネルW990	台	1.00	176,000	176,000	
		合計			869,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	市民活動センター運営事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

工事実施前



写真2

工事実施中①

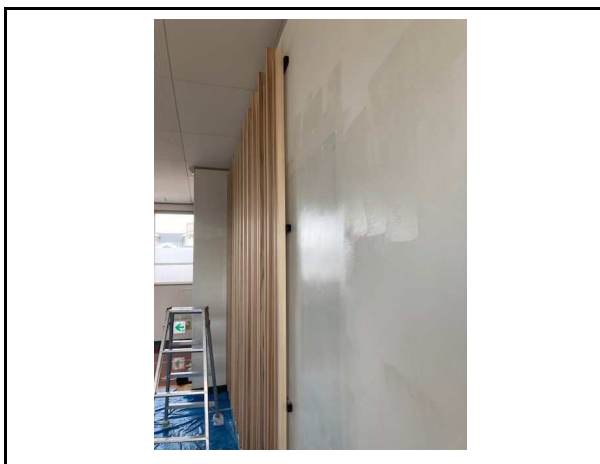


写真3

工事実施中②



写真4

工事実施後①

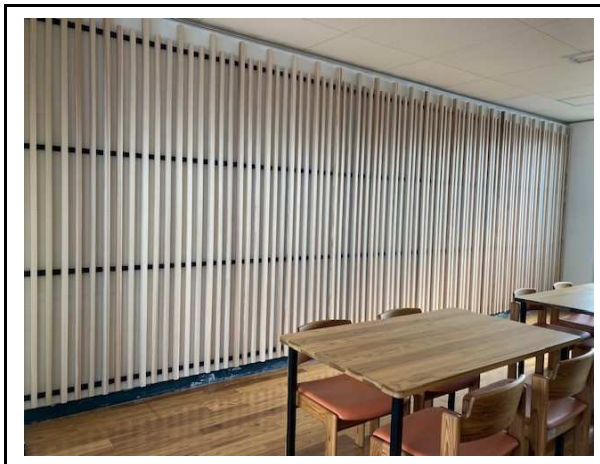


写真5

工事実施後②



写真6

「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」シール

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	市民活動センター運営事業
-----	--------------

7 の（2）. その他資料

○配布チラシ

みえ森と緑の県民税を活用して
ふらっとサロン
 リニューアルしました！

なやプラザ2階



利用料：無料

【利用可能時間】
 なやプラザ開館時間

【遵守事項】

- ・共有スペースのため、できるだけ多くの方が利用できるように、場所は譲り合って利用してください。
- ・飲食は可能です。ただし、ゴミはお持ち帰りください。

 ふらっとサロンの机、椅子、床面パネル、壁面ルーバーパネルは、「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を活用して導入しました。
 （活用年度：令和元年度、令和2年度、令和3年度）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
7	里山・竹林環境保全支援事業				
事 業 費	1,721,042 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,145,000		576,042

1. 事業の目的

市内の里山保全活動団体等が地域住民の憩いの場としての利用や安全性の確保を目的として、自主的に里山や竹林を整備する取組みを支援して、持続的な活動に資することを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市内の地域団体が自主的に里山や竹林を整備する取組みに対して、事業費の一部を支援する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

自治会等の地域団体

【実施箇所及び箇所数】

3 箇所

【事業量】

<中村町自主防災クリーン隊> 事業費：228,610円 うち補助金：171,000円

<山一里地・里山クラブ> 事業費：859,663円 うち補助金：500,000円

<ネクストステップ研究会> 事業費：632,769円 うち補助金：474,000円

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

荒廃した里山や竹林が再生され、憩いの場や安全性が確保されるとともに、生物多様性の保存に資することが期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

広く市民からの相談窓口となる市民センターに周知することで、本補助事業制度を市民に知ってもらう機会を増やした。

【新たな対策・視点及び改善点】

市民への事業のPRを行うことで、自主的な里山・竹林整備を行う活動団体を増やし、持続的な管理に繋げていく。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
7	里山・竹林環境保全支援事業				
事 業 費	1,721,042 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,145,000		576,042

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	3/4以内	500,000	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

公募による実施
活動内容が事業の内容に適合している自治会等に補助している。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	中村町：約450名 平尾町：約625名 山之一色町：約558名
期待する波及効果	倒竹除去により下草刈りが可能、道路の見通しがよくなる等

【公的関与の必要性】

荒廃した里山や竹林を再生させることで市民生活の安全性や生物多様性を確保することができる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当該地の転用規制等は困難であるが、適正利用について確認済みである。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、ホームページに掲載する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
事業名	里山・竹林環境保全支援事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
事業費補助(自主防災クリーン隊)		件	1.00	228,610	228,610	
事業費補助(ネクストステップ)		件	1.00	632,769	632,769	
事業費補助(山一里地・里山クラブ)		件	1.00	859,663	859,663	
		合計			1,721,042	

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山・竹林環境保全支援事業
-----	---------------

7 の (1) . 写真



写真1
ネクストステップ 施行前写真
(メリノール学院駐車場正面から撮影)



写真2
ネクストステップ 施行後写真
(メリノール学院駐車場正面から撮影)



写真3
山一里地・里山クラブ 施行前
(山之一色町字茨谷1443)



写真4
山一里地・里山クラブ 施行後
(山之一色町字茨谷1443)



写真5
中村町自主防災クリーン隊 施行前
(中村町中山1510-1)



写真6
中村町自主防災クリーン隊 施行後
(中村町中山1510-1)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
8	危険木等除去支援事業				
事 業 費	396,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			100,000		296,000

1. 事業の目的

地域において緑豊かで安全な生活環境を保全するため、土地所有者等に代わって自治会等が実施する道路沿いの危険木等の伐採作業に対して支援する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

自治会等が実施する危険木等の伐採作業に対して、事業費の一部を支援する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

自治会等の地域団体

【実施個所及び箇所数】

松原連合自治会所有の聖武天皇社敷地内 1 か所

【事業量】

危険木 1 本伐採

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

地域の安全性が確保される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

広く市民からの相談窓口となる市民センターに周知することで、本補助事業制度を市民に知ってもらう機会を増やした。

【新たな対策・視点及び改善点】

多数の自治体等が危険木の伐採に取り組むように、市民への事業のPRを行っていく。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
8	危険木等除去支援事業				
事 業 費	396,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			100,000		296,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	3/4以内	100,000	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

公募による実施
活動内容が事業の内容に適合している自治会等に補助している。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地域住民
期待する波及効果	約1,000名（松原町）

【公的関与の必要性】

通行の支障またはおそれのある危険木を除去することで地域の安全性を確保することができる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当該地の転用規制等は困難であるが、適正利用について確認済みである。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図る。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
事業名	危険木等除去支援事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
事業費補助(松原連合自治会)		件	1.00	396,000	396,000	
		合計				

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木等除去支援事業
-----	------------

7 の（1）. 写真



写真1

施行前



写真2

施行後

写真3

写真4

写真3

写真4

写真5

写真6

写真5

写真6

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
9	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	6,245,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,360,900	200,550	4,684,350

1. 事業の目的

市内において、台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採し、ライフラインの維持及び住民の生命や財産を守ることを目的にする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

四日市市

【実施箇所及び箇所数】

1 箇所

【事業量】

樹木伐採 4 8 本 樹木枝払 8 本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

ライフラインが寸断される恐れのある樹木を除去することで近隣住民の安全性が確保された。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

ライフライン事業者、県と協議し効果の高い事前伐採地域を検討した。

【新たな対策・視点及び改善点】

伐採する地域の検討を早期から行う。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
9	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	6,245,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,360,900	200,550	4,684,350

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札
2 級以上の造園技能士又は街路樹剪定士を有する造園業者を参加資格とした。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	智積町：約1,800名 川島町北部：約1,200名
期待する波及効果	市民の安全性確保

【公的関与の必要性】

ライフラインが寸断される恐れのある樹木を除去することで市民の安全性を確保することができる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当該地の転用規制等は困難であるが、適正利用について確認済みである。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図る。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
樹木伐採		本	56.00	下記参照	2,553,390	
運搬		m3	71.00	3,754	266,534	
処分		t	28.00	13,000	364,000	
諸経費	共通仮設				268,325	
	現場管理費				1,340,990	
	一般管理費				963,739	
	消費税				488,822	
事業費					6,245,800	
作 業 内 容	名 称	単位	数量	単価	金額	備 考
樹木伐採	枝払	本	8.00	50,000	400,000	
	幹周30cm以上60cm未満	本	13.00	12,780	166,140	
	幹周60cm以上90cm未満	本	13.00	23,410	304,330	
	幹周90cm以上120cm未満	本	14.00	38,000	532,000	
	幹周120cm以上150cm未満	本	4.00	84,230	336,920	
	幹周150cm以上200cm未満	本	4.00	203,500	814,000	
	計				2,553,390	
		合計				

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の（1）. 写真



写真1

施行前



写真2

施工中



写真3

施行後



写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

桑名市

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（「三重県市町要覧（令和 3 年度版）」「令和 2 年度森林・林業統計書」より）

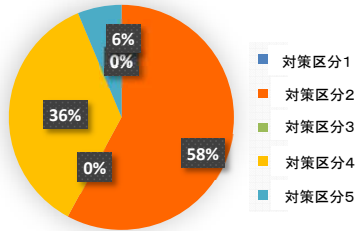
市町名	桑名市	三重県
人口（人）	138,976	1,771,855
年少人口割合（％）＊ 1	13.1%	12.2%
森林面積(ha)	2,960.03	372,119.91
民有林面積(ha)＊ 2	2,871.36	348,600.78
森林率(%)	22.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊ 3	9.2	10.4

＊ 1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊ 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊ 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5
1	5	播磨 2 号緑地里山整備事業	534,000	534,000					534,000
2	2	里山再生・竹林整備推進事業	4,931,000	4,931,000		4,931,000			
3	4	学校の森 再生事業	3,055,000	3,055,000				3,055,000	
4	4	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,113,000	0					5,113,000
計			13,633,000	8,520,000	0	4,931,000	0	3,055,000	534,000

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市は木曾三川の河口部に位置し、森林率は約22％と、県平均と比較すると低い値となっている。林業活動はほとんど実施されていないが、一方で古くからタケノコ生産が盛んであり、市内各地に竹林が存在している。しかし、近年は地域の森林への関心が低下し、十分な手入れが行き届かず、荒廃した里山や竹林が増加傾向にある。このため本市では、みえ森と緑の県民税を活用し、市民団体と連携して身近な里山や竹林を整備する活動を通じて「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進に取り組む。
事業実施により期待される効果
里山や竹林の整備に関わり、また整備された里山や竹林に触れることにより得られる癒しの効果を通して、人々の暮らしと森林環境との関わりに対する理解が深まった。
情報発信への取組
現場での看板設置や、ポスター配置・チラシ・ホームページでの活動紹介など、事業活用の現場であること、県産材の活用であることを重点的にアピールし情報共有を推進した。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		（千円）	内、譲与税（千円）
1	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	4,400	4,400
2	⑲ 基金積立（木材利用等）	10,133	10,133
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	14,533	14,533

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	播磨 2 号緑地里山整備事業				
事 業 費	534,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			534,000	0	0

1. 事業の目的

荒廃した山を里山として山道などを整備し、緑の自然と身近にふれあう場を提供し、自然学習の場、地域活性の場、健康づくりの場として利活用する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

枯木・危険木の撤去、樹木の間伐、樹木剪定、剪定枝等をチップ化した木チップを利用した散策路の整備、湧水(水路)の整備

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

桑名市

【実施箇所及び箇所数】

1 箇所（播磨 2 号緑地内）

【事業量】

0.46ha

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

- ・ 樹木の整理や沢の整備による土砂流出の防止
- ・ 危険な樹木を撤去し、公園利用者の安全確保や近隣住民の生活環境の保護
- ・ 緑の自然と身近にふれあう場、自然学習の場、地域活性の場、健康づくりの場としての利活用

【効果を発揮させるための工夫・取組】

- ・ 当事業により整備した里山における市内の小学校やボランティア団体による森林環境教育の実施
- ・ 里山散策路の開放

【新たな対策・視点及び改善点】

県民税利用の広報強化のため、HP への掲載やのぼりの設置、イベント時の県民税 PR といった周知に努めた。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	播磨 2 号緑地里山整備事業				
事 業 費	534,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			534,000	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

委託先である「ホテルとなかまの会」は、現地でゲンジボタルの保護活動を行っている団体であり、市と播磨2号緑地の利活用に関する協定を締結しているため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	幼児、小学生等緑地利用者
期待する波及効果	整備による安全確保や自然とのふれあいや自然学習を通じた啓発等

【公的関与の必要性】

市が管理する緑地であり、公益性があるため、

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市が管理する緑地であり、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
標識・標柱等設置	実施前・中・後	播磨2号緑地建屋・ゲート前に県民税を活用した事業である旨の看板を設置
のぼり設置	実施中	播磨2号緑地の建屋前にのぼりを設置。
HP掲載	実施前・中・後	ホテルとなかまの会ホームページに県民税を活用した事業である旨を記載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市
事業名	播磨 2 号緑地里山整備事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
人件費		時間	450.00	902	405,900	延べ180人×2.5H
諸雑費		式	1.00		128,100	燃料費、消耗品
		合計			534,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	播磨2号緑地里山整備事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

木の伐採、除草(実施前、6月)



写真2

木の伐採、除草(実施後、6月)

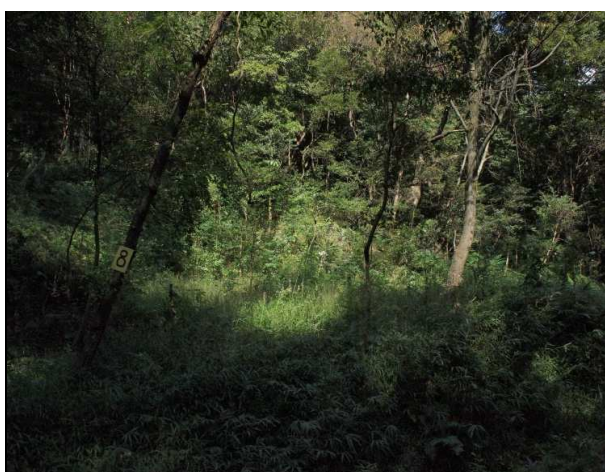


写真3

木の伐採、除草(実施前、10月)



写真4

木の伐採、除草(実施後、10月)

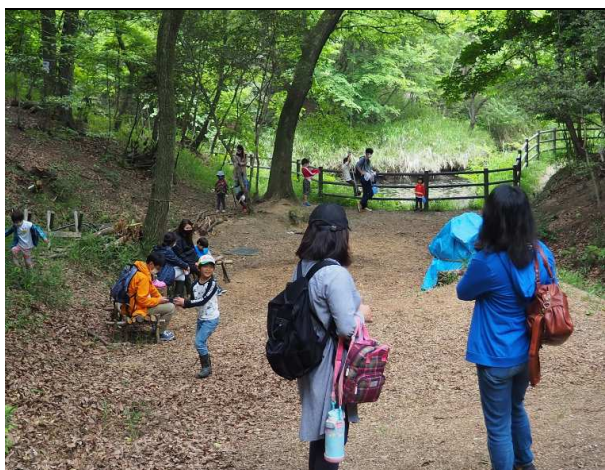


写真5

里山散策路開放(6月)

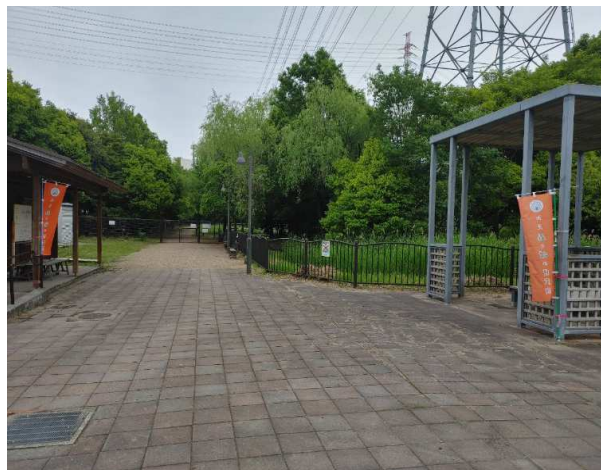


写真6

実施中ののぼり設置

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	播磨 2 号緑地里山整備事業
-----	----------------

7 の（2）. その他資料

○ホタルとなかまの会ホームページ



→ 里山レポートNo.1「ホタルの里山、再生中」

ホタルとなかまの会は 播磨2号緑地（ホタルの里周辺）で里山再生事業を行っています。

現在、ホタルの里では、約1万5千頭のゲンジボタル幼虫の飼育に取り組んでおり、来年の飛翔会には期待に応えられるようにとこれまで以上の取り組みをしています。

今回は、里山レポートNo.1として、ホタルとなかまの会が自然と人との共生する豊かな自然を目指し、2号緑地で里山再生に取り組んでいることについてお伝えします。

桑名市は、平成31年度から「みえ森と緑の県民税」の助成事業として2号緑地の「里山整備」を始めることになりました。ホタルとなかまの会は、この里山整備事業の委託を受け、手つかずだった里山に入り、草刈や間伐に汗水を流しています。

里山整備に必要な機器類は桑名市が助成金で買い揃え、我々に貸し出してくれています。

作業を始めて2年が経過し、ホタル水路から散策路周辺に里山らしい風景が見られるようになってきました。

里山は、多様な生物の生育・生息の場であり、美しい風景を守り、伝える場であり、自然体験やリクレーションの場であり、様々な資源(シイタケ栽培のほだ木・工芸品の材料等)供給の場であると共に、水源涵養・水質浄化・土壌の流出や崩壊の防止・二酸化炭素の吸収・酸素の供給等の役割を果たしています。

作業は、梅雨から夏場を除き、毎週2回実施しています。

興味のある方は下記へご連絡ください。

連絡先：ホタルとなかまの会
 会長: 吉澤090-3212-5012
 事務局: 竹村090-9894-7398




整備前
整備後

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	里山再生・竹林整備推進事業				
事 業 費	4,931,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,931,000		

1. 事業の目的

竹林整備を進めることで、里山の再生による自然環境及び生活環境の向上を目的とする。また、防災・減災、獣害対策につなげるとともに、地元工業高校生による竹林整備、その他住民参画を促し、安全安心な森づくりの理解と森林環境教育の浸透を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

枯竹・倒木等の除去、雑草等の除去、竹の間伐、チップ化した竹散布による現場の整備

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

桑名市

【実施箇所及び箇所数】

4 箇所（志知、力尾、芳ヶ崎、播磨）

【事業量】

1.5ha

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

竹林の整備により周辺住民の生活環境が改善され、また、地域住民や生徒が竹林整備等を体験することにより、森林環境意識を醸成することにつながる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

整備した竹林は所有者や地域住民により管理することとし、環境保全のための意識づけをしていただく。

また、地元工業高校生にも竹林整備の活動の体験学習をしてもらい、竹林整備の大切さや森林環境に対する関心を高めた。

【新たな対策・視点及び改善点】

県民税事業であることの周知をより推進するため、のぼりの設置を増やした。

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	里山再生・竹林整備推進事業				
事 業 費	4,931,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,931,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

市内唯一の竹林整備を専門とするNPO法人であり、市と共に「桑名竹取物語事業化協議会」において竹資源の活用に取り組んでいるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地域住民、タケノコ農家、生徒
期待する波及効果	生活環境の改善、森林環境意識の醸成

【公的関与の必要性】

所有者の高齢化に伴う管理不全地について、公益関与の必要性は高いと考える。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

業務委託先との連携により、所有者へは今後の管理を継続的に実施し、転用、目的外使用がないよう依頼している。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	実施中の整備箇所に掲示
のぼり設置	実施前・中・後	竹林整備の実施箇所や体験学習の実施時に設置する
ポスター掲示	実施前・中・後	市役所内に掲示

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	桑名市
事業名	里山再生・竹林整備推進事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託料	地区賃整備業務	ha	1.50	2,993,333	4,499,000	
需用費	修繕料	式	1.00	220,000	220,000	チップパー修繕
需用費	消耗品費	式	1.00	20,600	20,600	替刃
備品購入費	チェーンソー	台	4.00	47,850	191,400	
		合計			4,931,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山再生・竹林整備推進事業
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1

作業前（多度町力尾）



写真2

作業中（多度町力尾）



作業後（多度町力尾）



作業後（多度町力尾）



写真5

桑名工業高校・授業風景



写真6

桑名工業高校・作業風景

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	学校の森 再生事業				
事 業 費	3,055,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,055,000		

1. 事業の目的

小学校敷地内の雑木林整備を行い、桑名市の自然文化的価値のある環境の保全と再生を図りつつ、子供たちが森林についての教育を受け、里山林の維持管理など自然の大切さなどを学ぶことが出来る施設として整備する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

- ・樹木の枯死、倒木等、荒廃がみられる雑木林内の整備作業、湿地の保全、安全対策としての歩道、フェンス等の整備を行い、子供たちが安心安全に学習できる環境を整備する。
- ・整備後の雑木林とその周辺の環境がわかるよう、マップ・樹木札を設置し、子供たちが自発的に学習できる環境を整備する。
- ・生息が確認されているヒメタイコウチ（桑名市天然記念物）、カスミサンショウウオ（三重県の絶滅危惧種）、個体数の激減が危惧されるアキアカネ等の、希少生物の生息地の保全を行う。
- ・さらに、本事業に関連して、同校所属児童を対象、及び近隣地域幼児（年長児）及び周辺住民を対象とした地域開放イベントとして、自然教室・生き物観察教室などを実施する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

桑名市

【実施箇所及び箇所数】

1箇所（津田学園小学校内）

【事業量】

雑木林の整備、歩道整備4箇所、ビオトープ整備1箇所、自然学習4回

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

- ・環境の保全と再生を図りつつ、子供たち及び周辺住民が森林についての教育を受け、里山林の役割、維持管理など自然の大切さなどを学ぶことが出来る。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

- ・マップ・樹木札を設置し森林環境管理の重要性を説く。
- ・ビオトープ周辺で水辺の生き物や昆虫類の観察などの学習を行う。
- ・地域住民や及び幼児を対象に、樹林や水辺の生き物に関する学習会を開催する、

【新たな対策・視点及び改善点】

雑木林の整備を行い、ビオトープを整備することで周辺環境を改善するとともに、整備したビオトープを活用して自然学習を行うことで学びの場を提供する。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	学校の森 再生事業				
事 業 費	3,055,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,055,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	その他	10/10以内	3,055,000	学校法人津田学園

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

事業内容が児童・近隣住民の自然の大切さを学ぶことができる取組であり、県民税の目的と合致している。
また、整備箇所は津田学園の敷地内であり、津田学園が行う事業を支援する形がふさわしい。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	津田学園小学校児童及び近隣住民、幼児
期待する波及効果	学習会や生き物観察会を通じ、環境保全の重要性を周知する

【公的関与の必要性】

当該地域には桑名市天然記念物であるヒメタイコウチなどが生息しており、希少生物の生息地を保全するため市の関与が必要である。また、この取組は近隣住民等にも自然の大切さなどを学ぶ場として利用されることから、公益性があるため、公的関与が必要。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

整備箇所については津田学園により管理を行い、学校敷地内であり転用等は行われない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
標識・標柱等設置	実施中・後	看板の設置（ピオトープのマップデザイン、樹木名ネームプレート）

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	桑名市
事業名	学校の森 再生事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
負担金、補助及び交付金	学校の森再生事業交付金					
	ビオトープ拡張工事	m2	100.00	2,000	200,000	土砂撤去20m3含む
小学校敷地内の雑	枯損木伐倒・除根	本	13.00	23,077	300,000	
	枯損木等チップ化	式	13.00	23,077	300,000	
	除草・外来種除去	m2	2000.00	150	300,000	
	木道・フェンス整備	m	50.00	14,000	700,000	
	砕石	kg	500.00	200	100,000	
	看板設置	式	1.00	200,000	200,000	大看板1・樹名板40
	傾斜地歩道整備	m	150.00	3,333	500,000	
	転落防止柵	m	30.00	10,000	300,000	
	水生植物整備	式	1.00	100,000	100,000	
	学習会講師謝礼	回	5.00	5,000	25,000	
	飼育用品購入	式	1.00	30,000	30,000	クヌギマット他
	合計				3,055,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	学校の森 再生事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1

雑木林整備前



写真2

雑木林整備後



写真3

ビオトープ整備前



写真4

ビオトープ整備後



写真5

ビオトープ看板設置



写真6

自然学習風景

第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	学校の森 再生事業
-----	-----------

7の(2). その他資料

ビオトープ案内地図看板



鈴鹿市

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

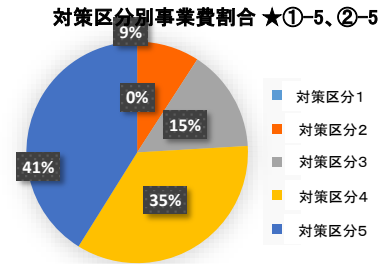
1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

市町名	市町名	三重県
人口（人）	195,789	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.9%	12.4%
森林面積(ha)	3,584.17	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	3,408.37	348,833.49
森林率(%)	18.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.8	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	暮らしを守る森林保全事業	596,200	596,200		596,200			
2	3	森林環境教育支援事業	100,000	100,000			100,000		
3	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	2,948,000	737,000		737,000			
4	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	4,374,000	3,278,000					3,278,000
5	5	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	722,000	722,000					722,000
6	3	国体スタッフ木製記念品配布事業	1,309,000	1,309,000			1,309,000		
7	4	馬場公園木製休憩所設置事業	2,420,000	2,000,000				2,000,000	
8	5	ほたるの里森林及び生物観察用橋設置事業	2,500,000	2,000,000					2,000,000
9	3	森と緑の生涯学習事業	770,000	770,000			770,000		
10	4	図書館木製備品購入事業	877,800	877,800				877,800	
11	4	公立保育所及び公立幼稚園園柵等設置事業	2,200,000	2,200,000				2,200,000	
12		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	2,323,000	2,323,000					2,323,000
計			21,140,000	16,913,000	0	1,333,200	2,179,000	5,077,800	6,000,000

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	6本	2,948,000	737,000	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈があり、市の中央には鈴鹿川が流れる、豊かな自然環境の下で発展してきた都市です。この恵まれた自然環境は、市民生活や経済活動に多大な恩恵をもたらしており、美しい風景や豊かな生態系は、本市にとって貴重な財産であるともいえます。 このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、市民に親しまれている海岸林の保全や、利用頻度の高い公共施設等への県産材利用を通じ、多くの市民が森林の恩恵を享受することができ、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する事業を進めていきます。
事業実施により期待される効果	生涯学習事業は、地域が主体となり小学生を中心とした子どもと保護者に対し様々な趣向を凝らした森林学習を行っており、参加者のアンケート等からも大変好評をいただいている事業であり、森林環境教育への理解を深めることができた。新型コロナウイルス感染症の拡大によりイベントは中止となったが、県産材を活用した備品整備によって、未就学児や児童・生徒を始めとする様々な市民の方が、森林や木材について学び、ふれあい、関係を深めることができた。 今年度、初めて実施した災害からライフラインを守る事前伐採事業は、台風等による倒木により停電を起こす可能性がある危険木を事前に伐採することで、地域住民の安心・安全の確保につながった。
情報発信への取組	事業の実施前においては、市広報やHP、SNS等を活用し、みえ森と緑の県民税の活用について周知を図った。また、本事業に関する竣工式やイベント等の主催者挨拶では、みえ森と緑の県民税活用事業であることを周知し、可能な限り市政記者クラブへの情報提供も行った。 事業実施の際は、県民税リーフレットの配布や県民税旗を掲出するなど、周知に努めた。 また、県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についての紹介展示を市民ギャラリーにて実施し、来庁者への情報発信を行った。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑫ その他（人材育成等）	231	231
2	② 意向調査	1,287	1,287
3	① 意向調査の準備作業	3,058	3,058
4	⑰ 基金積立（森林整備等）	15,181	15,181
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	19,757	19,757

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	暮らしを守る森林保全事業				
事 業 費	596,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			596,200		

1. 事業の目的

本市東部には伊勢湾に面する長い海岸があり、そこに植生する松林が防潮・防風・飛砂防止・津波軽減などの働きにより周辺住民の暮らしを守っている。しかし、病虫害被害で枯松化が拡大し、台風時の倒木や枝の飛散等での住居や人身への被害が懸念されている。このような状況を改善するため、人家周辺における病虫害被害木を積極的に伐採・駆除することで海岸林の維持保全を行い、通行の安全や住民の暮らしの安全を確保する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

海岸林や人家周辺の病虫害被害木の伐倒・駆除及び樹幹注入を実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市

【実施個所及び箇所数】

1箇所（東磯山緑地（市有地））

【事業量】

特別伐採駆除：13本、樹幹注入：60本（対象木12本）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

人家周辺における病虫害被害木の伐採・駆除、さらに樹幹注入を実施することで、台風時の倒木や枝の飛散等での住居や人身への被害防止や病虫害被害の拡大阻止につなげ、通行の安全や住民の暮らしの安全を確保することができた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

定期的に被害状況を確認し、必要に応じて特別伐倒駆除を行った。また、効果的に病虫害による被害を軽減するため、計画的に樹幹注入を行った。

【新たな対策・視点及び改善点】

樹木医に定期的に助言いただき、樹幹注入の必要な松の検討、松枯れの原因の究明等を行い、効果的に海岸林の維持保全を行った。

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	暮らしを守る森林保全事業				
事 業 費	596,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			596,200		

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

病虫害被害木の伐採、樹幹注入には専門的な知識・技術が必要なことから、造園業者を選定。
随意契約（2者見積）

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	東磯山緑地付近の住民（約500世帯、約1,000人）
期待する波及効果	広報やHP,事業看板等により本事業を知った住民に県民税の理解が深まる

【公的関与の必要性】

事業地は市有地であることから、公的関与が必須である。また、事業地周辺は、松くい虫による病虫害被害により、台風時に倒木や枝の飛散等での住居や人身への被害が懸念され、本事業によって周辺住民に対し安心・安全な住環境を寄与できることから、公的関与が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市管理地のため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	伐倒及び樹幹注入実施箇所・周辺住民・県民税の活用について
広報誌掲載	実施後	広報すずかに掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

周辺住民から感謝されるとともに、今後も継続して適正な維持管理をしていくよう依頼を受けた。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市
------	-----------------	-----	-----

事業名	暮らしを守る森林保全事業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐倒破碎	伐倒、搬出、運搬含む	本	13.00	23,015.4	299,200	
樹幹注入	アンプル（マツガード 60cc入り）	本	60.00	4,950	297,000	対象木12本
		合計			596,200	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	暮らしを守る森林保全事業
-----	--------------

7 の（１）．写真



写真1

伐倒破砕 1（作業前）



写真2

伐倒破砕 1（作業後）



写真3

伐倒破砕 2（作業前）



写真4

伐倒破砕 2（作業後）



写真5

樹幹注入 1



写真6

樹幹注入 2

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	森林環境教育支援事業				
事 業 費	100,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			100,000		

1. 事業の目的

自然環境の保全、森林環境教育、緑化活動（森林環境教育を伴う）等を実施する住民団体に対し、その活動に要する経費の一部を補助することにより、住民による自発的な森林づくり活動を支援する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

鈴鹿市補助金等交付規則及び鈴鹿市緑の未来づくり事業補助金交付要領に基づき補助金を 1 団体に交付した。実施主体は、補助金を利用して、森林を市民で守り育てる意識の醸成に寄与する活動（県産材を使った子ども向けの木工工作教室等）を開催した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

住民団体

【実施箇所及び箇所数】

市内3箇所（土師町、社会福祉協議会、市立図書館）

【事業量】

木工教室 1 回、植樹・植栽 3 回

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

住民団体等が実施する活動に対し補助金を交付することで、市民・行政がそれぞれの特性を生かした取組みが期待できる。また、住民団体による自発的な森林づくり活動の支援を通じ、住民の森林環境への意識の向上が期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

HPに掲載し、広く周知を行った。また、森林環境の保全と共生する文化の創造に寄与する活動を実施する団体には、個別に補助金の趣旨を説明し、県民税の理解を深めてもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

活動内容を広く情報発信（HP、広報、SNS等）していくことで、参加団体のみならず、多くの市民等に県民税の活用を周知し森林環境意識の向上へつながった。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	森林環境教育支援事業				
事 業 費	100,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			100,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	3/4以内	1事業につき上 限10万円	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】
事前に提出される「事業実施計画書」及び「収支計画書」を審査し、補助金に定める森を育む人づくり事業（木に触れ合う契機を創り出す活動で、森林を大切に思い、育む人づくりにつながるものをいう。）及び緑の環境づくり事業（植樹、植栽等、緑の空間創造につながるものをいう。）に該当する団体を選定した。

【主な経費内訳】
(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	木工教室参加者、図書館・社会福祉協議会利用者
期待する波及効果	木工教室に参加する保護者、植樹に参加したボランティア、SNS等の閲覧者

【公的関与の必要性】
三重県産材を利用した木工教室は、子どもが木に触れあい、木の良さを知る学びの場となり、県民税の趣旨に沿うもので、公益性が高く、公的関与が妥当と判断した。また、公共施設周辺に植樹・植栽は、良好な景観を形成でき、緑とのふれあいを通して、地域住民の緑に対する意識向上につながると判断した。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	イベント実施中に、のぼりを設置した。
広報誌掲載	実施後	広報すずかに掲載した。
チラシ等配布	実施前	住民団体が作成したチラシに、県民税を活用した趣旨を掲載した。
その他	実施前・中・後	住民団体のSNSで、県民税を利用した旨を掲載し、タグ付けした。

7. 写真及びその他資料
別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）
木工教室参加者からは、「木のあたたかみがあるプランターを自分で作ることができて嬉しい。」。植樹・植栽参加者からは、「鈴鹿産の苗木で花壇が明るくなり、緑に触れあえる空間となった」等の意見が寄せられた。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育支援事業
-----	------------

7 の (1) . 写真



写真1

県産材を使った子ども向けの木工工作教室



写真2

県産材を使った子ども向けの木工工作教室



写真3

鈴鹿産サツキ等の植樹・植栽
(社会福祉協議会前)

写真4

鈴鹿産サツキ等の植樹・植栽
(社会福祉協議会前)

写真5

鈴鹿産サツキ等の植樹・植栽
(図書館前)

写真6

鈴鹿産サツキ等の植樹・植栽
(図書館前)

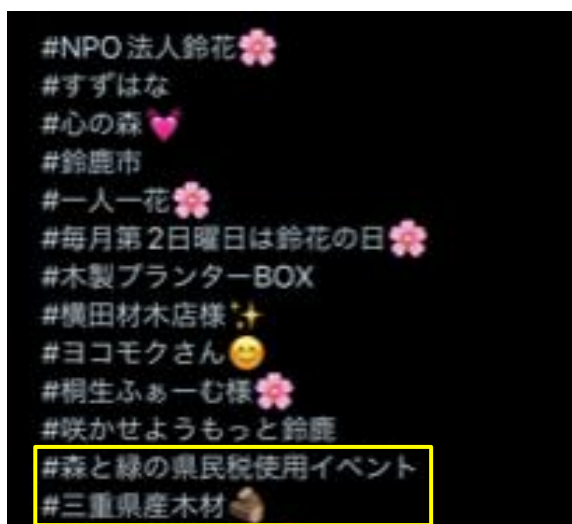
第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育支援事業				

7の(2). その他資料



住民団体のSNSで、もりと緑の県民税を利用している旨を発信しました。



広報すずか掲載文

情報 ④ みえ森と緑の県民税事業
 鈴鹿市 0592-3017 0592-7610
 0592-0105 0592-5020 0592-1810

令和3年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします

本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、11月までに無償貸与した約1,500本の苗木を育てる社会づくりに取り組んでいます。

市内で実施した事業を紹介します

令和3年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で11の事業を実施しました。

- 暮らしを守る森林保全事業
市内の山林で、防火対策や防虫剤の散布など、苗木の伐採と移植を行いました。
- 森と心を育む長寿の大樹
市内の大樹の樹木診断や樹木治療などを行いました。
- 木タラの里森林・生物
観察会開催事業
木タラをのびのびと育て、多様な生物が生息する里づくりの推進を図るため、観察会を開催しました。
- 災害からライフラインを守る事前防災事業
洪水に浸水しやすい地域の苗木により防災林帯を形成する事業として、苗木の伐採と移植を行いました。
- 災害からライフラインを守る事前防災事業
洪水に浸水しやすい地域の苗木により防災林帯を形成する事業として、苗木の伐採と移植を行いました。
- 森林環境教育支援事業
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、環境教育を利用した木工体験やフィールドワーク、木の図鑑作りなどの森林環境学習を行いました。
- 森林環境教育支援事業
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、環境教育を利用した木工体験やフィールドワーク、木の図鑑作りなどの森林環境学習を行いました。
- 森林環境教育支援事業
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、環境教育を利用した木工体験やフィールドワーク、木の図鑑作りなどの森林環境学習を行いました。
- 森林環境教育支援事業
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、環境教育を利用した木工体験やフィールドワーク、木の図鑑作りなどの森林環境学習を行いました。
- 森林環境教育支援事業
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、環境教育を利用した木工体験やフィールドワーク、木の図鑑作りなどの森林環境学習を行いました。
- 森林環境教育支援事業
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、環境教育を利用した木工体験やフィールドワーク、木の図鑑作りなどの森林環境学習を行いました。

令和4年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりや県と連携した災害に強い森林づくりなどの事業を実施していきます。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名					
3	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事 業 費	2,948,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			737,000		2,211,000	

1. 事業の目的

台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採することでライフラインを保全する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

過去に台風等が原因の倒木により停電被害があった箇所にある危険木について、地権者の了解の下、事前に伐採し、倒木による停電被害を予防する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市

【実施箇所及び箇所数】

1 か所（国府町）

【事業量】

危険木6本の伐採

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

台風等による倒木により停電を起こす可能性がある危険木を事前に伐採することにより、停電被害を未然に防ぐことができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

市・県・ライフライン事業者の三者で、相互の連携による事業の円滑な実施を目的とした協定を締結し、この協定に基づき、三者が構成員となった協議会を設置し、市が作成する事業計画についての協議や他事業との調整等を行い、事業を進める。

【新たな対策・視点及び改善点】

工事施工中に県民税を活用した事業である旨を記した工事看板を設置し、また、周辺住民に対して回覧板を回覧し、県民税を活用した事業であることを周知するとともに、森林の適正管理等についての意識熟成を図る。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	2,948,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			737,000		2,211,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

ライフライン沿いの伐採作業であり、伐採に高度な技術が必要かつ実施箇所に精通している必要があることから、鈴鹿市に入札参加資格登録している土木一式の届出がある近隣業者を選定。

指名競争入札により選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	国府地区住民 約11,000人
期待する波及効果	広報やHP等を見た市民が本事業の内容を知ること、県民税の理解を深める。

【公的関与の必要性】

台風等の影響により電線等のライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採する事業は、非常に公益性が高く、公的関与が妥当である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	工事施工箇所・周辺住民・県民税の活用について
回覧板・掲示板	実施前	工事施工箇所周辺地域・周辺住民・工事実施及び県民税の活用について
広報誌掲載	実施後	広報すずか（ミニ特集）・市民・県民税の活用について

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

住民説明会の場で、地域住民からは、「近年の異常気象により、倒木の影響による停電のニュースを見て、不安に感じていたので、事前に伐採してもらおうのは暮らしの安心につながる。」との意見が寄せられました。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採	樹木伐採費	本	6.00	204,833.3	1,229,000	
危険木伐採	運搬費・処分費	本	6.00	60,500	363,000	
危険木伐採	諸経費	本	6.00	226,000	1,356,000	
		合計			2,948,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の（１）．写真

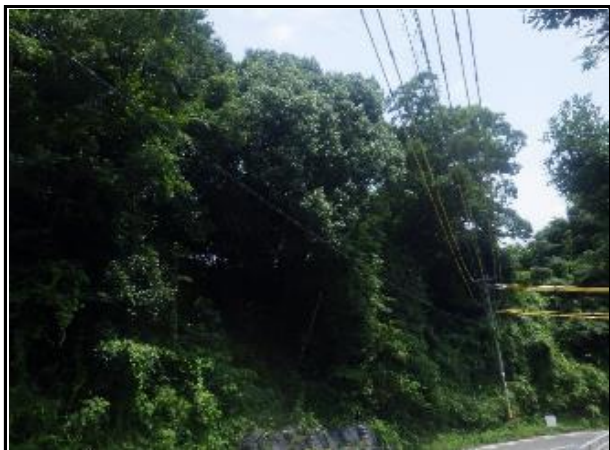


写真1

着工前①



写真2

完成①



写真3

着工前②



写真4

完成②



写真5

住民説明会（県民税の趣旨を説明）



写真6

写真6

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
7の(2). その他資料					

地元回覧文

回覧

関係者各位

令和3年7月14日

樹木伐採業務のお知らせ

早業より、当市公共事業につきまして特別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、国府町におきまして、樹木の伐採を行うことになりました。

つきましては、下記の通り業務を進めさせていただきます。

大変御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力のほど宜しくお願いします。

記

工 事 名

国府台樹木伐採業務委託

工 事 内 容

台風などによる樹木被害により停電が発生することや、ライフラインを守るための樹木(4本)の伐採を行う。

工 事 期 間

令和3年7月29日 から 令和3年8月12日まで (うち4日間(日曜日、祝日、悪天候日は休工))
※ 作業実施日の作業時間内は、車両・歩行者とも通行止めになります。
交通規制員を配置します。
工事箇所手前の道路へは通行できますので関係者の指示に従ってください。

作 業 時 間

午前 8時30分 から 午後 5時00分 まで
※ 工事内容により作業時間を延長する場合がございます。

工 事 箇 所

国府台公園内

出の要請は、みえ森と緑の県民税を利用して、実施しています。



工 事 担 当

産業課農林部 菊池課 土地改良グループ
連絡先 059-382-7653

尾崎 晴明

施 工 業 者

中尾建設 株式会社
連絡先 059-372-0151

中尾 達也

広報すずか掲載文



情報誌 みえ森と緑の県民税事業
農林水産部 059-382-3017 059-382-7610
059-6710(農林) 059-5220(水産)

令和3年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします

本市では、平成26年4月から導入されたみえ森と緑の県民税を活用し、「国府に強い森林づくり」に「県民会館で森林を支える社会づくり」に取り組んでいます。

市内で実施した事業を紹介します

令和3年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で10の事業を実施しました。

●暮らしを守る森林保全事業
海岸の森林で、病害虫被害を受けている枯木の伐採と剪定を行いました。



●緑と森を育む長太の大樹育生プロジェクト
長太の大樹の樹木診断や苗木治療などを行いました。



●市営の里山森林・生物観察用観察道事業
ホタルをはじめ、多様な生物が生息する里山の自然環境を安全に観察・鑑賞できるようにするため、観察道の整備と歩道橋と橋を設置しました。



●国体スタッフ木製記念品配布事業
国体スタッフの木製記念品として、三重県産木材を使用した木製コースターを配布しました。



●災害からライフラインを守る事前伐採事業
過去に台風などの被害を受けた樹木により停電被害があった場所について、地権者の了解の下、事前に危険な木を伐採し、樹木による停電被害を予防しました。



●ふるさと木(名木古木)保存活用事業補助事業
ふるさと木(市内の天然記念物や樹齢100年以上の古木など)を所有する方に対して、樹木診断や苗木治療などを行うための経費を補助しました。



●国体スタッフ木製記念品配布事業
国体スタッフの木製記念品として、三重県産木材を使用した木製コースターを配布しました。



●公園(市内)木製休憩所設置事業
公園の憩いの空間を創出するため、木製の休憩所を設置しました。木製の広がりある休憩スペースを設置しました。



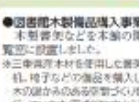
●森林環境教育支援事業
自然環境保全、森林環境教育、緑化活動など、森林を市で活用する活動の推進に資する活動を支援する団体に補助金を交付しました。



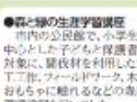
●公立保育園および公立幼稚園保育施設事業
三重県産木材を活用した園や下駄箱を公立保育園や幼稚園の保育室に設置しました。



●災害からライフラインを守る事前伐採事業
過去に台風などの被害を受けた樹木により停電被害があった場所について、地権者の了解の下、事前に危険な木を伐採し、樹木による停電被害を予防しました。



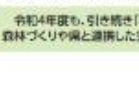
●ふるさと木(名木古木)保存活用事業補助事業
ふるさと木(市内の天然記念物や樹齢100年以上の古木など)を所有する方に対して、樹木診断や苗木治療などを行うための経費を補助しました。



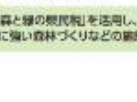
●国体スタッフ木製記念品配布事業
国体スタッフの木製記念品として、三重県産木材を使用した木製コースターを配布しました。



●公園(市内)木製休憩所設置事業
公園の憩いの空間を創出するため、木製の休憩所を設置しました。木製の広がりある休憩スペースを設置しました。



●森林環境教育支援事業
自然環境保全、森林環境教育、緑化活動など、森林を市で活用する活動の推進に資する活動を支援する団体に補助金を交付しました。



●公立保育園および公立幼稚園保育施設事業
三重県産木材を活用した園や下駄箱を公立保育園や幼稚園の保育室に設置しました。



令和4年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりや偏った災害に強い森林づくりなどの施策を実施していきます。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業				
事 業 費	4,374,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,278,000	0	1,096,000

1. 事業の目的

衰退の兆候が見られる市内にある天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木について、所有者（地元住民）自身が主体的に樹木健康診断や樹勢回復等を行うことで、地域の文化財として保護し、将来にわたり地域で森林環境教育を行う学びの場となることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

ふるさとの木（市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木及び樹木群）の所有者等が樹木診断及び樹木治療等を実施するための経費に対し補助することで、ふるさとの木の所有者等の主体的に保存する行動につなげる。また、地域のシンボルとして地域の様々な世代が地域の森林や樹木とふれあう場を提供し、地域全体で緑を守り育てる意識を醸成し、地域の宝として、大切にする活動へとつなげていく。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

ふるさとの木の所有者

【実施箇所及び箇所数】

2か所（地蔵大マツ、稻生山の躑躅）

【事業量】

2か所

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

事業実施当日は、所有者や地域の方を含め、多くの方が見守る中実施された。所有者及び地域の方に対し、樹木医から本樹木の状況や森林の持つ多面的機能についても説明し、学ぶ機会を提供することができた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

本樹木を中心とした本事業を実施するにあたり、市政記者クラブへ情報提供したことで、新聞取材もあり、本樹木の地域における重要性を再確認することができた。また、所有者及び地域の方に対し、樹木医から本樹木の状況や森林の持つ多面的機能についても説明したことで、学ぶ機会を提供することができた。

また、稲生山の躑躅については、事業実施前に、地元のまちづくり協議会に樹木医による樹木環境教育を行い、本樹木に対する関心を高めることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

本事業が2年目となり、浸透してきたことから、事業箇所を2箇所に増やした。また、地蔵大マツについて、支柱設置や精密検査など、新たな処置等を行った。

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業				
事 業 費	4,374,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,278,000	0	1,096,000

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
補助事業	個人	3/4以内	2,000,000	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

地蔵大マツは、所有者である西玉垣町自治会が、積極的に樹勢回復事業に関わってきた。しかしながら、令和元年8月・令和2年1月に、当該樹木の腐朽が原因とみられる枝折れが発生した。更に令和3年1月に枝折れが発生したため、引き続き緊急に対応が必要と考えられた。

稲生山の躑躅は、ツツジの樹勢衰弱の要因となっている日照障害木を伐採し、躑躅の生育環境の改善整備が必要であり、山林管理及び倒木による線路への被害を防止する必要がある。以前から地元から要望があり、近年の気候変動や台風の影響等から倒木の可能性が高く、線路への影響等から緊急性が高いと判断し、以上の理由により選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	ふるさとの木の所有者及びふるさとの木の保存活用に関する取り組みに参加した地域住民
期待する波及効果	所有者や地域の方を含め、多くの方が見守る中実施された。所有者及び地域の方に対し、樹木医から本樹木の状況や森林の持つ多面的機能についても説明し、学ぶ機会を提供することができる。

【公的関与の必要性】

樹木所有者の負担のみで、公財産でもある指定文化財を保護することは、経済的にも人的にも非常に困難であり、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

日常管理を含め、所有者が管理していく。なお、県指定天然記念物であることから、転用しない。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名					
4	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業					
事 業 費	4,374,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,278,000	0	1,096,000	
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
標識・標柱等設置	実施中	敷地内看板に、県民税事業であることを記載し、周知した。				
TV（行政チャンネル等）	実施前・中・後	地蔵大マツについて事業実施前に市政記者クラブに本事業の実施について記者提供し、後日掲載された。また、テレビ局から当日の取材を受け、後日放送された。				
その他	実施前	稲生山の躑躅について所有者である神社に対し、実施前に本事業が県民税を活用し、実施していることを説明した。				
広報誌掲載	実施後	広報すずかに掲載。				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						
見学者からは、「親しみのある地蔵大マツの治療ができてよかった。樹木医さんの話で、森林の多面性が理解できた」等の声が寄せられた。						

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市
事業名	ふるさとの木 (名木古木) 保存活用事業補助事業		

4. 効率性：主な経費内訳

地蔵大松

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
補助事業	危険枝除去	式	1.00	215,000	215,000	
補助事業	害虫駆除作業	式	1.00	272,000	272,000	
補助事業	精密機器による診断・調査	式	1.00	400,000	400,000	
補助事業	支柱設置費用	式	1.00	600,000	600,000	
補助事業	調査・計測費用	式	1.00	200,000	200,000	
補助事業	診断調査報告書費用	式	1.00	400,000	400,000	
補助事業	諸経費	式	1.00	337,545	337,545	
補助事業	消費税				242,455	
		合計			2,670,000	

稻生山の躑躅

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
補助事業	危険木の伐採	式	1.00	1,549,091	1,549,091	伐採28本, 枝打ち7本
					154,909	
		合計			1,704,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業
-----	------------------------

7 の（1）. 写真



写真1

工事の様子（地蔵大マツ）



写真2

薬剤注入の様子（地蔵大マツ）



写真3

枝の除去作業（地蔵大マツ）



写真4

精密診断の様子（地蔵大マツ）

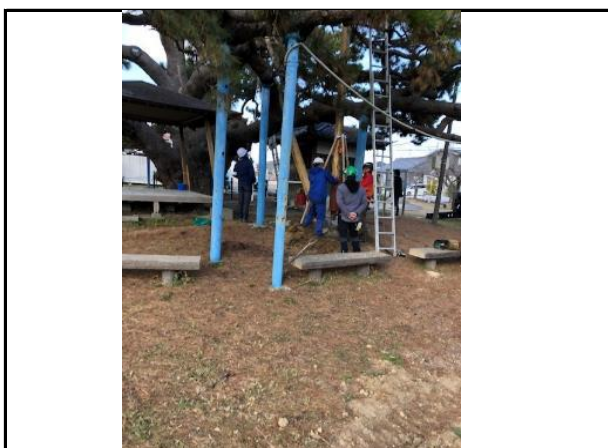


写真5

支柱の設置の様子（地蔵大マツ）



写真6

写真6

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業
-----	------------------------

7 の（1）. 写真

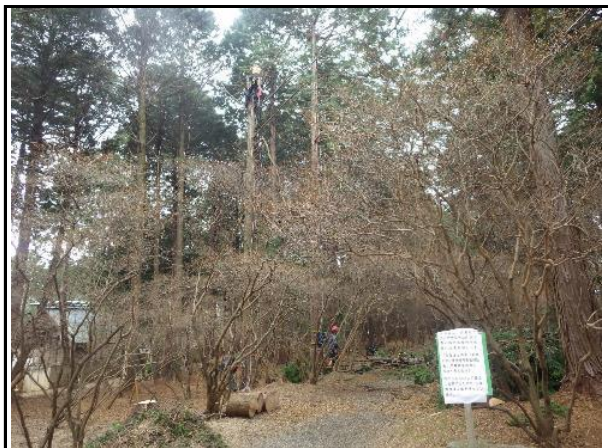


写真1

伐採の様子（稲生山の躑躅）



写真2

伐採の様子（稲生山の躑躅）



写真3

施工前の写真



写真4

施工後の写真

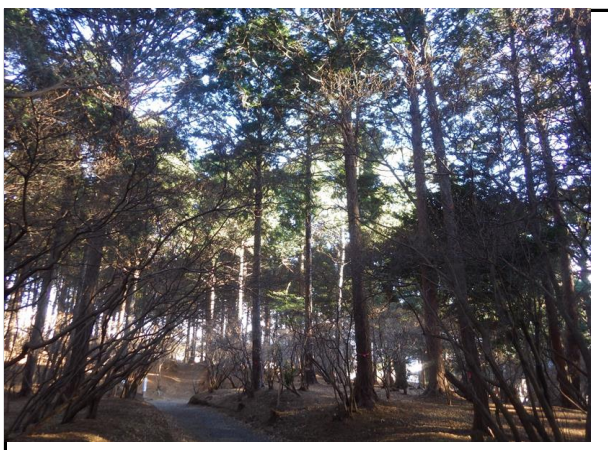


写真5

施工前の写真



写真6

施工後の写真

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業
-----	------------------------

7の(2). その他資料

中日新聞記事

広報すずか掲載文

[illegible]

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	緑と人を育む 長太の大楠(なごのおおくす)再生プロジェクト				
事 業 費	722,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			722,000		

1. 事業の目的

地域緑化のシンボルとなっている長太の大楠（なごのおおくす）は、近年、周辺環境の変化や塩害、落雷等の影響により衰退の兆候が見られてきた。地域住民から愛され、市のランドマークでもある長太の大楠の樹木健康診断や樹勢回復等を行うことで、身近な樹木に対する関心をさらに高め、将来にわたって地域で森林環境教育を行う学びの場となることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

長太の大楠に樹木診断及び樹木治療等のための土壌改良を実施。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市

【実施個所及び箇所数】

1か所

【事業量】

1か所

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

本樹木を中心とした本事業を実施するにあたり、市政記者クラブへ情報提供したことで、新聞による取材もあり、本樹木の地域における重要性を再確認できた。また、地域の方に対し、樹木医から本樹木の状況について説明し、学ぶ機会を提供することができ、地域の様々な世代が地域の樹木に関心を持ち、地域全体で緑を守り育てる意識を醸成し、保全する活動へとつなげられた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

本事業を実施する前に、地域の小学校で、地元保存会と樹木医による樹木環境教育を行い、本樹木に対する関心を高めることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

より多くの人に関心を持ってもらうため、SNSで発信した。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
5	緑と人を育む 長太の大楠(なごのおおくす)再生プロジェクト				
事 業 費	722,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			722,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない		樹木医

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

高い専門性をもった樹木医による適切な樹勢回復措置が必要であるため、委託事業は適切である。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	樹木の保存活用にかかる取組に関わった地域の児童・生徒並びに地域住民
期待する波及効果	当該樹木を地域の宝として守ろうとする意識を高めることができる。

【公的関与の必要性】

市が管理団体に指定されているため適切

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

日常管理については、保存会が管理していく。なお、県指定天然記念物であることから、転用されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	敷地内にのぼりを設置し、県民税事業であることを記載し、周知した。
その他	実施前・中・後	事業実施前に市政記者クラブに本事業の実施について記者提供し、当日の取材を受け、後日掲載された。
広報誌掲載	実施後	広報すずかに掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市
事業名	緑と森を育む 長太の大楠再生プロジェクト		

4. 効率性：主な経費内訳

樹勢回復作業業務委託（土壌改良）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
土壌改良作業	樹木医費用	人	2.00	40,000	80,000	
土壌改良作業	造園技術者	人	8.00	25,000	200,000	
土壌改良作業	エアスコップ他機材	式	1.00	100,000	100,000	
土壌改良作業	バックフォー	日	2.00	30,000	60,000	
土壌改良作業	土壌改良資材	式	1.00	200,000	200,000	
土壌改良作業	諸経費	式	1.00	16,364	16,364	
		小計			656,364	
		消費税			65,636	
		合計			722,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	緑と人を育む 長太の大楠(なごのおおく)再生プロジェクト
-----	------------------------------

7 の (1) . 写真

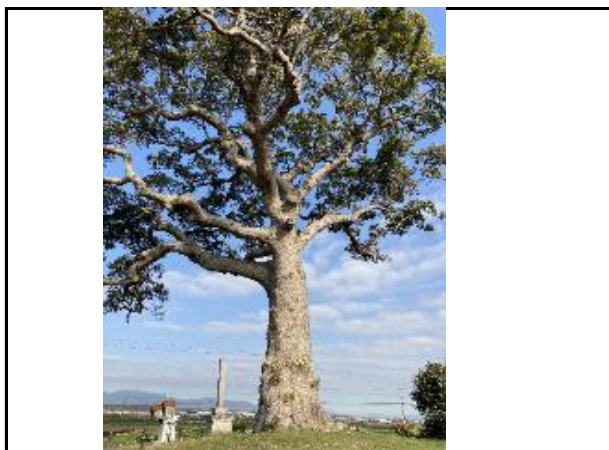


写真1

長太の大楠（全景）



写真2

エアスコップを使用した土壌改良



写真3

バックフォーによる作業



写真4

施肥後、エアスコップを使用した作業



写真5

落雷数年後に起きた樹皮剥がれ



写真6

落雷数年後に発生した樹皮の傷

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
事業名	緑と人を育む 長太の大楠(なごのおおくす)再生プロジェクト				

7の(2). その他資料

中日新聞記事

広報すずか掲載文

[illegible]

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
6	国体スタッフ木製記念品配布事業				
事 業 費	1,309,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,309,000		

1. 事業の目的					
三重とこわか国体・三重とこわか大会のスタッフとして携わる県内高校生等を対象に、県産材を使用した記念品を配布することにより、森林や林業に対する意識の熟成を図る。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
三重とこわか国体・三重とこわか大会にスタッフとして携わる予定であった県内の高校生等を対象に、県産材を使用して制作した木製コースターを記念品として配布した。コースターは日用品であり、かつ鈴鹿市オリジナルのデザインを施すことにより希少価値を高めることで、長期的な使用が見込まれることから、県産木材と触れ合う機会の増加を図り、木材の良さを実感してもらった。（直径約10cm、厚さ約5mm、三重県産杉材）					
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】					
鈴鹿市（国体推進課）					
【実施個所及び箇所数】					
郵送にて3,500枚配布					
【事業量】					
木製コースター 3,500枚					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
三重とこわか国体・三重とこわか大会は中止となったが、その記念として配布した木製コースターに触れるたびに、大会スタッフとして携わる予定で準備していたことの思い出が蘇るとともに、県産木材の良さを実感することで、木材に対して親しみを覚え、森林の多面的機能等を考えるきっかけとなり、森林や林業に対する意識熟成につながることを期待できる。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
木製コースター配布に当たり、記念品の意味及び県民税活用事業であることの説明書を同封し、木材の良さや県民税について周知した。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
木材の調達にあたり地域材を使用することで、地域の森づくりへの理解を深めた。また、高校生等の若年者を対象とすることで、森林や緑を大切に思い・育むといった森林教育がなされた。					

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
6	国体スタッフ木製記念品配布事業				
事 業 費	1,309,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,309,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

三重県産木材を取り扱っている県内業者を選定した上で指名競争入札を行い、地元森林組合から購入した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	高校生等3,500人
期待する波及効果	受益者が、家族や友人と話題にすることによって三重県産木材への親しみや理解を深め、森林や緑を大切に思う心を培うといった波及効果が期待できる。

【公的関与の必要性】

国体運営の記念品をスタッフに配布するにあたり、将来の森林づくりを担う高校生等に森林や緑を大切に思い・育むといった森林教育の一助となると考えられる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したチラシを対象の高校生等に郵送した。
広報誌掲載	実施後	広報すずか（ミニ特集）にみえ森と緑の県民税の活用について掲載した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

国体が中止となったことは残念だったが、三重県産の木材を使ったコースターは、木材の良さが生かされ、とても素敵で日常的に使用していますというお声をいただきました。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------	-----	-----

事業名	国体スタッフ木製記念品配布事業
-----	-----------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
記念品代	木製コースター	個	3500.00	340	1,190,000	
		小計			1,190,000	
		消費税及び地方税相当額			119,000	10%
		合計			1,309,000	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	国体スタッフ木製記念品配布事業
-----	-----------------

7の(1). 写真



写真1

木製コースター



写真2

同封チラシ

写真3

写真4

写真3

写真4

写真5

写真6

写真5

写真6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	国体スタッフ木製記念品配布事業
-----	-----------------

7の(2). その他資料

広報せずか掲載文

情報誌 みえ森と緑の県民税事業
 電話 382-3017 382-7610
info@city.suzuka.lg.jp

令和3年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします
 本市では、平成28年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、「災害に強い森林づくり」に貢献し、森林を育てる社会づくりに取り組んでいます。

市内で実施した事業を紹介します
 令和3年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で11の事業を実施しました。

- 暮らしを守る森林保全事業**
海岸の松林で、病害虫被害を受けている枯木の伐倒と撤除を行いました。
- 緑と森を育む長太の大樹再生プロジェクト**
長太の大樹の樹木診断や樹木治療などを行いました。
- 市タールの里森林・生物観察用観望設置事業**
市タールをはじめ、多様な生物が生息する里山が自然環境を安全に観察・鑑賞できるようにするため、展望台の建設(工事)に歩道橋と柵を設置しました。
- 災害からライフラインを守る事前伐倒事業**
過去に台風などが原因の倒木により停電被害があった箇所について、地権者の了解の下、事前に危険木を伐倒し、倒木による停電被害を予防しました。
- ふるさとの木(名木古木)保存活用事業**
ふるさとの木(市内の天然記念物や地域歴史的シンボルとなっている使木・樹木)の所有者などに対して、樹木診断や使木治療などを行うための経費を補助しました。
- 国体スタッフ木製記念品配布事業**
三重・三重が国体・三重とこわか大会にスタッフとして携わる予定であった県内の高校生などを対象に、記念品として三重県産木材を使用した木製コースターを配布しました。
- 馬場公園(市内)木製休憩所設置事業**
公園の緑豊かな環境に調和した、木製の広がりある休憩スペースを設置しました。
- 森林環境教育支援事業**
自然環境保全、森林環境教育、緑化活動など、森林を市民で育み育てる意識の醸成に資する活動を実施する団体に補助金を交付しました。
- 公立保育所および公立幼稚園等設置事業**
三重県産木材を使用した園や下駄箱を公立保育所や幼稚園の保育室に設置しました。
- 図書館木製備品購入事業**
木製書架などを本館の閲覧室に設置しました。
※三重県産木材を使用し、美しい、椅子などの備品を購入し、木の温かみのある空間づくりを行っています(平成27年度から)。
- 森と緑の生涯学習講座**
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、製材材を利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに触れるなどの森林環境学習を行いました。

令和4年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりや災害に強い森林づくりなどの取組を実施していきます。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
7	馬場公園木製休憩所設置事業				
事 業 費	2, 420, 000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2, 000, 000		420,000

1. 事業の目的	
公園の緑豊かな景観に調和した、木製の温かみある休憩スペースを設け、子どもから大人まで多くの人の交流・憩いの場を提供する。また、日常的に三重県産木材と触れ合う機会をつくり、木材産業の普及につなげる。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 公園内に木製の休憩スペースを設ける。 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 庄内地区地域づくり協議会 【実施箇所及び箇所数】 1箇所 【事業量】 東屋(三重県産桧特一乾燥材 梁4本,落し梁2本,棟木4本,火打ち梁・頬杖12本,束1本,垂木20本,広小舞6本,野地板37枚、杉丸太 柱4本)	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】 今回整備した東屋は、地域住民の憩いの場、交流の場となることが見込まれ、利用者が木特有の温かみや柔らかさを感じるだけでなく、ケガの低減、ストレスの緩和やリラックス効果を得るとともに、木に触れることで森林づくりへの意識の醸成に繋がることが期待できる。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 イベント会場としても利用していく予定。 また庄内地区の中心に位置することから、今後更に馬場公園の整備を進め、多くの方に利用してもらえる公園となるよう取り組む。 【新たな対策・視点及び改善点】 耐久性に欠ける木製のメンテナンスとして3～5年を目途の防腐処理を継続して行っていく必要がある。	

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
7	馬場公園木製休憩所設置事業				
事 業 費	2,420,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		420,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	地域協議会等	10/10以内	2,000,000	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

三重県産木材と触れ合う場の提供となり、県民税の趣旨に沿ったものであると判断したため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	利用者全て
期待する波及効果	東屋（テーブル、椅子含む）を利用したときに、直に県材産木材に触れることで、改めて木の温かみを感じ、自然と調和していると実感でき、木材産業の普及につなげることができる。

【公的関与の必要性】

交付金を活用することにより県民全体で森林を支える社会づくりを進めていることを周知できる。

当公園は広く住民に利用されており、公共性が高い場所となっていることから公的関与は妥当と判断した。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

公園周辺の桜、梅等観賞時にも利用してもらい、地区の公園として日常的に三重県産木材と触れ合う機会を作れるように地域づくり協議会が管理していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施前・後	協議会たより(事業前6月、事業後11月)に事業内容掲載。計2回掲載。
標識・標柱等設置	実施後	事業名を明記し現地にて掲示中。
広報誌掲載	実施後	広報すずか（ミニ特集）・市民・県民税の活用について

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

周知が進み、これからの時期は利用者の増加が期待できる。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------------	-----	-----

事業名	馬場公園木製休憩所設置事業
-----	---------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
建築工事	基礎・土間工事	式	1	731,280	731,280	
建築工事	木工事	式	1	1,181,895	1,181,895	
建築工事	屋根工事	式	1	136,360	136,360	
建築工事	その他	式	1	150,465	150,465	
		小計			2,200,000	
		消費税			220,000	10%
		合計			2,420,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	馬場公園木製休憩所設置事業
-----	---------------

7 の（１）．写真



写真1

馬場公園 北向きに撮影（施工前）



写真2

馬場公園 北向きに撮影（施工後）



写真3

東屋 南東方向に撮影



写真4

東屋 内側



写真5

東屋 内側（拡大）



写真6

写真6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	馬場公園木製休憩所設置事業
-----	---------------

7の(2). その他資料

地域広報誌

NEW 庄内だより

庄内地区地域づくり協議会
TEL 059-371-1956
平日8:30~17:15
FAX 059-371-2105
24時間受付可

No.1
2021(R3)
6/5
発行

これまで公民館から発行してきました「緑庭」に代わり、今年度より庄内地区の大切なお知らせやイベント情報などを「庄内だより」でお伝えしていきます!! 今まで以上に地域に密着した内容でお届けします★

安全対策実施報告
地区内安全対策工事の実施状況をご報告します

国道306号線(西ツ辻) ~新道及び川崎庄内バイパス新設~
長年に渡り要望し続けた国道306号線の創設整備工事が着工となりました。これで東庄内の中学生が安心して通学できると思われます。しかし、いずれにしても交通量の多い国道ですので、通行の際は十分に注意し、車を運転される方は速度を抑えて安全運転を心がけてください。
また東庄内西ツ辻~亀山川結の住宅密集地内の国道306号線の交通渋滞緩和対策として「川崎庄内バイパス」の新設事業も決定しています。進捗状況は随時お知らせいたします。

県道西庄内高塚線(北条) ~空き家撤去促進会~
どの自治会でも空き家問題は深刻化していますが、北条地区内の空き家の屋根が腐れ、小学校児童が通学路として安全に通学できないとの相談がありました。そこで市と調整の上、応急処置ではありますが崩壊物の撤去を行いました。

市道東庄内77号線(南条) ~舗装拡幅~
南条地区内の市道77号線の舗装拡幅工事が先般無事完了しました。少しの拡幅ではありますが、対向時に余裕がでるスムーズな走行ができるようになったと思います。また今後は、下方カーブ箇所の見直し改善対策をしていく予定です。

市民税補助事業 ~木製休憩所設置~
この度「みえ森と緑の県民税交付事業」として公民館隣の馬場公園内に東屋(休憩所)を設置していただけることになりました。夏~秋の完成に向けて、現在整地作業をいただいています。今後は地域の皆さんが多目的に使うことのできる公園にしていければと考えています。
そして、また庄内の憩い馬場が楽しめるよう、馬場コースは残していただきました。完成までもうしばらくお待ちください。

今年度の事業に関しては
新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら実施の判断をしていきたいと考えています。コロナ禍でもできることを考え、進めていきますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

広報すずか掲載文

情報誌 みえ森と緑の県民税事業
資料事業費 6,302,2017 49,992,7610
資料の活用はみえ森と緑の県民税事業

令和3年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします
本市では、平成28年4月から導入されたみえ森と緑の県民税を活用し、「庄内に無い森林づくり」に県民税と補助金を活用して取り組んでいます。

市内で実施した事業を紹介いたします。
令和3年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内17の事業を実施しました。

- 暮らしを守る森林保全事業
海岸の松林で、病害虫被害を受けている苗木の伐倒と移植を行いました。
- 緑と森を育む長太の大樹育生プロジェクト
長太の大樹の樹木計測と苗木生産などを行いました。
- 市タールの森林・生物観察用観察事業
木タールの森、多様な生物が生息する里、自然環境の安全な観察・教育できるようにするため、観察路の整備と案内板の設置を行いました。
- 災害からライフラインを守る事前伐採事業
過去に台風などの被害のあった苗木により幹腐病があった苗木について、伐倒の危険性の下、事前に苗木を伐採し、苗木による倒壊被害を予防しました。
- ふるさと水(苗木)古木保存活用事業
ふるさと水(苗木)の天然記念物や地域産品のシンボルになる苗木を苗木生産者の所有権などに対して、苗木計測や苗木生産などを行うための経費を補助しました。
- 森林環境教育支援事業
自然環境保全、森林環境教育、緑化推進など、森林を市で育て育む活動の推進に資する活動を実施する団体に補助金を交付しました。
- 森林と緑の生涯学習講座
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者対象に、夏休みに利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに組むなどの森林環境学習を行いました。
- 森林と緑の生涯学習講座
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者対象に、夏休みに利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに組むなどの森林環境学習を行いました。
- 森林と緑の生涯学習講座
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者対象に、夏休みに利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに組むなどの森林環境学習を行いました。

令和4年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の発展に応じて創意工夫した森林づくりや人と自然の調和に資する森林づくりなどの事業を実施していきます。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
8	ほたるの里森林及び生物観察用橋の設置				
事 業 費	2, 500, 000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2, 000, 000		500,000

1. 事業の目的

ほたるの里には毎年地区内外から多くの方がほたるの鑑賞に訪れている。しかしほたるの里にはほたる以外にも多種の生き物が生息しており、これらの生物を守りながら観察・鑑賞できる歩道及び水路上の橋を設置し、身近な八島川水系生物の生態を知ること、自然環境保全の意識につなげたいと考える。

2. 事業実績概要

【事業内容】

ほたるの里にはほたる以外にも多種の生き物が生息しており、これらの生物を守りながら観察・鑑賞できる歩道及び水路上の橋を三重県産材木材を使用して設置する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

庄内地区地域づくり協議会

【実施箇所及び箇所数】

1箇所

【事業量】

橋台(三重県産桧KD材 丸太4本,手摺13本,頬杖2本,貫8本グリーン材,床板27枚)

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

年齢問わず、里山生物の生態を見て感じることで、里山が育む生物多様性を理解し、愛する心情や態度が生まれる。地域児童の課外学習の場としても活用し、山と川のつながりや役割、その重要性も学ぶことができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

イベント会場としても利用していく予定。

地域児童の学習の場ともなるようPRするとともに教育機関にも働きかける。

【新たな対策・視点及び改善点】

耐久性に欠ける木製のメンテナンスとして3～5年を目途の防腐処理を継続して行っていく必要がある。特に手摺等の腐食には注意を払う必要がある。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
8	ほたるの里森林及び生物観察用橋の設置				
事 業 費	2,500,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		500,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	地域協議会等	10/10以内	2,000,000	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

庄内地区地域づくり協議会は、以前から里山保全活動に取り組んでおり、今回の事業は、森林教育の場としての利用が期待できることから、県民税の趣旨に沿ったものであると判断したため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	利用者（約25,000人）
期待する波及効果	ほたる観賞だけでなく自然と向き合い、改めて自然環境の良さを感じてもらい里山保全の意識を高めてもらう。

【公的関与の必要性】

交付金を活用することにより県民全体で森林を支える社会づくりを進めていることを周知できる。

ほたるの里は広く地区内外の方に利用されており、公共性が高い場所となっていることから公的関与は妥当と判断した。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

庄内ほたるの里の観光スポットとして日常的に三重県産木材と触れ合える機会を作れるように地域づくり協議会が管理していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施前・後	協議会たより(事業前6月、事業後11月)に事業内容掲載。計2回掲載。
標識・標柱等設置	実施後	事業名を明記し現地にて掲示中。
のぼり設置	実施中	完成記念式典でのぼりを設置
広報誌掲載	実施後	広報すずか（ミニ特集）・市民・県民税の活用について

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

広報等により周知が進み、これからの時期は利用者の増加が期待できる。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市
事業名	ほたるの里森林及び生物観察用橋の設置		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
建築工事	基礎工事	式	1	472,000	472,000	
建築工事	木工事	式	1	1,722,500	1,722,500	
建築工事	その他	式	1	78,227	78,227	
		小計			2,272,727	
		消費税			227,273	10%
		合計			2,500,000	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ほたるの里森林及び生物観察用橋の設置
-----	--------------------

7 の (1) . 写真



写真1

橋の全体写真



写真2

生物観察の様子



写真3

生物観察の様子(カワニナ放流)



写真4



写真5

完成記念式典の様子

写真6

写真6

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ほたるの里森林及び生物観察用橋の設置
-----	--------------------

7の(2). その他資料

地域広報誌



広報すずか掲載文

[illegible]

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
9	森と緑の生涯学習講座				
事 業 費	770,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			770,000		

1. 事業の目的

小学生を中心とした子どもと保護者が、森や緑の大切さについて学び、木にふれあう講座を行うことにより、森林保全や持続可能な自然環境などの理解を深めることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市立公民館において、地域づくり協議会等の社会教育事業を行う専門部に「森と緑の生涯学習講座」として委託し、小学生を中心とした子どもと保護者が、夏休みなど長期休暇を利用しながら、年3回以上、間伐材を使用した木工教室等とともに森林について考える森林環境学習を実施する。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

鈴鹿市

(椿、庄内、庄野、若松、河曲、飯野、一ノ宮、栄、旭が丘、合川、郡山の各公民館運営委員会など)

【実施個所及び箇所数】

椿、庄内、庄野、若松、河曲、飯野、一ノ宮、栄、旭が丘、合川、郡山の各公民館、11箇所

【事業量】

各公民館において年間3回以上、のべ39回

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

各館において、専門家の森の実情、環境、また、県産材の利活用などの講義で基本を学び、木工教室などの実技を取り入れた森林学習を通じて、学習参加者が森や緑の大切さを学ぶことができ、実際に木に触れて興味を持つことができた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

施設の立地による特性を活かして講座内容を考えたり、基本小学生を対象としているため子供が興味を持つ工作を組み入れるなどの工夫をした。また、子どもを通して保護者を巻き込んだ講座で参加対象の幅を広げた。さらに、指導者として高齢者の参加を促す取り組みも行った。

【新たな対策・視点及び改善点】

地域が主体となり、小学生を中心とした子どもと保護者に対し、様々な趣向を凝らした森林学習を行っており、参加者のアンケート等からも大変好評をいただいている事業である。今後も、森林環境教育への理解を深め、事業を継続していきたい。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
9	森と緑の生涯学習講座				
事 業 費	770,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			770,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	地域協議会等	10/10以内	70,000	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

地域づくり協議会や公民館運営委員会が、地域の生涯学習の場、地域の方の交流の拠点でもある公民館の事業運営を行っているため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	参加者（11公民館 計789名）
期待する波及効果	環境に対する森林保全の重要性の理解、対策としての県の取り組みへの理解を高める。

【公的関与の必要性】

森林保全に関する情報、講師の案内、他市町の事業に関する情報などの提供。全県的な取り組みや方針など包括的な理解を促すため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

該当なし

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中	講座中の掲示
広報誌掲載	実施前・中・後	地域へ回覧。募集、事業報告。
チラシ等配布	実施前	地域へ回覧。地区内施設への掲示。募集時
広報誌掲載	実施前・中・後	鈴鹿市HPの発行公民館だよりの掲載
広報誌掲載	実施後	広報すずか（ミニ特集）・市民・県民税の活用について

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

受講者から、「木のあたたかみのある椅子ができて嬉しい。自分で作ったので大切にしたい。」「今まで何気なく目にしていた街路樹のことを知って勉強になった。」「森にはたくさんの生き物が住んでいることが分かった。」等の意見をいただきました。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------	-----	-----

事業名	森と緑の生涯学習講座
-----	------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託事業	報償費, 材料費など	館	11.00	70,000	770,000	
		合計			770,000	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑の生涯学習講座
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

旭が丘公民館 時計作り



写真2

一ノ宮公民館 カラー黒板づくり



写真3

河曲公民館 ミニ椅子づくり



写真4

郡山公民館 木の話



写真5

郡山公民館 花車



写真6

若松公民館 虫の話

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
事業名	森と緑の生涯学習講座				

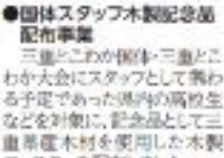
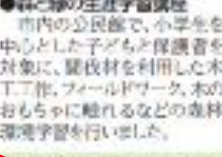
7の(2). その他資料

広報せずか掲載文

情報誌 ⑥ みえ森と緑の県民税事業
 森林水産課 0382-3017 0382-7610
 e-mail: sinfo@city.suzuka.lg.jp

令和3年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします
 本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、「災害に強い森林づくり」「県民全員で森林を支える社会づくり」に努めています。

市内で実施した事業を紹介します
 令和3年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で11の事業を実施しました。

●暮らしを守る森林保全事業 海岸の松林で、病害虫被害を受けている枯木の伐倒と駆除を行いました。 	●緑と森を育む長太の大樹再生プロジェクト 長太の大樹の樹木診断や腐木治療などを行いました。 	●ホテルの里森林・生物観察用橋設置事業 ホテルをはじめ、多様な生物が生息する里「のり原」環境を安全に観察・観賞できるようにするため、無碍なかるの里(市内)に歩道橋と橋を架設しました。 
●災害からライフラインを守る事前伐採事業 過去に台風などが原因の倒木により停電被害があった箇所について、地権者の了解の下、事前に危険木を伐採し、倒木による停電被害を予防しました。 	●ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業 ふるさとの木(市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている史木・樹木)の所有者などに対して、樹木診断や樹木治療などを行うための経費を補助しました。 	●国体スタッフ木製記念品配布事業 三重とこわか国体・三重とこわか大会にスタッフとして携わる予定であった県内の高校生などを対象に、記念品として三重県産木材を使用した木製コースターを配布しました。 
●馬場公園(庄内)木製休憩所設置事業 公園の緑豊かな風景に調和した、木製のベンチがある休憩スペースを設置しました。 	●森林環境教育支援事業 自然環境保全、森林環境教育、緑化活動など、森林を市民で守り育てる意識の醸成に寄与する活動を実施する団体に補助金を交付しました。 	●公立保育所および公立幼稚園樹木設置事業 三重県産木材を使用した畑や下駄箱を公立保育所や幼稚園の保育室に設置しました。 
●図書館木製商品購入事業 木製書架などを本館の閲覧室に設置しました。 ※三重県産木材を使用した書架、机、椅子などの商品を購入し、木の温かみのある空間づくりを行っています(平成27年度から)。 	●森と緑の生涯学習講座 市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、製材材を利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに触れるなどの森林環境学習を行いました。 	

令和4年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の美観に応じて創意工夫した森林づくりや県と連携した災害に強い森林づくりなどの取組を実施していきます。

0382-3017 ⑥

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
10	図書館木製備品購入事業				
事 業 費	877,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			877,800		

1. 事業の目的

前年度までの三重県木材を使用した書架・机等の備品購入により館内は居心地の良い場となってきた。令和 3 年度においても館内に木製書架等を閲覧室に設置し、来館者が木の温もりをより感じていただくため、木材に触れあえる場の提供に努める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

三重県木材を使用した木製書架を購入・設置することで、来館者が木製品とふれあう場を提供する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市

【実施個所及び箇所数】

1箇所（木製書架等を購入し、閲覧室に設置予定）

【事業量】

木製書架約5台設置等

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

木製の備品に触れ合い、居心地の良さを実感していただけることにより、来館者の増加が期待される。また、木製の備品との触れ合いを通じ、三重県産木材への関心を高め、さらには森林づくりへの意識の醸成に繋がることが期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

来館者に対して木製品（書架棚等）とのふれあいの場を提供することにより、三重県産木材に対しての理解を深めてもらう。

【新たな対策・視点及び改善点】

館内の木製備品を増やすことで、より多くの来館者に木の温かみを実感していただくことにより、利用回数の頻度の増加が見込まれる。

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
10	図書館木製備品購入事業				
事 業 費	877,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			877,800		

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	10/10以内		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

みえ森と緑の県民税を活用した備品購入であることより、県内業者であって三重県産木材を取り扱った当該事業において実績あること。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	図書館利用者（令和3年度利用者 本館226,359人、江島分館21,916人）
期待する波及効果	利用者の来館回数を増加させる効果があると思われる。また、利用者家族の三重県産木材に対する理解の向上効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

木製備品の使用については、受益の範囲が不特定多数が対象でありサービスの対価が徴収できないため、公的関与が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

木製備品について、図書館で管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ポスター掲示	実施後	木製備品が設置された閲覧室に掲示
広報誌掲載	実施後	広報すずかに掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------------	-----	-----

事業名	図書館木製備品購入事業
-----	-------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
物品	一般書架	台	4.00	219,450	877,800	特注品
		合計			877,800	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	図書館木製備品購入事業
-----	-------------

7 の（1）．写真



写真1

・ 図書館一般閲覧室



写真2

・ 図書館一般閲覧室



写真3

・ 図書館おはなしのへや



写真4

・ 図書館おはなしのへや



写真5

江島分館



写真6

江島分館

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	図書館木製備品購入事業
-----	-------------

7の(2). その他資料

広報すずか掲載文

情報誌 みえ森と緑の県民税事業
 森林水産課 ☎382-3017 382-7610
 e-mail: sori@city.suzuka.lg.jp

令和3年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします

本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、「災害に強い森林づくり」と「県民全員で森林を支える社会づくり」に取り組んでいます。

市内で実施した事業を紹介します

令和3年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で11の事業を実施しました。

- 暮らしを守る森林保全事業**
海岸の松林で、被害被害を受けている枯木の伐倒と駆除を行いました。
- 緑と森を育む長太の大樹門生プロジェクト**
長太の大樹の樹木診断や樹木治療などを行いました。
- ホテルの里森林・生物観察用橋設置事業**
ホテルをはじめ、多様な生物が生息する里の自然環境を安全に観察・観賞できるようにするため、銅門はかるの里(市内)に歩道橋と橋を設置しました。
- 災害からライフラインを守る事前防災事業**
過去に台風などが原因の倒木により停電被害があった箇所について、地権者の了解の下、事前に倒木を伐採し、倒木による停電被害を予防しました。
- ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業**
ふるさとの木(市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木・樹木群)の所有者などに対して、樹木診断や樹木治療などを行うための経費を補助しました。
- 国体スタッフ木製記念品配布事業**
三重とこのわが国体・三重とこのわが大会にスタッフとして参画する予定であった県内の高校生などを対象に、記念品として三重県産木材を使用した木製コースターを配布しました。
- 馬場公園(庄内)木製休憩所設置事業**
公園の緑豊かな景観に調和した、木製のベンチがみえる休憩スペースを設置しました。
- 森林環境教育支援事業**
自然環境保全、森林環境教育、緑化活動など、森林を市民で守り育てる意識の醸成に資する活動を実施する団体に補助金を交付しました。
- 公立保育所および公立幼稚園樹木設置事業**
三重県産木材を使用した樹木や下駄箱を公立保育所や幼稚園の保育室に設置しました。
- 図書館木製備品購入事業**
本棚書架などを本館の開館室に設置しました。
※三重県産木材を使用した、読書机、椅子などの備品を購入し、木の温かみのある学習づくりを行っています(平成27年度から)。
- 森と緑の生涯学習講座**
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、製材材を利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに触れるなどの森林環境学習を行いました。

令和4年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりや人と連携した災害に強い森林づくりなどの事業を実施していきます。

2022.3.10

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
11	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業				
事 業 費	2,200,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,200,000		

1. 事業の目的

公立保育所、幼稚園の、各保育室の棚や下駄箱に、木材を使用することで、温かみがあり、親しみやすい保育室にするとともに、木製品に触れ、良さを感じる機会とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

公立保育所、幼稚園の、各保育室の棚や下駄箱に、木材を使用することで、温かみがあり、親しみやすい保育室にするとともに、木製品に触れ、良さを感じる機会とする。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市

【実施個所及び箇所数】

公立保育所1か所、公立幼稚園1か所

【事業量】

下駄箱5台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

無機質、画一的な製品でなく、木材の持つ温かさや人工物にはない木製品の良さを幼児期より体感し、心豊かな環境で保育・教育を行うことができ、将来に向けた県民全体で森林を支える社会づくりに繋げている。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

保育所、幼稚園で学ぶ園児に、自ら使用する棚、下駄箱等のおいを嗅いで、みんなで感想を言い合う。どのように、森林の木から、このような棚になるのかを、保育、教育の場で保育士、幼稚園教諭から学ぶ機会を設ける。

【新たな対策・視点及び改善点】

未来を担う子どもたちに、幼児期から三重県産材の木材に触れ、身近に感じてもらうことで、森と県民とが調和し共生する社会の実現を目指す。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
11	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業				
事 業 費	2,200,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,200,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	小売業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

令和3年度鈴鹿市物件関係入札資格を有し、製作家具の登録がある地元業者を指名競争入札により決定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	保育所・幼稚園の園児（255人）、幼稚園保育所関係者（35人）
期待する波及効果	保護者や出入りする業者への波及効果も期待できる

【公的関与の必要性】

幼児教育・保育に対する多様なニーズへ対応し、更なる幼児教育・保育の充実を図るため、市による就学前施設の計画的な整備が必要と考える。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

下駄箱は毎日使用するため、清掃等、定期的にメンテナンスを行い、市による適切な維持管理に努める。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	設置された木製品にみえ森と緑の県民税を活用した事業である標識プレートを設置
学校だより等掲載	実施後	設置された木製品がみえ森と緑の県民税を活用していることを周知し、森林や木材について学びきっかけとする
広報誌掲載	実施後	広報すずかに掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

利用している園児は「木の良いにおいがする」という声や、保護者からは「温かみのある木の下駄箱になってうれしい」といった声が寄せられています。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市
事業名	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
神戸幼稚園	下駄箱	台	2.00	417,000	834,000	
牧田保育所	下駄箱（ひよこ組）	台	1.00	431,000	431,000	
	下駄箱（あひる組）	台	1.00	346,000	346,000	
	下駄箱（職員室前）	台	1.00	389,000	389,000	
		小計			2,000,000	
		消費税及び地方税相当額			200,000	10%
		合計			2,200,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業
-----	--------------------

7 の（1）. 写真



写真1

下駄箱（神戸幼稚園）



写真2

下駄箱（神戸幼稚園）



写真3

焼き印（神戸幼稚園）



写真4

下駄箱（牧田保育所 あひる組, 職員室前）



写真5

下駄箱（牧田保育所 ひよこ組）



写真6

焼き印（牧田保育所）

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業
-----	--------------------

7の(2). その他資料

広報すずか掲載文

情報誌 みえ森と緑の県民税事業
 森林水産課 382-3017 382-7610
 morin@city.suzuka.lg.jp

令和3年度みえ森と緑の県民税を活用した事業についてお知らせします

本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用し、「災害に強い森林づくり」と「県民全員で森林を支える社会づくり」に努めています。

市内で実施した事業を紹介します

令和3年度は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、市内で10の事業を実施しました。

- 暮らしを守る森林保全事業
海岸の松林で、病害虫被害を受けている枯木の伐倒と除去を行いました。
- 緑と森を育む長太の大樹再生プロジェクト
長太の大樹の樹木診断・腐木治療などを行いました。
- ホテルの里森林・生物観察用橋設置事業
ホテルをはじめ、多様な生物が生息する里山が自然環境を安全に観察・鑑賞できるようにするため、歩道橋と柵を設置しました。
- 災害からライフラインを守る事前仕度事業
過去に台風などが原因の倒木により停電被害があった箇所について、地権者の了解の下、事前に危険木を伐倒し、倒木による停電被害を予防しました。
- ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業
ふるさとの木(市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木・腐木)の所有者などに対して、樹木診断や腐木治療などを行うための経費を補助しました。
- 国体スタッフ木製記念品配布事業
三重とこれか国体・三重とこれか大会にスタッフとして参画する予定であった県内の高校生などを対象に、記念品として三重県産木材を使用した木製コースターを配布しました。
- 馬場公園(庄内)木製休憩所設置事業
公園の緑豊かな景観に調和した、木製のベンチがみえる休憩スペースを設置しました。
- 森林環境教育支援事業
自然環境保全、森林環境教育、緑化活動など、森林を市民で育み育てる意識の醸成に資する活動を実施する団体に補助金を交付しました。
- 公立保育所および公立幼稚園等設置事業
三重県産木材を使用した柵や下駄箱を公立保育所や幼稚園の保育室に設置しました。
- 図書館木製備品購入事業
木製書架などを本館の閲覧室に設置しました。
※三重県産木材を使用した書架、机、椅子などの備品を購入し、木の温かみのある学習づくりを行います(平成27年度以降)。
- 森と緑の生涯学習講座
市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、製材材を利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに触れるなどの森林環境学習を行いました。

令和4年度も、引き続き「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりや人と連携した災害に強い森林づくりなどの施策を実施していきます。

2021.4.12

龜山市

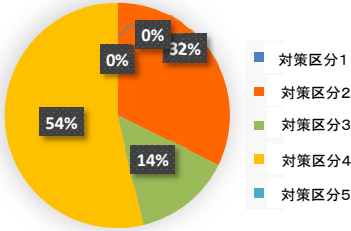
令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

市町名	市町名	三重県
人口（人）	49,950	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	13.8%	12.4%
森林面積(ha)	12,034.48	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	11,680.86	348,833.49
森林率(%)	63.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.1	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	集落周辺の森林整備事業（危険木等の伐採）	2,165,884	2,000,000		2,000,000			
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,221,000	305,250		305,250			
3	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	1,396,130	1,000,000			1,000,000		
4	4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	1,480,050	1,480,050				1,480,050	
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	1,398,583	1,356,700				1,356,700	
6	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（JR加太駅舎改修）	1,049,400	1,000,000				1,000,000	
7		みえ森と緑の県民税基金積立	4,000,000	4,000,000					4,000,000
計			12,711,047	11,142,000	0	2,305,250	1,000,000	3,836,750	0

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.0601ha	1,221,000	305,250	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採（伐採内訳：スギ・ヒノキ52本、その他広葉樹8本）

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市は、北勢地域随一の林業地帯として古くからスギ・ヒノキを主とした人工林の整備が進められ、良質な木材の生産・供給が行われてきました。しかし、林業を取り巻く情勢は厳しく、採算性の悪化、高齢化等による担い手不足のため、放置される森林が増加したことで森林の機能低下が進んでいます。このため、既存の財源を活用し、林業生産活動の支援や地域材を活用した商品を「亀山ブランド」として認定することで森林整備や地域材の利用促進に取り組んでいます。今後も、森林の有する様々な働きを発揮させるための森林整備や地域材の利用を促進するためには、市民の森林に対する理解と関心を深めることが大切です。このことから、県民税を活用し、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることや、暮らしに身近な森林を整備を進め、地域の生活環境の向上を図ります。
事業実施により期待される効果
様々な事業に取り組み、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることで市民の森林に対する理解と関心が深まるとともに、地域の危険木やライフラインが寸断される恐れのある樹木を伐採することで市民の暮らしの安全・安心に大きく寄与できる。協議会がコロナ禍の中、工夫を凝らしイベントを開催することで幅広い年代の市民に森林とふれあう場を提供できる。更に、保育園・認定こども園で木育教室を開催することで園児たちに木材にふれる機会が作れ、豊かな心が育まれる。森林公園やまびこの施設整備等を行うことで、子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができることと、森林や木にふれあう場や緑に親しむ環境を提供できる。
情報発信への取組
市ホームページに事業実施結果を掲載。イベント開催時にパンフレットや啓発物品を配付。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	① 意向調査の準備作業	21,454	21,454
2	② 意向調査	87	87
3	③ 私有林整備	204	204
4	⑩ 専門員の雇用	2,100	2,100
5	⑰ 基金積立（森林整備等）	13,925	12,850
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	37,770	36,695

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）				
事 業 費	2,165,884 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		165,884

1. 事業の目的

自治会や市民から公共施設周辺の倒木の恐れのある危険木の除去や道路に覆いかぶさった枝葉が通行に支障を及ぼすため剪定などの要望が近年多くあることから、伐採や剪定により除去することで市民の安全・安心に寄与する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

公共施設周辺の危険木や道路に覆いかぶさった枝葉を伐採、剪定する。伐採した危険木は放置せずチップ工場へ搬出し木質バイオマスの燃料として活用する。また、伐採後は天然更新または、適宜伐採するなど多様な広葉樹林帯を形成し緑化に努める

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

亀山市

【実施箇所及び箇所数】

5 箇所（市道西丸1号線、市道工業団地10号線、朝明山1号線、亀田川合線、和田のぼの線）

【事業量】

危険木：52本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

地域の生活環境及び通行時の安全・安心が確保されることと、回覧文書にて県民税をPRすることで集落周辺の森林整備をすることの大切さを学ぶ。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

自治会等からの要望を基に、特に危険度の高いところから優先的に伐採を実施することで効果的に事業を実施している。

【新たな対策・視点及び改善点】

自治会等からの要望を基に危険度の高いところから実施。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）				
事 業 費	2,165,884 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		165,884

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		「公園・緑地の維持管理と積算」財団法人経済調査会を基に伐採の積算歩掛り。入札により、落札業者と単価契約を締結。

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

危険木の伐採作業は高度の技術を要するため、伐採作業に長けた地元建設業者による入札を実施し、落札業者と単価契約を締結した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	5 地区（2 4 2 戸、5 0 8 人）
期待する波及効果	地域の生活環境及び通行時の安全・安心が確保される。

【公的関与の必要性】

各施設の管理者は市であることから公的関与が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市管理の施設であることから転用の恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	市ホームページに掲載し周知する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市
事業名	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
市道西丸1号線		本	1.00	508,000	508,000	道路沿い 平地
市道工業団地10号線		本	10.00	38,628	386,280	道路沿い 斜面
市道朝明山1号線		本	1.00	249,010	249,010	道路沿い 斜面
市道亀田川合線		本	15.00	22,710.4	340,656	道路沿い 斜面
市道和田のぼの線		本	25.00	19,401.6	485,040	道路沿い 斜面
		小計			1,968,986	
		消費税及び地方税相当額			196,898	10%
		合計			2,165,884	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）
-----	---------------------

7の（1）. 写真



写真1

市道西丸1号線（伐採前）



写真2

市道西丸1号線（伐採後）



写真3

市道工業団地10号線（伐採前）



写真4

市道工業団地10号線（伐採後）



写真5

市道朝明山1号線（伐採前）



写真6

市道朝明山1号線（伐採後）

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）
-----	---------------------

7の（1）. 写真



写真1

市道亀田川合線（伐採前）



写真2

市道亀田川合線（伐採後）

写真3

写真4

写真3

写真4

写真5

写真6

写真5

写真6

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	1,221,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			305,250		915,750

1. 事業の目的					
台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採し、市民の暮らしの安全・安心を守る。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】 県・市及びライフライン事業者と三者協定を締結し、事業の対象とする箇所の現地調査等を行い、施行範囲、伐採本数を決定する。また、所有者の明確化、承諾交渉及び根拠資料を作成し、台風などにより、倒木の恐れのある樹木や枝葉を事前に伐採・除去する。 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 中部電力パワーグリッド株式会社・三重県・亀山市 【実施箇所及び箇所数】 亀山市関町越川地内 【事業量】 施行面積：0.0601ha 伐採本数：スギ・ヒノキ 52本（12年～50年生） その他広葉樹 8本（21年～37年生）					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】 台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採し、整備することで市民の暮らしの安全・安心が守られる。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 ライフライン事業者・県・関係部局と連携し、特にライフラインの保全が重要な箇所を選定し、危険木を伐採することで効果的に事業を実施した。 【新たな対策・視点及び改善点】 ライフライン事業者・県・市の3者で連携し、引き続きライフラインの保全に取り組んでいく。					

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	1,221,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			305,250		915,750

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林施業に実績のある森林組合を対象に指名競争入札にて決定

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	亀山市関町越川地区（17世帯 41人）
期待する波及効果	台風などの倒木被害により、電気などのライフラインが寸断される恐れのある樹木を事前に伐採し、整備することで市民の暮らしの安全・安心が守られる。

【公的関与の必要性】

台風等の倒木被害から、ライフラインを守ることは公益的に重要であることから、県民の安全・安心な生活を守るため、市が事業を実施し、災害時の被害を抑える。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施後の伐採木及び森林の管理は土地の所有者が管理を行う。また、事業実施承諾書を得ているが、その中で施行後に市の行う維持管理行為をはばまないことと規制等をしている。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施前・中・後	事業実施箇所にのぼりを設置
施工看板に掲示	実施中	県民税マグネットにて掲示
チラシ等配布	実施前	関係自治会に事業実施について文書を配布

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採	高所作業車使用	本	60.00	18,500	1,110,000	スギ・ヒノキ12～50 cm 52本 その他広葉樹21～37 cm 8本 高所作業車、交通誘 導員含む
			小計		1,110,000	
			消費税及び地方税相当額		111,000	
		合計			1,221,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1). 写真



写真1

伐採前



写真2

伐採前

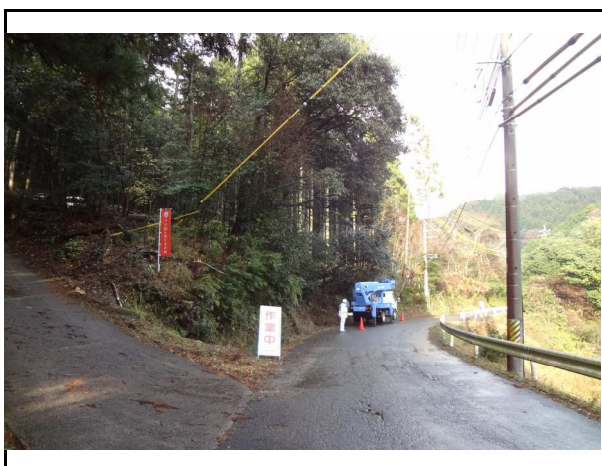


写真3

伐採中



写真4

伐採中



写真5

伐採後



写真6

伐採後

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
7 の（2）. その他資料					

令和 3 年 10 月 11 日

越川自治会のみなさまへ

亀山市産業建設部産業振興課

災害からライフラインを守る事前伐採事業の実施について

平素は、森林林業行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、関町越川地内の市道金場越川線沿いにて台風などにより、ライフライン（配電線）を寸断する恐れのある樹木を事前に伐採することで配電線の断線や配電柱の倒壊を未然に防ぐ事業を実施させていただくこととなりました。このような倒木被害を未然に防ぎ、山間部における長期的な停電が発生しないように取組むことで、市民の安全・安心な暮らしを守ります。

つきましては、下記の期間にて実施させていただき、市道での作業中は交通誘導員等を配備し安全に努めさせていただきます。みなさまには、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この事業はみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して実施します。

記

期 間：令和 3 年 12 月 13 日（月）～令和 3 年 12 月 24 日（金）8：30～17：15

受託者：鈴鹿森林組合 亀山市加太板屋 4622-1 TEL 98-0010



担当

亀山市産業振興課 森林林業 G 近藤 美文

電話 0595-84-5068

ファックス 0595-82-9669

電子メール shinrin@city.kameyama.mie.jp

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）				
事 業 費	1,396,130 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,000,000		396,130

1. 事業の目的

地域の宝である「地域資源（森林等）」をみんなで守るため、多様な主体が森林とふれあう場を創出し次世代につなげる。

2. 事業実績概要

【事業内容】

協議会が坂下地区、野登地区、加太地区でイベントや講座などを開催することで、森林や農地の自然保全活動に繋がる。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿川等源流の森林づくり協議会

【実施個所及び箇所数】

- ・ 亀山市内3地区（加太地区、坂下地区、野登地区）
- ・ いきもの調査クエスト～鈴鹿川等源流域の生き物を調査せよ！！～
（野登、白木、関町北部、関町南部、坂下、加太地区）

【事業量】

- ・ 第5回サマーフォレストinやまびこ（加太地区） 開催日：令和3年8月7日（土）
開催場所：市林業総合センター 参加人数：11組31人
※雨天のため加太川水生生物調査は中止し、木工工作のみ開催
- ・ 森の3つの楽しみ方at東海自然歩道～ツリークライミング、木工工作、森歩き～（坂下地区）
開催日：令和3年11月3日（祝） 開催場所：鈴鹿峠自然の家、ブレンディの森 参加人数：8組25名
- ・ いきもの調査クエスト～鈴鹿川等源流域の生き物を調査せよ！！～
調査期間：令和3年9月17日～11月16日 イベント参加人数：106名
期間中の開催場所投稿数：1,054件 発見生物種：469種
- ・ 冬でも！五感で楽しむ冬の恵み ～シイタケの菌内とアメニティウッド体験～
（開催予定日令和4年1月22日三重県まん延防止等重点措置に伴い中止）
- ・ 東海自然歩道の散策と里山体験（野登地区） 開催日：令和4年3月5日（土）
開催場所：安坂山町地内 参加人数：22組45名

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

産・学・民・官にて構成する協議会が森林づくりや地域資源保全活動を行うことで、多種多様な方々が参加される。参加者が森林の大切さなどを多くの方に伝えられる。また、鈴鹿川等源流域での生き物調査を通じ自然と触れ合うことで、森林・自然への意識を高め森林を支える社会づくりに繋げている。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

コロナ禍の中でもイベントが開催できるように、参加人数を少なくしたり、屋外で開催するなど密を避けるように取り組んだ。

【新たな対策・視点及び改善点】

子どもから大人まで気軽に参加できるように「いきものコレクションアプリ」（バイオーム）を活用した。参加の申し込みが多く、ニーズがあるため継続していく。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）				
事 業 費	1,396,130 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,000,000		396,130

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
負担金	活動団体	10/10以内		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

鈴鹿川等源流の森林づくり構想を実現するための事業を実施する鈴鹿川等源流の森林づくり協議会を選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	イベント参加者及び各地区の地域住民
期待する波及効果	参加者が森林の大切さなどを多くの方に伝えられる。

【公的関与の必要性】

森林環境教育・木育に関する取組を広く県民に推進するため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

公共施設や東海自然歩道での開催のため、転用が想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中	県民税ロゴマークを表示したスタッフベストを着用し活動している
啓発物品配布	実施中	イベント開催時に参加者に県民税パンフなどを配布し周知
のぼり設置	実施中	イベント開催時にのぼり旗を設置しPR

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市
事業名	森と木材のふれあい事業(森林づくり協議会)		

4. 効率性: 主な経費内訳

第5回サマーフォレストinやまびこ

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品費	踏み台工作キット	個	45.00	3,300	148,500	税込
消耗品費	耐水ヤスリ	P	1.00	558	558	税込
消耗品費	木工用ボンド	個	15.00	110	1,650	税込
消耗品費	紙ボウル	個	1.00	158	158	税込
消耗品費	イベント保険	式	1.00	2,429	2,429	税込
消耗品費	子ども用軍手	組	10.00	198	1,980	税込
消耗品費	マスク	セット	1.00	1,078	1,078	税込
消耗品費	ステン丸頭スクリュー	箱	1.00	1,925	1,925	税込
消耗品費	カートカン飲料	セット	1.00	5,040	5,040	交付金対象外
		小計			163,318	
		消費税及び地方税相当額				
		①合計			163,318	

森の3つの楽しみ方at東海自然歩道～ツリークライミング、木工工作、森歩き～

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
役務費	イベント保険	式	1.00	7,739	7,739	税込
報償費	お礼(ツリークライミング)	人	3.00		115,000	
委託費	森歩き委託料	式	1.00		138,600	税込
役務費	委託料収入印紙	枚	2.00	200	400	交付金対象外
		小計			261,739	
		消費税及び地方税相当額				
		②合計			261,739	

いきもの調査クエスト～鈴鹿川等源流域の生き物を調査せよ！！～

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託費	調査企画作業委託	式	1	499,400	499,400	
役務費	委託料収入印紙	枚	2	400	800	交付金対象外
		小計			500,200	
		消費税及び地方税相当額				
		③合計			500,200	

冬でも！五感で楽しむ冬の恵み ～シイタケの菌内とアメニティウッド体験～(中止)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
役務費	イベント保険	式	1.00	2,429	2,429	交付金対象外
消耗品費	原木	本	150.00	550	82,500	東海自然歩道の散策と里山体験にて使用
消耗品費	菌コマ(1000駒)	袋	1.00	4,000	4,000	東海自然歩道の散策と里山体験にて使用
消耗品費	紙コップ	組	1.00	220	220	交付金対象外
消耗品費	オールドウッドワックス	個	1.00	3,180	3,180	交付金対象外
消耗品費	腐葉土	個	2.00	498	996	交付金対象外
消耗品費	鹿沼土	個	2.00	298	596	交付金対象外
消耗品費	培養土	個	6.00	198	1,188	交付金対象外
消耗品費	植木鉢	個	10.00	598	5,980	交付金対象外
消耗品費	イベント用資材	式	1.00	33,000	33,000	交付金対象外
消耗品費	工作キット(プランターケース)	個	42.00	3,564	149,688	交付金対象外
		④小計			283,777	
		消費税及び地方税相当額				
		④合計			283,777	

東海自然歩道の散策と里山体験

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
役務費	イベント保険	式	1.00	3,400	3,400	税込
消耗品費	選木テープ	個	3.00	190	570	税込
消耗品費	養生テープ	個	1.00	245	245	税込
消耗品費	カラー粘着テープ	個	1.00	298	298	税込
消耗品費	綿ロープ	m	30.00	368	11,040	税込
消耗品費	根巻四角布	個	3.00	148	444	税込
消耗品費	シュロ縄	個	1.00	658	658	税込
消耗品費	ロックタイ	個	1.00	998	998	税込
消耗品費	菌コマ(1000駒)	袋	2.00	4,000	8,000	税込
消耗品費	菌コマ(500駒)	袋	2.00	2,000	4,000	税込
消耗品費	防護ネット	セット	30.00	880	26,400	税込
消耗品費	ミツマタ	式	1.00	11,200	11,200	税込
消耗品費	動物獣忌避剤	セット	3.00	1,421	4,263	税込
消耗品費	クレオソート杭	本	10.00	498	4,980	税込
消耗品費	クワ	本	3.00	4,620	13,860	税込
消耗品費	カツラ	本	3.00	4,950	14,850	税込
消耗品費	ハンノキ	本	3.00	2,310	6,930	税込
消耗品費	シュロノキ	本	3.00	8,800	26,400	税込
消耗品費	杭1.2m	本	35.00	836	29,260	税込
消耗品費	杭1.5m	本	3.00	880	2,640	税込
消耗品費	パーク肥料	袋	2.00	770	1,540	税込
消耗品費	化成肥料	袋	1.00	5,500	5,500	税込
消耗品費	山土	m ³	0.30	15,400	4,620	税込
報償費	お礼	式	1.00	5,000	5,000	
		④小計			187,096	
		消費税及び地方税相当額				
		合計			187,096	
		①+②+③+④合計			1,396,130	うち396,130円はその他財源

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業(森林づくり協議会)
-----	-----------------------

7の(1). 写真



写真1

第5回サマーフォレストinやまびこ 8月7日



写真2

第5回サマーフォレストinやまびこ 8月7日



写真3

第5回サマーフォレストinやまびこ 8月7日

写真4

写真4

写真5

写真6

写真5

写真6

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

7の（1）．写真



写真1

森の3つの楽しみ方（開会式）

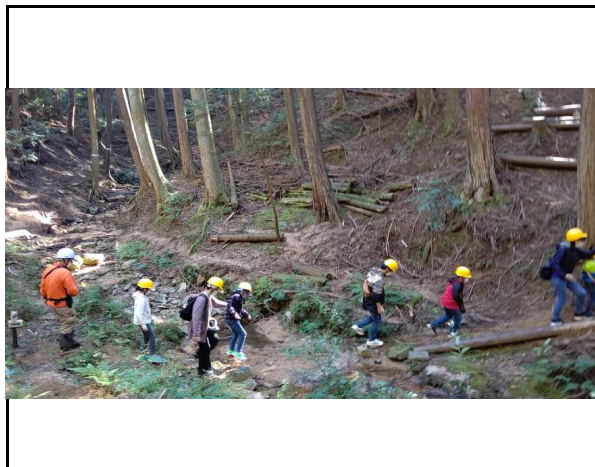


写真2

森の3つの楽しみ方（森歩き）

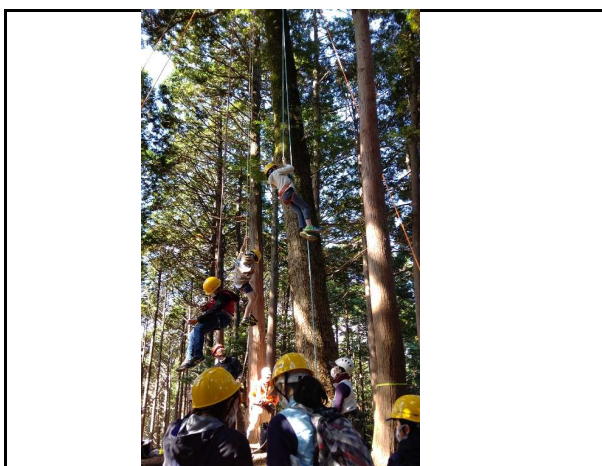


写真3

森の3つの楽しみ方（ツリークライミング）

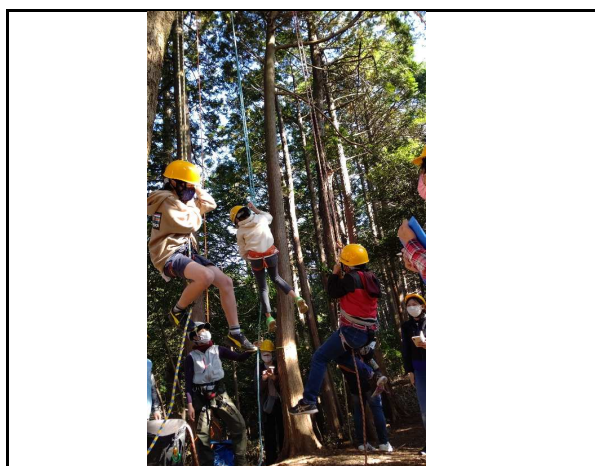


写真4

森の3つの楽しみ方（ツリークライミング）



写真5

森の3つの楽しみ方（木工工作）



写真6

森の3つの楽しみ方（完成）

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

7の(1). 写真



写真1

東海自然歩道の散策と里山体験

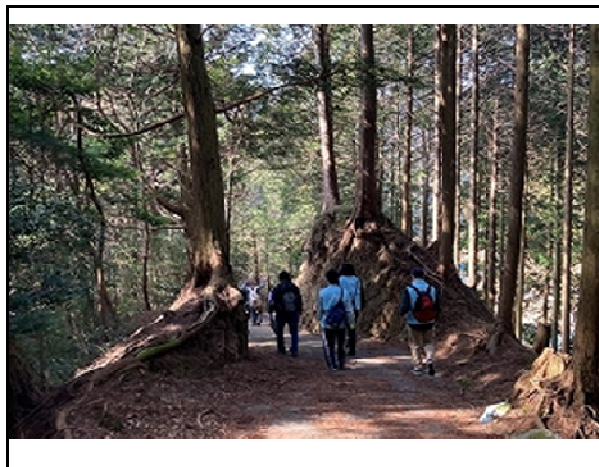


写真2

東海自然歩道の散策と里山体験



写真3

東海自然歩道の散策と里山体験



写真4

東海自然歩道の散策と里山体験



写真5

東海自然歩道の散策と里山体験



写真6

東海自然歩道の散策と里山体験

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

7 の（2）. その他資料

鈴鹿川等源流の森林づくり協議会 主催

生きものの調査クエスト

～鈴鹿川等源流域の生き物を調査せよ!!～

くわしくはコチラ

協議会HP

調査期間：令和 3 年

9月17日(金)

▶ **11月16日(火)**

▶ 参加する

お問い合わせ：亀山市生活文化部環境課環境創造グループ内
鈴鹿川等源流の森林づくり協議会事務局



第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
事業名	森と木材のふれあい事業(森林づくり協議会)				

7の(2). その他資料

いきものコレクションアプリ
Biome - バイオーム

達成者プレゼントや
お得な参加者特典あります
くわしくはHPをご覧ください。

スマホを持って源流域を冒険しよう!

亀山市西部に広がる鈴鹿川などの河川の源流域には、どんな“いきもの”がすんでいるのか？
調査をするのはあなたです！やり方はカンタン、スマホで写真を撮ってアプリに投稿するだけ。
さあ、鈴鹿川等源流域の“いきもの”を探して冒険しよう！



	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4
参加方法				
	QRコードから アプリを インストール	ホーム画面のバナー からクエストに 参加しよう	クエストエリア などの条件を 確認しよう	クエストエリアの いきものを5種類 撮影して投稿しよう

“いきもの”コレクションアプリ バイオーム

BIOME とは...

スマートフォンアプリ『Biome』は、日本国内の動植物種
(約92,000種)を収録した“いきもの”コレクションアプリです。
見つけた動植物の名前をAIを使って判別することができます。



“いきもの”判定



“いきもの”地図



“いきもの”図鑑

“いきもの”
タイムライン

他にも“いきもの”に親しむ機能が満載！

注 意

- ・Biomeは、株式会社バイオームが提供するスマートフォン用アプリケーションです。操作方法などは株式会社バイオームが公開するホームページ等をご確認ください。“いきもの判定”には、写真撮影時に位置情報を付与する必要があります。また、通信料がかかります。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえ、感染拡大状況に注意してご参加ください。
- ・歩きスマホは危ないためご注意ください。撮影やアプリ操作は立ち止まって行ってください。また、危険な場所には立ち入らないでください。
- ・公園や各施設では、それぞれの場所のルールに従ってください。私有地など、許可なく立ち入ってはいけない場所に入らないでください。
- ・野生動植物を採取したり、木の枝を折るなど損傷させないようにしてください。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)
-----	------------------------

7 の (2) . その他資料

イベント中に投稿された写真 (抜粋)、
※鈴鹿川等源流の森林づくり協議会ホームページより



陸生動物

ユーザーが投稿した
陸の動物の投稿数



ツマグロ
ヒョウモン



©コバルト2005
投稿数: 13件

昆虫類チョウ目タテハチョウ科
鮮やかな羽が美しいチョウのなかま。
実はアフリカから日本までの温暖な地域に広く分布している。



ジョロウグモ



©daigororin
投稿数: 11件

クモ類クモ目ジョロウグモ科
人家の近くでよく見られる代表的なクモのなかま。
特徴的な模様になるのはメスだけで、オスは地味で目立たない。



アキアカネ



©まっちゃん☆
投稿数: 8件

昆虫類トンボ目トンボ科
「赤トンボ」とも呼ばれる代表的なトンボのなかま。
重宝でも親しまれ、日本人の心の原風景になっている。

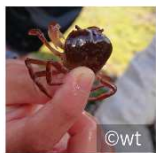


水生生物

ユーザーが投稿した
水生生物の投稿数



サワガニ



©wt
投稿数: 31件

甲殻類十脚目サワガニ科
水がきれいな上流にすむ小さなカニのなかま。
日本にしかない種類で、こうした生物は固有種 (こゆうしゅ) といいます。



カワムツ



©魚と子どもKidsクラブ
投稿数: 24件

魚類コイ目コイ科
西日本で広く見られる身近な川魚です。鈴鹿川でも上流から下流までたくさん生息しています。



モクズガニ



©コバルト2005
投稿数: 22件

甲殻類十脚目モクズガニ科
海と川を行ったり来たりしながら生活しているカニのなかま。美味しいので、遡流域では、昔から冬のごちそうでした。



外来種

アカミミガメ
のなかま



©22琥珀44

は虫類カメ目ヌマガメ科
ペットとして北米から持ち込まれたカメのなかま。
ミドリガメの名前で広まったものが捨てられて野生化し、他の生物を食べて減らしてしまふ

アメリカザリガニ



©地球を守ろう東海

甲殻類十脚目
アメリカザリガニ科
ウシガエルのエサとして北米から持ち込まれたザリガニのなかま。
水辺の動物を食べるだけでなく、水草を切って、生息場所を奪う。



陸生動物

ユーザーが投稿した
陸の動物の投稿数



ツマグロ
ヒョウモン



©コバルト2005
投稿数: 13件

昆虫類チョウ目タテハチョウ科
鮮やかな羽が美しいチョウのなかま。
実はアフリカから日本までの温暖な地域に広く分布している。



ジョロウグモ



©daigororin
投稿数: 11件

クモ類クモ目ジョロウグモ科
人家の近くでよく見られる代表的なクモのなかま。
特徴的な模様になるのはメスだけで、オスは地味で目立たない。



アキアカネ



©まっちゃん☆
投稿数: 8件

昆虫類トンボ目トンボ科
「赤トンボ」とも呼ばれる代表的なトンボのなかま。
童謡でも親しまれ、日本人の心の原風景になっている。



植 物

ユーザーが投稿した
植物の投稿数



スギ



©やすけい
投稿数: 13件

種子植物マツ目ヒノキ科
亀山市の「市の木」に指定されている樹木。
人との関りが深い植物で家の材料として、全国で植林されている。



ススキ



©ひとりくん
投稿数: 11件

種子植物イネ目イネ科
秋の七草のひとつで、和歌や俳句にも詠まれることが多い植物である。
日本全国の日常たりとい原っぱに生える。



ヒガンバナ



©みゆびん
投稿数: 8件

種子植物キジカクシ目ヒガンバナ科
秋の里山に鮮やかに花を咲かせる。日本のものは種ができず、株分けでふえたクローンである。



レアな生物

ニホンザル



©black

ほ乳類霊長目オナガザル科
里山で見られる代表的なほ乳類で、近年では田畑を荒らすなどの「獣害」を引き起こす。日本文化では古くから親しまれている。

タイワン
ホトトギス



©1* りんごん

種子植物ユリ目ユリ科
環境省レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類(VU)に分類されている。
日本では沖縄に分布し、産用にも栽培される。

ウツセミカジカ



©Ruri

魚類カサゴ目カジカ科
環境省レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類(VU)に分類されている。
人間の活動で川底の環境が変化し、数が減っている。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）				
事 業 費	1,480,050 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,480,050		

1. 事業の目的

園児たちが、日頃から木材や木製品をふれられる環境をつくり、木への親しみや木の文化への理解を深めて、木材の良さや利用の意義を学ぶ。

2. 事業実績概要

【事業内容】

各園で必要な園児たちが遊べる木製玩具などの導入や遊具の組み立てなどを行う。のこぎりや金づちなどの道具を使う体験を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

亀山市

【実施個所及び箇所数】

亀山市立関認定こども園アスレ：令和3年10月28日、29日開催

亀山市立神辺保育園：令和3年11月8日開催

亀山市立昼生幼稚園：令和4年2月16日開催

【事業量】

亀山市立関認定子ども園アスレ：平台8個

亀山市立神辺保育園：ベンチ2台、積み木1,000個、丸テーブル1台

亀山市立昼生保育園：卓上ままごとキッチン9台、虫かご置き棚2台、
屋外用テーブル1台、屋外用ベンチ2台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

園児たちが製品をつくり、自らふれる環境をつくったことで、木への親しみが深まり、木材の良さや利用の意義が学べる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

事業実施時（例年11月～翌年2月）に木製玩具などを導入する意義を伝え、実際に木の持つ温かさや香りを感じてもらうことで感性が豊かになるよう実施する。

【新たな対策・視点及び改善点】

引き続き同様に取り組む。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）				
事 業 費	1,480,050 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,480,050		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		②亀山木材産業協同組合の協力を得て開催し、保育園・幼稚園を対象としている。
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
亀山市産材を取り扱い実績のある亀山木材産業協同組合に協力を依頼している。 幼い頃に木材や木製品をふれられる環境をつくることで、木への親しみや木の文化への理解を深めつつ木材の良さや利用の意義を学ぶため。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	園児70人、園関係者140人			
期待する波及効果	園児を通じて保護者への波及効果が期待できる			
【公的関与の必要性】				
園に導入した木材製品を毎年入園してくる園児たちが継続的に遊んだり活用することで、広く市民への森林環境教育に繋がるため。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
日常的に園が管理する。また、工作作品のため、転用が想定されないので該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	木とふれあう開催後に内容を掲載		
ロゴマーク掲示 (シル・プレート等)	実施後	作品に県民税ロゴを焼印		
啓発物品配布	実施後	保護者や園児に啓発物品（パンフ含む）配付し周知に努めた		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
園から工作した作品にふれることで木に親しむきっかけとなったとの声をいただいた。保護者から日常でできない体験（金槌・鋸）ができてよかったと園から報告があった。				

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市
事業名	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品費（関認定こども園アスレ）	平台	個	8	55,000	440,000	
消耗品費（神辺保育園）	丸テーブル	台	1	157,000	157,000	
	ベンチ	台	2	12,000	24,000	
	つみき	枚	1000	270	270,000	
消耗品費（昼生保育園）	卓上ままごとキッチン	個	9	33,000	297,000	
	虫かご置き棚	台	2	32,000	64,000	
	屋外用テーブル	台	1	38,500	38,500	
	屋外用ベンチ	台	2	27,500	55,000	
		小計			1,345,500	
		消費税及び地方税相当額			134,550	
		合計			1,480,050	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）
-----	---------------------

7の（1）．写真



写真1

のこぎりの使い方説明（10月28日）



写真2

丸太切り体験（10月28日）



写真3

丸太切り体験（10月28日）



写真4

平台作り（10月29日）



写真5

平台作り（10月29日）



写真6

完成

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）
-----	---------------------

7の（1）．写真



写真1

園長先生からのお話し（11月8日）



写真2

ベンチ組立（11月8日）



写真3

ベンチ組立（11月8日）



写真4

積み木遊び



写真5

丸太切り体験



写真6

完成（ベンチと積み木）

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）
-----	---------------------

7の（1）．写真



写真1

昼生保育園（2月16日）



写真2

昼生保育園（2月16日）



写真3

昼生保育園（2月16日）



写真4

屋外用テーブル、ベンチ



写真5

虫かご置き棚



写真6

卓上ままごとキッチン

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	森林環境教育・木育が行える場の整備（森林公園やまびこ）				
事 業 費	1,398,583 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,356,700		41,883

1. 事業の目的	
森林環境教育や木育を行っている「森林公園やまびこ」の施設整備等を行うことで、森林とふれあい、体感できる学びの場の利用者の増加を図る。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 森林公園やまびこは、開設後10年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。この施設を今後も森林環境教育の場として活用していくために、新たに休憩場所等の設置や八橋の補修を行う。 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 亀山市 【実施個所及び箇所数】 亀山森林公園やまびこ 【事業量】 八橋補修：約 58 m 森林環境教育用看板：1基	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】 子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができる。また、森林環境教育、木材にふれあう場や緑に親しむ環境を引き続き提供でき、来場者の増加が見込める。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 八橋の補修材は、長期間使用できるように防虫防腐処理済材を導入している。森林環境教育用看板を人目に付きやすい場所に設置した。 【新たな対策・視点及び改善点】 防虫防腐処理済材であっても材と材の接する面に防腐塗料を塗った。	

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	森林環境教育・木育が行える場の整備（森林公園やまびこ）				
事 業 費	1,398,583 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,356,700		41,883

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		②製材業者・全国林業技術普及協会

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

亀山木材産業協同組合員の中から購入先を選定。森林環境教育用パネルを全国林業技術普及協会より購入。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	・森林づくり協議会によるイベント参加者 31名 ・加太保育園 園児26名 (月1回利用) ・その他来場者数 約1,200名
期待する波及効果	公園利用者が公園の魅力を多くの人達に伝えることで利用者の増加が見込まれる。

【公的関与の必要性】

市の自然公園条例に基づく公園のため公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市の施設であることから転用や目的外使用はない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	県民税を活用し補修したことを周知した。
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	森林環境教育パネルにロゴマーク等表示

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市
事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備 (森林公園やまびこ)		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	10.00	3,120	31,200	90×90×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	80.00	2,340	187,200	90×90×3000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 杉	本	10.00	2,900	29,000	150×50×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 丸杭	本	110.00	380	41,800	600×直径50自然杭
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	20.00	3,120	62,400	90×90×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	75.00	2,340	175,500	90×90×3000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 杉	本	10.00	2,900	29,000	150×50×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	8.00	3,300	26,640	90×90×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	80.00	2,500	200,000	90×90×3000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 杉	本	8.00	3,050	24,400	150×50×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 丸杭	本	200.00	200	40,000	600×直径45円柱杭
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	22.00	3,700	81,400	90×90×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	60.00	2,780	166,800	90×90×3000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 杉	本	6.00	3,200	19,200	150×50×4000県産材
		小計			1,114,540	
		消費税及び地方税相当額			111,454	
製材業者から購入		①合計			1,225,994	
消耗品費	木工用ボンド	個	1.00	558	558	税込
消耗品費	型枠塗装合板	枚	10.00	1,650	16,500	税込
消耗品費	木工用ボンド詰替	袋	1.00	858	858	税込
消耗品費	コースレッド半ネジ	箱	3.00	758	2,274	税込
		②合計			20,190	
消耗品費	森林環境教育用パネル設置看板丸太	本	2.00	18,500	37,000	3500×150県産材
消耗品費	森林環境教育用パネル設置看板丸太	本	2.00	10,700	21,400	1570×120県産材
消耗品費	森林環境教育用パネル設置看板垂木	本	4.00	210	840	920×45角県産材
消耗品費	森林環境教育用パネル設置看板垂木	本	2.00	550	1,100	1510×45角県産材
		消費税及び地方税相当額			6,034	
消耗品費	森林環境教育用パネル設置 (根巻用)	袋	1.00	790	869	25kg 税込
消耗品費	森林環境教育パネル設置用皿木ネジ	袋	1.00	168	168	ステンレス3.5×20 税込
消耗品費	森林環境教育パネル設置用ビスキャップ	袋	2.00	118	236	白色 税込
消耗品費	森林環境教育パネル設置用ボンド	箱	1.00	998	998	120m l 税込
消耗品費	森林環境教育パネル	枚	1.00	83,754	83,754	税込、全国林業技術普及協会から購入
		③合計			152,399	
		①+②+③合計			1,398,583	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備（森林公園やまびこ）
-----	-----------------------------

7の（1）．写真



写真1

交換前5月15日

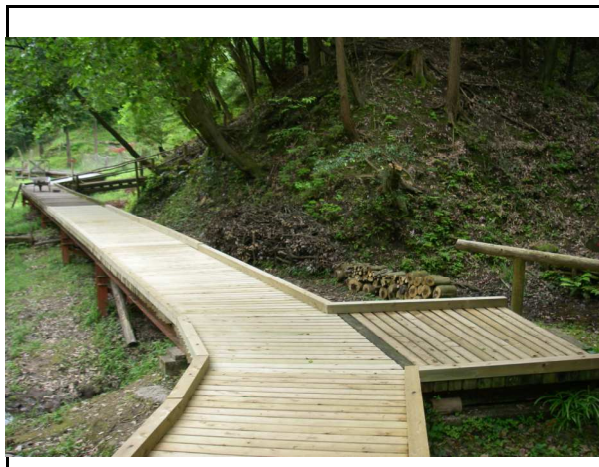


写真2

交換後（12m）5月15日～5月23日



写真3

交換前7月21日



写真4

交換後（約8m）7月21日

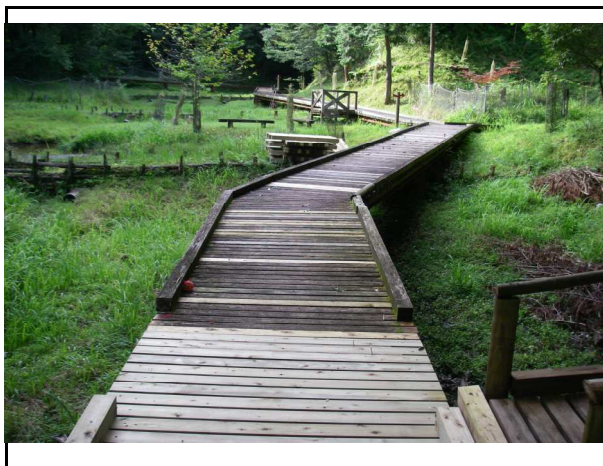


写真5

交換前7月22日

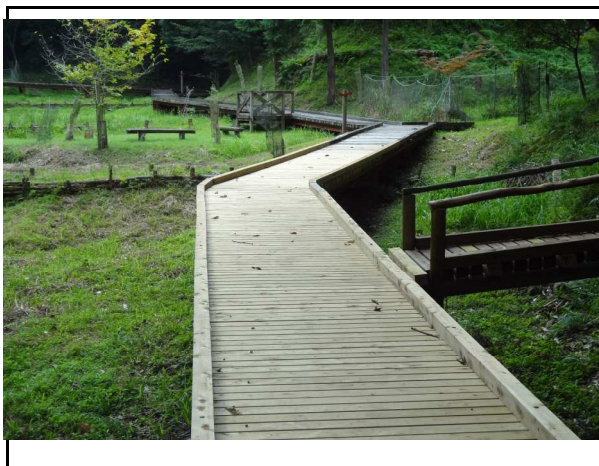


写真6

交換後（約12m）7月22日～23日

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備（森林公園やまびこ）
-----	-----------------------------

7の（1）．写真



写真1

遊歩道階段補修



写真2

遊歩道階段補修



写真3

交換前11月15日



写真4

交換後（14m）11月15日～17日



写真5

交換前令和4年3月19日

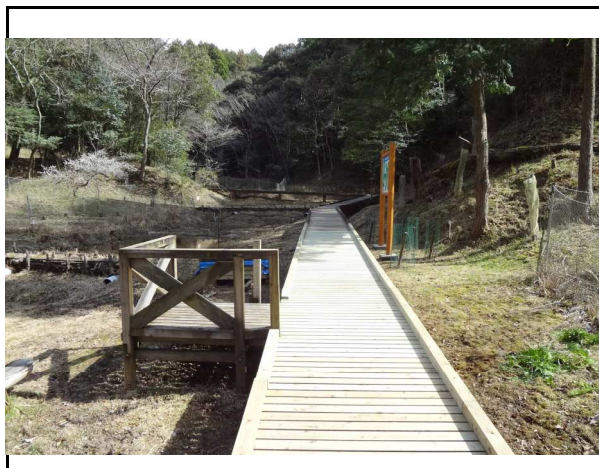


写真6

交換後（12m）令和4年3月19日～20日

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備（森林公園やまびこ）
-----	-----------------------------

7の(1). 写真



写真1

森林環境教育用パネル看板木材（塗装前）



写真2

森林環境教育用パネル看板木材（塗装後）



写真3

森林環境教育用パネル看板（組付け設置後）



写真4

森林環境教育用パネル看板（パネル取付け）



写真5

森林環境教育看板（完成）



写真6

森林環境教育看板（完成）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
6	森林環境教育と木育が行える場の整備事業（JR加太駅舎改修）				
事 業 費	1,049,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,000,000		49,400

1. 事業の目的

西日本旅客鉄道株式会社から無償譲渡を受けたJR加太駅舎について、木造駅舎を活用した地域活性化拠点として整備するにあたり、亀山市産材を使用した備品を導入することにより、木のぬくもりのある空間を醸成するとともに、来訪者や地域住民が、森林や木材に理解を深められるようにする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

地域活性化拠点として整備するJR加太駅舎において、亀山市産材を使用した備品（テーブル、椅子、ベンチ）を導入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

亀山市

【実施個所及び箇所数】

JR加太駅舎 1棟

【事業量】

テーブル 2台、椅子 10脚、ベンチ 1台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

木造駅舎内の木のぬくもりのある展示・休憩スペースに亀山市産材を使用した備品（机等）を導入したことにより、施設利用者に木材にふれあう場を提供することで森林や木材について学び、森林への理解が深まる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

オープニングイベントで亀山市産材を使用した備品であることを伝え、備品にロゴマークにて税を活用していることを明示。

【新たな対策・視点及び改善点】

木造駅舎内に亀山市産材の備品を導入することで、施設全体を木材に触れ合える場とし、相乗的に利用者が森林への理解を深められる効果を期待している。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
6	森林環境教育と木育が行える場の整備事業（JR加太駅舎改修）				
事 業 費	1,049,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,000,000		49,400

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		亀山木材産業協同組合
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
亀山市産材の取り扱い実績のある亀山木材産業協同組合に備品の作製を依頼。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	施設利用者 100人/日			
期待する波及効果	施設利用者に木材にふれあう場を提供することで森林や木材について学び、森林への理解が深まる。また、利用者の家族への波及効果も期待する。			
【公的関与の必要性】				
公共施設の整備のため公的関与必要				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
市による管理であり、転用及び目的外使用は想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中・後	備品に県民税ロゴを焼印		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市
事業名	森林環境教育と木育が行える場の整備事業（JR加太駅舎改修）		

4. 効率性：主な経費内訳

（木製備品導入）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
JR加太駅舎	テーブル	台	2.00	120,000	240,000	
JR加太駅舎	椅子	脚	10.00	65,000	650,000	
JR加太駅舎	ベンチ	台	1.00	64,000	64,000	
		小計			954,000	
		消費税及び地方税相当額			95,400	10%
		合計			1,049,400	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育と木育が行える場の整備事業（JR加太駅舎改修）
-----	-------------------------------

7の（1）．写真



写真1

JR加太駅舎 旧外観



写真2

JR加太駅舎 外観完成



写真3

JR加太駅舎 旧事務室

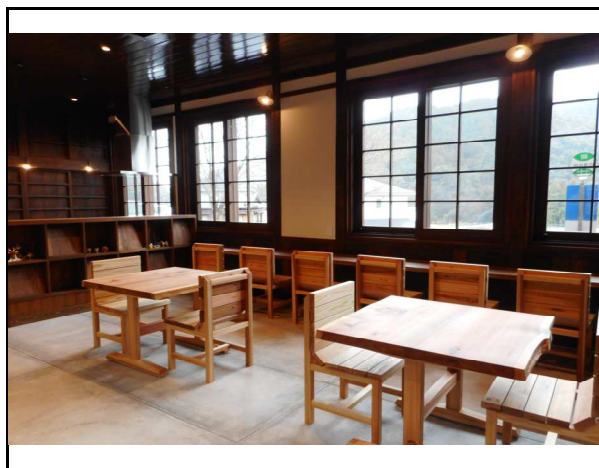


写真4

JR加太駅舎 旧事務室備品導入後

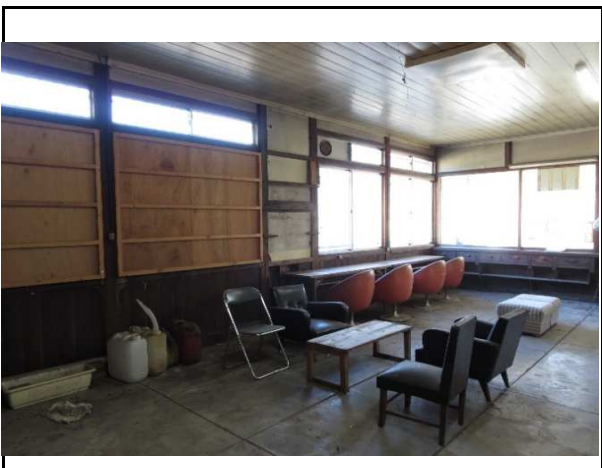


写真5

JR加太駅舎 旧事務室



写真6

JR加太駅舎 旧事務室備品導入後

いなべ市

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

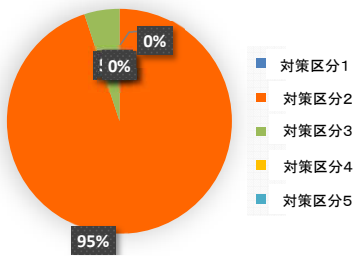
市町名	いなべ市	三重県
人口（人）	44,763	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.3%	12.4%
森林面積(ha)	12,808.21	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	11,738.79	348,833.49
森林率(%)	58.3%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8.1	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	3	中学校卒業記念品配布事業	917,950	917,950			917,950		
2	2	危険木の除去事業	5,283,850	5,283,850		5,283,850			
3	2	危険木の除去事業（主要道路）	20,396,200	11,336,270		11,336,270			
4	3	森林環境教育支援事業	101,141	101,141			101,141		
5	2	鳥獣害につよい森林整備事業	2,592,700	2,592,700		2,592,700			
計			29,291,841	20,231,911	0	19,212,820	1,019,091	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	いなべ市は北部と西部を岐阜県と滋賀県に接し、東部と南部は桑名及び四日市圏域に接している。市域は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈をいだし、市のほぼ中央に流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれている。 緑豊かないなべ市でみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらい、森林・木材の意義、大切さを再認識してもらう。また豊富な森林資源を活用し、自然と調和した環境づくりを目指し、整備が進んでいない森林を整備することにより、安心・安全な暮らしを確保する。
事業実施により期待される効果	間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことができ、将来的に持続可能な素材を選べる人づくりに繋がること期待される。また、住民自らが危険木除去を行うことで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。
情報発信への取組	市HPにおいて、みえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真と共にわかりやすくPRしている。中学校卒業記念品配布事業では、生徒にメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。鳥獣害につよい森林整備事業では、施業箇所の道路沿いに県民税PR標識を設置し、不特定多数の道路利用者に「災害に強い森林づくり」を行っていることを伝えている。また、コミュニティFMによりみえ森と緑の県民税を活用したいいなべ市での取組の紹介を行った。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和3年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	6,606	6,606
2	⑰ 基金積立（森林整備等）	8,982	8,982
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	15,588	15,588

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	中学校卒業記念品配布事業				
事 業 費	917,950 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			917,950	0	0

1. 事業の目的

県民税の基本方針である『県民全体で森林を支える社会づくり』のなかの『森を育む人づくり』の一環として、いなべ市産材を利用して木製箸の製作配布を行う。

中学校の卒業記念として、箸という肌で触れるもので『木の良さ』を子どもたちに知ってもらい、木を使うことの意義を知る人づくりを行うことを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

原木調達・加工作業は、【認定林業事業体（佐藤林業）】に委託する。箸製作は【いなべ自然楽校】に委託する。箸入れ袋製作・製品梱包作業は、【いなべ市障害者活動支援センター】に委託する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

いなべ市

【実施個所及び箇所数】

市内中学校4校

【事業量】

箸500膳・箸袋500袋

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

製品にはメッセージカードを添付し、県民税の目的といなべ市産材が使われていることを示すことで、木材の良さを感じたり利用意識を高めてもらい、将来的には持続可能な素材を選べる人づくりに繋がることが期待される。また、その製作には、市内の活動団体であるいなべ自然楽校やいなべ市障害者活動支援センターが行っている旨を伝え、箸を大切に利用してもらい、市内の自然と地元愛を育む人づくりへ繋げていく。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

市内唯一の認定林業事業体に原木の調達を委託することにより、山地に放置されている間伐材の有効利用を図ることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

原木調達・加工と箸製作業務が別発注のため、各受注者と合同で意見交換会を開催し、重複作業の解消や作業の効率化を図った。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
1	中学校卒業記念品配布事業				
事 業 費	917,950 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			917,950	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

原木調達・加工作業は市内唯一の林業事業体である佐藤林業に、箸製作はいなべ市内の地域資源を活用した取り組みを行っている市民団体のいなべ自然楽校に、箸袋製作は社会的貢献度を踏まえて障がい者施設に委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	市内中学校卒業生500名
期待する波及効果	保護者・学校関係者

【公的関与の必要性】

卒業記念品を配布することにより、生徒が三重の木に触れる機会をつくり、木材利用の意義を理解し、森林の大切さを伝える森林環境教育活動であり、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	HPを活用し、周知する。
チラシ等配布	実施後	メッセージカードの配布を行った。
その他	実施中	コミュニティFMにおいて事業内容の周知を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市
事業名	中学校卒業記念品配布事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
原木調達	いなべ市産材	式	1.00	144,000	144,000	佐藤林業
製材・フ レナー加工	いなべ市産材	式	1.00	168,000	168,000	佐藤林業
箸製作・加工		組	500.00	500	250,000	いなべ自然楽校
箸袋製作・袋詰め		袋	500.00	545	272,500	いなべ市障害者活動支援センター
		小計			834,500	
		消費税及び地方税相当額			83,450	10%
		合計			917,950	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校卒業記念品配布事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

原木調達



写真2

製材・プレーナー加工



写真3

箸製作加工



写真4

箸袋製作・袋詰め（完成品）



写真5

受取時の様子



写真6

受取時の様子

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	危険木の除去事業				
事 業 費	5,283,850 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,283,850	0	0

1. 事業の目的

自治会単位で取り組むことにより、通学路や人家裏等きめ細かな森林整備を行う。
自治会による身近な森林の整備により、安全・安心な暮らしを確保し、森林整備に対する意欲の向上を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

意欲ある自治会等に対し、危険木の除去について支援する。特殊機材については市内業者から借り入れてもらい、補助の対象とする。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

自治会等

【実施箇所及び箇所数】

いなべ市内68箇所

【事業量】

1,946本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

危険要因を早期に除去でき、安心して過ごせる環境を作り出す事ができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

危険木の除去を行うことで、残った木が健全に生育し、次の危険木を生み出しにくくするという説明を申請時に行う。

【新たな対策・視点及び改善点】

現在、道路沿いの支障木については道路管理者への相談が多い。道路管理担当課と合同で、県民税を活用した危険木除去事業の案内を行い、県民税事業の周知・取組の拡大を行った。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	危険木の除去事業				
事 業 費	5,283,850 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,283,850	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	10/10以内		リース代に限る

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

自治会要望等による。

自治会要望等から事業目的に適合した活動に対し補助。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	いなべ市住民約27,000人
期待する波及効果	受益者の関係者への波及効果が期待できる

【公的関与の必要性】

道路支障木の他、住民生活の支障となる木・竹の伐採における費用の負担が難しく、放置されている現状の中、幅広く危険木を除去し、周辺住民の生活の安全を確保するものであり、公的関与の必要性がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。
チラシ等配布	実施中	自治会長にチラシを配布し、県民税を活用した事業であることを周知した。
その他	実施中	コミュニティFMにおいて事業内容の周知を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市
------	-----------------	-----	------

事業名	危険木の除去事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	15本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	15本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	15本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	高所作業車	式	1.00	30,000	30,000	50本
機械リース	高所作業車	式	1.00	29,000	29,000	25本
機械リース	高所作業車	式	1.00	27,000	27,000	1本
機械リース	高所作業車	式	1.00	30,000	30,000	60本
機械リース	高所作業車/3 t ダンプ/枝葉粉碎機	式	1.00	255,000	255,000	18本
機械リース	高所作業車/0.45BH/0.45フォーク/3 t ダンプ/重回送車/粉砕機	式	1.00	384,300	384,300	16本
機械リース	高所作業車/0.45BH/0.45フォーク/3 t ダンプ/重回送車/粉砕機	式	1.00	424,300	424,300	30本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	2 t ユニック	式	1.00	44,400	44,400	10本
機械リース	枝葉粉碎機/アルミブリッジ	式	1.00	248,150	248,150	400本
機械リース	高所作業車/0.25BH/0.25フォーク/3 t ダンプ/重回送車	式	1.00	47,200	47,200	5本
機械リース	高所作業車/0.25BH/0.25フォーク/3 t ダンプ/重回送車/鉄板	式	1.00	308,000	308,000	15本
機械リース	高所作業車/0.25BH/0.25フォーク/3 t ダンプ/重回送車/枝葉粉碎機	式	1.00	332,100	332,100	23本
機械リース	林業用バックホウ/大型車両リース	式	1.00	121,400	121,400	36本
機械リース	0.1バックホウ/フォーク/0.1チェーンソー	式	1.00	44,850	44,850	50本
機械リース	枝葉粉碎機/高所作業車	式	1.00	165,500	165,500	3本
機械リース	高所作業車	式	1.00	47,200	47,200	1本
		小計			4,803,500	1,946本
		消費税及び地方税相当額			480,350	10%
		合計			5,283,850	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木の除去事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

除去前



写真2

除去後



写真3

除去前



写真4

除去後



写真5

除去前



写真6

除去後

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	危険木の除去事業（主要道路）				
事 業 費	20,396,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,003,359	9,332,911	9,059,930

1. 事業の目的

交通量の多い幹線道路及び自治会要望による集落内の主要道路沿いの樹木枝葉が道路に覆いかぶさっており、通行に支障を及ぼしているため、伐採し除去することにより市民の安心・安全に寄与する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

幹線市道や集落内の主要道路沿いの現に通行の支障となっている危険木について、放置すると道路を管理する上で著しく支障があると判断され、自治会等では実施することが困難である路線沿いの危険木について伐採作業を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

いなべ市

【実施個所及び箇所数】

市内4地区

【事業量】

危険木伐採4,977m

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

通常の維持管理では対応できない私有地の危険木の維持管理を行う。危険要因を除去することにより安全に通行できる道路管理状態を維持する事ができ、危険木を要因とする交通事故等の減少が期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

道路管理者により費用対効果の高い場所の選定を行っている。

【新たな対策・視点及び改善点】

主要道路は交通量が多く情報発信の効果が高いため、県民税を活用した事業であることを最大限周知できるように関係部署と協議を行った。要望が多いため、道路管理での優先順位を決めて対応を行っている。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
3	危険木の除去事業（主要道路）				
事 業 費	20,396,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,003,359	9,332,911	9,059,930

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

交通量の多い主要道路での作業となるため、道路工事に長けた建設業者へ一般競争入札により委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	200台/日
期待する波及効果	市内だけでなく市外の道路利用者へも効果がある

【公的関与の必要性】

道路支障木の他、住民生活の支障となる木・竹の伐採における費用の負担が難しく、放置されている現状の中、幅広く危険木を除去し、周辺住民の生活の安全を確保するものであり、公的関与の必要性がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。
その他	実施前	コミュニティFMにおいて事業内容の周知を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市
事業名	危険木の除去事業（主要道路）		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
北勢地区市道樹木枝伐採業務		式	1.00	2,340,000	2,340,000	603m
員弁地区市道樹木枝伐採業務		式	1.00	4,258,000	4,258,000	1,255m
大安地区市道樹木枝伐採業務		式	1.00	5,450,000	5,450,000	719m
藤原地区市道樹木枝伐採業務		式	1.00	6,494,000	6,494,000	2,400m
		小計			18,542,000	4,977m
		消費税及び地方税相当額			1,854,200	10%
		合計			20,396,200	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木の除去事業(主要道路)
-----	----------------

7の(1).写真



写真1

除去前



写真2

除去後

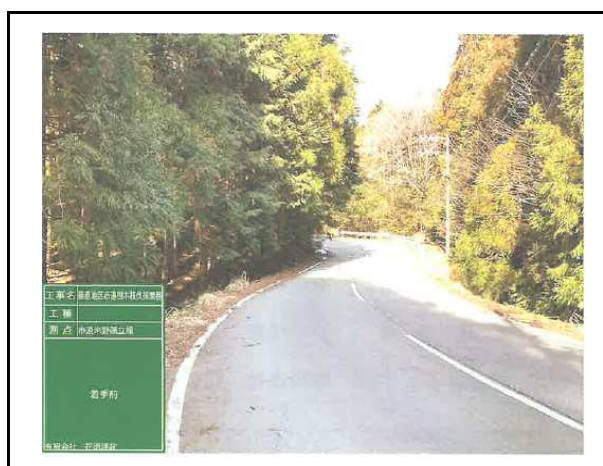


写真3

除去前



写真4

除去後



写真5

作業中



写真6

作業中

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	森林環境教育支援事業				
事 業 費	101,141 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			101,141	0	0

1. 事業の目的

森林への意識が全国的に低下している中で、森林への意識を少しでも高めるべく、小学生を対象とした森林環境教育を行う。森林・木材に対して理解を深め、自然の良さ・生命や自然を大切にする心を育む人づくりを行うことを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市内小学校において地域の森林・林業関係者を講師に招き、森林の機能や大切さ、生活で使われる木材について学び、自然や地域の魅力を伝える森林環境教育を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

直営

【実施個所及び箇所数】

阿下喜小学校1年生28人、2年生27人、4年生22人、5年生22人、6年生27人

【事業量】

1カリキュラム

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

次代を担う子どもたちが、地域の林業者等から直接話を聞くことで、森林・林業に関する知識を深めるとともに、地域の自然、人、モノの魅力を伝える人づくりをする。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

講義だけでなく実際に森林・木材と触れ合う機会を作る。

【新たな対策・視点及び改善点】

地元の森林と他の地域の森林を比較し、自然の魅力を伝える人づくりについて協議し、安全に見学できる場所での視察について検討した。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	森林環境教育支援事業				
事 業 費	101,141 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			101,141	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
直営	個人	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
市内において既に森林環境教育に関する実績がある関係者。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	小学生生徒延べ100人程度			
期待する波及効果	保護者・学校関係者			
【公的関与の必要性】				
学校教育であり、公的関与は不可欠である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。		
学校だより等掲載	実施後	学校だより等により、県民税を活用した事業であることを周知する。		
その他	実施中	コミュニティFMにおいて事業内容の周知を行った。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市
事業名	森林環境教育支援事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
報償費	講師（1名）	時間	9.00	3,000	27,000	里山学習
報償費	講師（1名）	時間	2.00	3,000	6,000	間伐材工作
消耗品費	プランター用木材等	式	1.00	38,182	38,182	間伐材プランター
消耗品費	里山学習消耗品	式	1.00	23,766	23,766	
		小計			94,948	
		消費税及び地方税相当額			6,193	10%（報償費を除く）
		合計			101,141	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	森林環境教育支援事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

里山学習



写真2

里山学習



写真3

間伐材工作



写真4

間伐材工作



写真5

間伐材工作



写真6

写真6

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育支援事業				

7の(2). その他資料

阿下番小学校
2021年6月18日(金)
No.11

避世感
学校教育目標
～自分の力で願いをかなえる子の育成～

☆里山学習☆

阿下番に在住の出口省吾先生(ドンチキ先生)をゲストティーチャーとしてお招きし、「里山学習」がスタートしました。6月14日から始まり、7月6日までの月曜火曜とお世話になります。

里山学習をするためとしては、「放課(ふるさと)であるいなべ市(阿下番)を愛する心」を育てることや、「昔と今の里山の状況を知ること、里山を守っていくために自分たちにできることは何か」を考えていくことです。そして、この先もずっと阿下番で豊かに過ごしていくためには何をしなければいけないのかというSDGsにもつながっていきたいと考えています。



11: 住み続けられるまちづくりを



12: つくる責任つかう責任



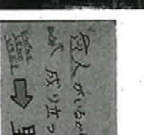
15: 陸の豊かさも守ろう

SDGsの観点で考えると、このあたりをねらっています。

今回は、第1・2回の里山学習でした。

第1回では、「里山とは何か?」についてドンチキ先生に教えていただきました。桃太郎のはじまりの「おじいさんは、山へしばかりに、おばあさんは、川へ洗濯に行きました。」の様子を、里山だということを教えていただきました。つまり、里山を利用して、人は今まで生きてきたということです。しかし、時代が移り変わり里山が減っていったことも教えていただきました。燃料として使っていた「しば」は、現在では「ガスや電氣」となり「しば」を使う人がほとんどいなくなりました。私たちの生活が便利で豊かになっていくことはいいですが、その影響が様々な自然環境の変化となって表れているのが「今」の世の中なのだとドンチキ先生の話を聞いて感じました。サルがよく学校に来るのも、里山の減少が影響していることも少し教えてもらいました。



ドンチキ先生の話を聞く6年生は、里山について非常に興味をもって話を聞くことができていました。はじめは里山について知らなかった子も、だんだん知ることができました。

翔馬さん: 日本は、そんなにめづまれた国で里山は人がいて成り立つ自然という意味で、すごく興味深いと思いました。

→翔馬さんは、自分ができることとして、友達と結(ゆい)みたいなことをできるように頑張りたいです。ということも書いてくれました。(結とは、昔は、ご近所同士で助け合うことで成り立っていた。例えば、しょうゆがなかったら隣の家の人に借りるなど、助け合う共同体のことを「結」と呼ぶそうです。)

坪綱里央さん: 里山は、とてもたくさん良いことがあるので、一度行ってみたい体験してみたいと思った。

第2回里山学習では、教室で少し授業をしていただいた後に阿下番小の周りの森を案内していただきました。かぶれやすい木について解説をいただいたり、アカマツの育ちやすい環境について教えていただいたりしました。また、クサギとクスノキの葉っぱのにおいをかいてみるなどして自然と触れ合うことができました。







ドンチキ先生に楽しく案内をしていただきました。アカマツやシラカシという植物は、先駆(せんく)植物と呼ばれることやウルシ系の植物はかぶれやすいから近づかないようにということなどたくさん教えていただきました。いろんな植物がたくさん生活に生かされていることを学ぶことができました。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育支援事業				

7の(2). その他資料

阿下番小学校
2021年6月25日(金)
No.12

学校教育目標
～自今のかで願いをかなえる子の育成～

☆里山学習☆

今週は、第3回と第4回の里山学習でした。

第3回では、「被害が増えた理由」についてドンチキ先生と一緒に考えました。まずは、最近見かけた野生動物は？という問いかけに「サル」と「シカ」や「イノシシ」といった野生動物は、最近阿下番小でよく見かけます。しかし、「サル」や「シカ」や「イノシシ」といった野生動物は、昔は見かけなかったと教えていただきました。サルを見たら、写真に撮るほど珍しかったというほどだそうです。

次に、「なぜ野生動物が人里へくるようになったのか」ということを考えていきました。人が里山を利用していたころは、里山へおりにていなかったそうです。なぜなら野生動物は人間を怖がるからです。しかし、少しずつ里山を利用しなくなり、人々は都会へ移り住むようになったため、野生動物が人里へおりにてくるようになったそうです。↓イメージ図↓



他にも野生動物が人里へおりにてくるには理由がありますが、大きな理由としては、人が里山を利用しなくなったことが挙げられます。だから、被害が発生しているということを学ぶことができませんでした。

第4回では、「松の木が減った理由」について考えました。松が元気に育つ条件として「日当たり」「やせ地」が挙げられます。しかし、人々が里山を利用しなくなり、落ち葉がたまり、木々は生い茂った結果、日も当たらず、松の木が他の植物に栄養をとられて松がだんだん枯れていったということです。

日本の木と言えば、「松」といって昔はたくさん生えていたそうです。歴史上に出てくる絵にはたくさん松の木が描かれています。(東海道五十三次など)

松が減ったことで、なんと「ツツク」も減っていったそうです。松や松の減少など里山を利用しなくなることで、悪影響がなくなっていることを学びました。

☆ふるさと応援隊の授業☆

21日(月)に、JALの客室乗務員の方々に来ていただき、飛行機が離陸→飛行→着陸するまでにどんな仕事をしているのかについてたくさん教えていただきました。

普段聞かない「客室乗務員」という仕事内容を聞いて、新鮮さを感じることができました。とても華やかな仕事だと感じました。しかし、厳しい訓練をしているという話も聞くことができて、華やかさのかけにはたらくさんの努力があることも感じることができました。話し方もとてもきれいでした。6年生の子たちにとっては、職業を選択するというポイントから見ても非常に貴重な時間だったと感じます。ぜひ、将来の夢の候補に入れてみてはいかがでしょうか？



☆租税教室☆

先週の17日に租税教室がありました。税理士の方に来ていただき、税金の必要性について授業をしていただきました。税金は、社会の公費であることを学ぶことができた。もし、税金がなくなってしまうと、道路は有料、ゴミは放置されたまま、救急車や消防車には多額の費用がかかる...と今まで当たり前と思っていたことが税金がなくなることによって当たり前でなくなることを学びました。

また、税理士さんから6年生へのメッセージとして心に残ったのが、『勉強をしておくことで、あつとき勉強頑張ればよかった』と後悔した人はたくさん聞いたことがあるけれど、『勉強しすぎて損した』と言っている人は聞いたことがない。だから、今勉強をたくさん頑張ってください。』とエールをもらいました。

「面白い」と「面白い」の話もとても興味深い内容でした。また、お子さんから聞いてください。



☆卒業アルバム写真撮影について☆

卒業アルバムに載る個人写真やクラス写真などを、6月28日(月)に撮ります。4、5限目くらいから来ていただき撮影を始めます。ずっと残っていくものになる可能性の高い卒業アルバムです。身だしなみのチェックをしっかりとしておきましょう。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育支援事業				

7の(2). その他資料

阿下重小学校
2021年7月22日(金)
No.13

森林環境教育
～自分の力で願いをかなえる子の育成～
☆第5・6回 里山学習☆

里山学習も折り返しです。里山について詳しくなってきたのではないのでしょうか？興味をもって取り組める子が多くなってほしいです。積極的に学ぼうとする姿は、本当にすごいです。

第5回の里山学習では、「生物の種類が減っている原因」について考えてきました。まずは、「秋の七草」について話をしていただきました。すべて言えますか？覚え方も教えてもらいましたね。

秋の七草：「オミナエシ・ススキ・キキョウ・サデシコ・ラジカサ・クズ・ハギ」です。覚え方は、それぞれの頭文字をとって、「おすきなふくは」または、「ハスキーなおふく(ち)」だそうです。ぜひ、おうちの人にもクイズを出してみてください。

今回は、その秋の七草の中にも絶滅しそうな(野生ではほとんど見られない)植物があることを教えてもらい、それをきっかけに「生物の種類が減っている原因」について考えました。

現在、1年間で4万種類の生物が絶滅しているそうです。13分に1種類のスピードです。なぜ、これだけのペースで生物の種類が減っているのか、その原因を以下のように考えました。

生物の種類が減っている原因

人の邪魔な生物を殺していったから。
除草剤や農薬をまいて枯らしてしまった。
人が里山を管理しなくなったから。
地球温暖化が進んでいるから。
水が汚れたり、空気が汚れたりしたから。
森林が減ったから。
外来種がやってきたから。

生物の種類が減っている原因

人の邪魔な生物を殺していったから。
除草剤や農薬をまいて枯らしてしまった。
人が里山を管理しなくなったから。
地球温暖化が進んでいるから。
水が汚れたり、空気が汚れたりしたから。
森林が減ったから。
外来種がやってきたから。

原因をもう少しよく考えていくと、人間が原因の項目が多いように感じます。生物の絶滅を防ぐために私たちにできることはないでしょうか。ごみの分別をするとか、里山を利用するとか、どんな小さなことでも生物の絶滅を食い止めるんだという意識をもって行動に移していくことが大切なのではないかと思います。

里山学習では、私たちの生活そのものを見直すよききっかけを与えてくれるように感じます。

第6回では、自然災害が増えている理由について考えていきました。



今まで学習してきたことを生かして、自然災害の増加について考えました。森を整備しないと、土砂災害が増えることや日光が当たらないと山はどんどん弱っていくなどいろいろな考えました。また、人間のせいで雨の量が増えていることも教えていただきました。その代表例が地球温暖化です。海水温が上がり、蒸発し雲となり雨がたくさん増えてきたということも知りました。雨が多くなれば、土砂くずれも増えてきます。

このようにみると、自然災害を引き起こしているのは人間であるという捉えもできるかもしれません。

ドンチキ先生の里山学習は、本当に気づきの多い授業ばかりです。6年生は、ドンチキ先生の話を読み聞かしています。そして、本気で考えています。そのやる気がドンチキ先生にも伝わり、なんと資料を貸していただきました。特別です。ぜひ、読んで知識をたくわえていきましょう。

来週で里山学習が最後になりますが、いつも通り本気で考えていきたいと思います。



「自由」と聞くと、「何をしてもいいんだ」とかんちがいをする人がいます。けれど、それは「(自分)勝手」といいます。「勝手」をする人は、「自分さえよければそれでいい」という考えを持っていると考えられます。これでは相手に迷惑をかけてでも「勝手」を通してしまいます。では、「自由」って何なのだろう？「自由に4人グループを作ってください」と言われたときにあなたならどんな4人を組むのでしょうか？(自分のことしか考えず)好きなものどうし？誰でもOK？「自由」と言われたらどうやって組むのだろう？

私の考える「自由」は、「自分のしていることに責任が持てるかどうか」だと思っています。さらに、「相手や周りの子に迷惑をかけていないか」ということも大切だと思います。

自分のしていることは「自由だ」と思っているつもりからすると「自分勝手だな」と思われていることもあるかもしれません。一度、自分自身でもふり返ってみてくださいね。

最近、かんちがいしている人もいます。それは？？？と思います。ここに書きました。

1学期も残りわずかです。気を引きしめ直さなければいけませんね。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
5	鳥獣害につよい森林整備事業				
事 業 費	2,592,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,592,700	0	0

1. 事業の目的

民家周辺の手入れ不足の森林において、アオサギ・猿等の野生鳥獣が繁殖を繰り返し、鳴声等により住民の生活環境が著しく悪化するなどの大きな影響が生じており、地域から緊急の対策実施の要望がある。生息している森林の整備を行うことで野生鳥獣の住処を分散させ、地域住民の安全・安心な暮らしを守ることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

地域住民から要望のあるアオサギ・猿等の鳥獣害被害箇所を中心に、地権者の了解の下森林整備（間伐）を行い鳥獣害被害を予防する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

いなべ市

【実施箇所及び箇所数】

1箇所

【事業量】

3.1ha

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林整備（間伐）を行うことにより、鳥獣害被害を減らし、住民の生活環境の改善が見込まれる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林整備と鳥獣害被害の減少について効果的に作業できるように、間伐箇所の選定等希望者と現場立会いを行った。

【新たな対策・視点及び改善点】

森林整備と鳥獣害被害について、同時に対策を行うことができる。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
5	鳥獣害につよい森林整備事業				
事 業 費	2,592,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,592,700	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
三重県農林水産部による令和3年度森林整備・森林調査入札参加者格付け登録（治山事業等における森林整備用）に登録されている者から指名競争入札により委託先を決定した。				
【主な経費内訳】				
（別紙のとおり）				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	藤原町坂本地区人口 400人			
期待する波及効果	坂本地区住民の関係者への波及効果も期待できる			
【公的関与の必要性】				
局所的な対策ではなく森林一体として整備したほうが効果的である。一体として整備するには公的関与が必要。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
森林整備後、5年間は森林を森林以外のものとする転用を行わないこととしている。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。		
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業である工事看板を設置した。		
のぼり設置	実施中	工事中に県民税ののぼりを設置した。		
標識・標柱等設置	実施中	みえ森と緑の県民税PR標柱を設置した。		
その他	実施前	コミュニティFMにおいて事業内容の周知を行った。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市
事業名	鳥獣害につよい森林整備事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
森林整備	本数調整伐	式	1.00	2,357,000	2,357,000	3.1ha
		小計			2,357,000	
		消費税及び地方税相当額			235,700	10%
		合計			2,592,700	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	新規
------	----------------	-----	------	---------	----

事業名	鳥獣害につよい森林整備事業
-----	---------------

7の(1).写真



写真1

工事看板



写真2

選木状況



写真3

伐採状況



写真4

県民税PR標識

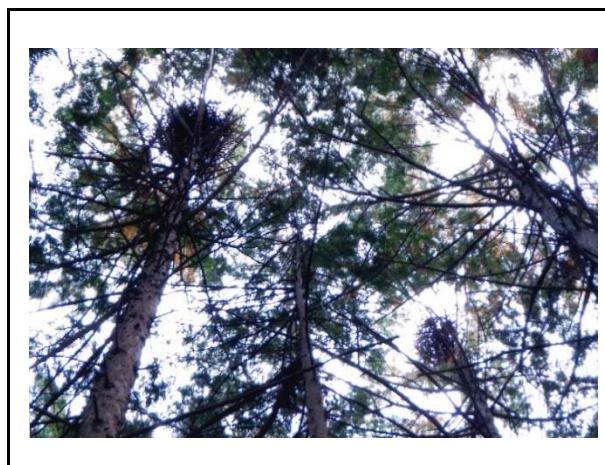


写真5

作業前樹間（アオサギ巢）



写真6

作業後樹間（アオサギ巢）

木曾岬町

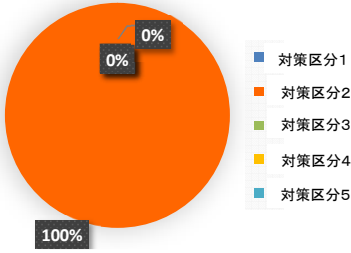
令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

市町名	木曽岬町	三重県
人口（人）	6,151	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	9.7%	12.4%
森林面積(ha)	0	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	0	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.0	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	暮らしを守る緑保全事業	14,485,317	14,116,311		14,116,311			
計			14,485,317	14,116,311	0	14,116,311	0	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
木曽川の河口部に位置する当町は森林率が0%と、日常生活の中で森林にふれあう機会がなく町内の鍋田川線桜並木は、重要な観光資源であると同時に地域住民が緑にふれあい自然環境の大切さを知る貴重な場となっております。これらを踏まえ、鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの被害から守るため、防除業務や被害木の伐採を行って被害防止対策を実施しました。また、今年の森林環境教育は新型コロナウイルスの影響により中止となったため、WEB会議システムを活用した中学校同士の生徒同士の交流活動を実施し、お互いの行っている森林教育について伝え、意見交換を行った。
事業実施により期待される効果
鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの被害から守るため、全木を対象にした調査と台帳整備、樹幹注入を行いクビアカツヤカミキリの被害低減を行い、通行人への倒木等の危険防止により安全・安心につながるとともに、当町で唯一の森林に触れ合える場の保全を図りました。また、森林環境教育を実施し、木曽川の上流と下流の異なる自然環境とそれぞれの良さを学び、発信・交流する中で改めて地域の良さを感じ取り郷土への愛着を深める。また、木祖村の大自然を体験することで水の恵みを上流の森林から授かっていることを認識する機会を作る。（令和3年度は新型コロナウイルスの影響を勘案し、中止した。）
情報発信への取組
町広報誌への防除業務の内容と目的を掲載し、町民に対し県民税が安全や自然環境の保全に役立てられていることをPRしたほか、ポスター掲示や町HPでも同内容を紹介しより多くの人の目に留まるよう取り組んでいる。また、TVの行政チャンネルの中で防除業務の実施の様子や県民税が活用されていることをPRした。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和3年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑲ 基金積立（木材利用等）	497	497
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	497	497

【記載要領】

ア、事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備（財産区有林含む）
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他（森林整備）
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他（人材育成等）
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他（木材・普及啓発関係）
⑰ 基金積立（森林整備等）
⑱ 基金積立（人材育成等）
⑲ 基金積立（木材利用等）
⑳ 基金積立（執行残額等）

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	木曽岬町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
1	暮らしを守る緑保全事業				
事 業 費	14,485,317 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,349,000	8,767,311	369,006

1. 事業の目的

当町には鍋田川堤沿いに約4kmにわたり桜が植えられている「鍋田川堤桜並木」が存在する。町にとって大きな観光資源であると同時に、森林のない当町にとってはこの桜並木が唯一、多くの木や虫などの自然に触れられる貴重な環境である。

しかし、令和元年6月から当町にて生息が確認されたクビアカツヤカミキリの食害により当町の桜並木は危機を迎えており、早急に対策を講じなければ貴重な自然環境を失うだけでなく、桜並木沿いの道路の通行人に枯死した桜の枝や幹が倒れ掛かるなどの危険を及ぼすため、全木を対象とした害虫防除と被害木調査を行い森林の維持保全を行うことで安全・安心な住環境を確保する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

桜並木や人家周辺の危険木の伐倒や病虫害被害木の伐倒・駆除、被害防止・維持保全のための樹幹注入や被害や樹勢を調べる毎木調査、被害木への薬剤噴霧を令和3年度4月上旬から実施する。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

木曽岬町

【実施箇所及び箇所数】

鍋田川堤沿いの桜並木全木

町内公共施設の桜

【事業量】

樹幹注入：約1016本、毎木調査：1046本、薬剤噴霧：約60本×3回、被害木へのバイオリサ・ネット巻き：約60本、伐採：18本、桜並木の消毒：1046本×2回、巡視・見回り：7回

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

全木への樹幹注入により、被害木は幼虫の駆除、未被害木には予防効果を持たせることができおり、約70本ほど見つかった被害木も8割以上がフラスの排出が止まり効果が表れたことが確認され貴重な自然環境の保全と桜並木沿いの通路の危険防止につながった。

また、被害木の伐採とネット養生を行い倒木の防止や成虫の飛散防止対策を行ったほか、全木の台帳整備を行い次年度以降の業務量の計算やより効率的な防除業務、選定伐採につなげることが期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

基本的な被害調査や樹幹注入だけでなく、定期的な巡視を行うことで薬剤の効果検証や重点的に対策をとる必要がある地点の絞り込みができた。また、ネット巻きとバイオリサ巻きを組み合わせ樹幹注入では駆除できない成虫の飛散防止対策も行った。

【新たな対策・視点及び改善点】

昨年度の実績では、樹幹注入を行った木は約8割に効果が表れており、クビアカツヤカミキリの幼虫のフラスの排出が止まった。令和3年度では1回分の注入のみ予算として計上していたが、フラスの排出が継続する木に対応するため令和4年度では必要に応じて2回分の注入を行えるようにする。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	木曽岬町	新規・継続の別	新規
------	-----------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
1	暮らしを守る緑保全事業				
事 業 費	14,485,317 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,349,000	8,767,311	369,006

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

クビアカツヤカミキリによる食害を防止するため、被害防除の専門的知識を有する造園業者を選定

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	町道鍋田川線沿線住民及び道路利用者、町内公共施設利用者
期待する波及効果	利用者の家族や知人などへの波及効果が期待できる。

【公的関与の必要性】

いずれも公共施設の敷地内の桜が対象であり、町が管理者であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町の管理であり、変更はない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ポスター掲示	実施後	庁舎内で町民および来訪者へPRする
広報誌掲載	実施後	町広報誌にて町民向けにをPRする
HP掲載	実施後	町HPでPRする
TV（行政チャンネル等）	実施中	TV（行政チャンネル）で視聴者にPRする

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	木曽岬町
事業名	暮らしを守る緑保全事業		

4. 効率性：主な経費内訳

鍋田川堤等桜並木害虫駆除剤散布作業委託業務 (クビアカ分のみ)						
区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
作業委託	散布作業	本	80.00	25,850	2,068,000	散布作業2回分計上
		合計			2,068,000	税込み金額

鍋田川堤桜並木等害虫防除業務

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
毎木調査	簡易調査費 樹木医	人	22.00	40,000	880,000	
毎木調査	報告書作成費	式	1.00	120,000	120,000	
毎木調査	諸経費	式	1.00	200,000	200,000	
樹幹注入	薬剤費 ウッドスター	本	141.00	34,400	4,850,400	
樹幹注入	薬剤費 カットパスター-Hi	個	63.00	1,800	113,400	
樹幹注入	世話役	人	18.00	23,200	417,600	
樹幹注入	特殊作業員	人	18.00	22,700	408,600	
樹幹注入	普通作業員	人	18.00	19,600	352,800	
樹幹注入	機械損料など	式	1.00	17,200	17,200	
樹幹注入	諸経費	式	1.00	240,000	240,000	
巡視業務	調査 樹木医	人	16.00	40,000	640,000	
巡視業務	報告書作成費	式	1.00	80,000	80,000	
巡視業務	諸経費	式	1.00	100,000	100,000	
薬剤噴霧	施工費 普通作業員	人	8.00	19,600	156,800	
薬剤噴霧	諸経費	式	1.00	23,200	23,200	
		小計			8,600,000	
		消費税及び地方税相当額			860,000	10%
		合計			9,460,000	

ネット巻き、バイオリサ巻き

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
作業委託	シルバー委託料	人	4.00	29,568.5	118,274	
消耗品費	バイオリサ	箱	5.00	14,388	71,940	
消耗品費	ネット	枚	60.00	1,976	118,560	
消耗品費	ピンワッシャーセット	セット	100.00	417.98	41,798	
		合計			350,572	税込み金額

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	木曽岬町
事業名	暮らしを守る緑保全事業		

4. 効率性：主な経費内訳

鍋田川堤等桜並木害虫駆除剤散布作業委託業務の薬剤購入費（クビアカ分のみ）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品費	モスピラン顆粒水溶剤 500g他	個	80.00	5,372	429,768	
		小計			429,768	
		消費税及び地方税相当額			42,977	10%
		合計			472,745	

町道鍋田川線等剪定伐採業務（クビアカ分のみ）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
作業委託	剪定伐採作業	本	91.00	14,000	1,274,000	
作業委託	樹木伐採	本	18.00	18,000	324,000	
作業委託	樹木運搬工	t	25.07	19,625.05	492,000	
		合計			2,090,000	
PRポスター作製委託						
区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
作業委託	樹木医	人	1.00	40,000	40,000	
		小計			40,000	
		消費税及び地方税相当額			4,000	10%
		合計			44,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	木曽岬町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	暮らしを守る緑保全事業
-----	-------------

7の(1). 写真



写真1

鍋田川堤桜並木 毎木調査



写真2

鍋田川堤桜並木 樹幹注入



写真3

鍋田川堤桜並木 樹幹注入 防腐剤埋込



写真4

鍋田川堤桜並木 巡視噴霧



写真5

北部公民館 クビアカ被害木伐採前



写真6

北部公民館 クビアカ被害木伐採後

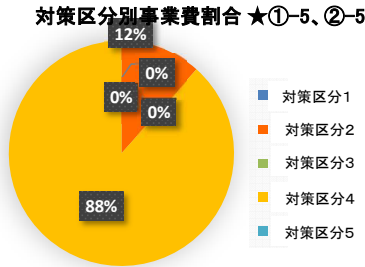
東員町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

市町名	市町名	三重県
人口（人）	25,957	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	13.2	12.4
森林面積(ha)	177.13	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	177.13	348,833.49
森林率(％)	8.0	64.0
都市公園面積（㎡/人口）＊3	15.7	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（危険木伐倒等業務）	1,327,700	1,309,000		1,309,000			
2	4	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（教育施設の備品等購入）	6,652,800	6,652,000				6,652,000	
3	4	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（公園施設の備品等購入）	3,316,500	3,316,000				3,316,000	
計			11,297,000	11,277,000	0	1,309,000	0	9,968,000	0

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町では、北部を中心に名古屋や四日市といった近郊都市部のベッドタウンとして開発が進み、現在森林率が8％程度と森林が少なく、また各地に分散している状況ですが、森林は地域住民の憩いの場として日常的に活用されてきました。 このため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備を進め、地域住民が安全に安心して地域の里山にふれ、森や木の大切さへの理解を深める取組を進めていきます。 また、教育施設及び公園施設において木質製品などを取り入れることにより、児童や地域住民が木に触れ合う機会を創出していきます。
事業実施により期待される効果	森林環境の保全及び地域住民の森林への意識の醸成が図られた。現地（民家裏等）での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。
情報発信への取組	工事看板に「みえ森と緑の県民税交付金事業」にて実施していることを表記。また、自治会での施工周知説明時に事業の概要についても説明。保育園、幼稚園の園だよりにおいて県民税を活用し導入したことを掲載。 その他、町のＨＰ・広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑲ 基金積立（木材利用等）	2,365	2,365
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	2,365	2,365

【記載要領】

ア、事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（危険木伐倒等業務）				
事 業 費	1,327,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,309,000		18,700

1. 事業の目的

住宅や通学路に近接する森林における危険木除去を行い、暮らしに身近な森林として整備することにより、生活環境の保全や暮らしの安全性の向上を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

人家裏や通学路沿いなど、これまで整備が進みにくく荒廃が進んでいる森林地帯を対象として、倒木になる恐れのある危険木の除去・間伐を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

東員町

【実施個所及び箇所数】

東員町笹尾・城山地区（近隣住民約4,300人）

【事業量】

危険木伐倒 27本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

みえ森と緑の県民税交付金を充当する事業を実施し荒廃が進んでいた緑地帯の再生が進むことにより、森林環境の保全及び地域住民の生活安全を守る。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

施工時に工事看板とともに「みえ森と緑の県民税交付金事業」を活用し事業を実施している旨のポスター看板を設置し、近隣住民に周知を図った。

【新たな対策・視点及び改善点】

本来は、森林所有者において整備するものであるということを意識づけていく必要がある。

また、地元説明会において、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し、事業を行うことを説明するとともに、森林整備の重要性を幅広く知ってもらう。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	東員町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（危険木伐倒等業務）				
事 業 費	1,327,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,309,000		18,700

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

町内業者による入札（一般競争）により、請負者を選定。

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	近隣住民約4,300人
期待する波及効果	森林環境の保全及び地域住民の生活安全の向上

【公的関与の必要性】

町所有の緑地帯であることから、町が実施することが妥当である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町において管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
回覧板・掲示板	実施前	住民への回覧や説明にパンフレット、チラシを活用
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税交付金事業にて実施していることを表記
HP掲載	実施後	施工の状況等をHPにて報告

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	東員町
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（危険木伐倒等業務）		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐倒	幹周40cm以上60cm未満	本	3.00	14,399	43,197	持出距離 10m以内
	幹周60cm以上90cm未満	本	6.00	25,668	154,005	持出距離 10m以内
	幹周90cm以上120cm未満	本	10.00	50,709	507,090	持出距離 10m以内
	幹周90cm以上120cm未満	本	1.00	92,027	92,027	持出距離 30m以上
	幹周120cm以上150cm未満	本	2.00	41,318	82,637	持出距離 10m以内
	幹周120cm以上150cm未満	本	1.00	115,191	115,191	持出距離 30m以上
	幹周150cm以上	本	4.00	53,213	212,853	持出距離 10m以内
		小 計			1,207,000	
		消費税			120,700	
		合計			1,327,700	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（危険木伐倒等業務）
-----	----------------------------

7の(1). 写真



写真1

地元説明会実施状況



写真2

工事看板及びPRポスター



写真3

施工前①



写真4

施工後①



写真5

施工前②



写真6

施工後②

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
2	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（教育施設の備品等購入）				
事 業 費	6,652,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,153,000	1,499,000	800

1. 事業の目的

町内の教育施設及び福祉施設において木質製品取り入れることにより、木に触れ合う機会を創出し、木材利用の意義について理解を深め、関心をもってもらう場をつくり、森林教育を進めていく。

2. 事業実績概要

【事業内容】

町内の教育施設（保育園、幼稚園）に県産材の木質製品を導入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

東員町

【実施個所及び箇所数】

保育園、幼稚園 全6施設

【事業量】

箱積木12セット（6園×2セット）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

園児が木に触れ合い木のぬくもりやにおいを体感し森林への関心を深めることにより、自然の恵みに対する価値観を広げ、木材利用や森づくりへの理解を深める場として活用する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

箱積木に「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し、園児及び先生に直接的に周知を図る。
また、園だよりに事業の内容を掲載することにより、保護者に対しても周知を図る。

【新たな対策・視点及び改善点】

継続して令和4年度は学校施設に木製備品を導入することで、町内において幼児期から学童期まで、一貫して木にふれあい、学べる場を創出する。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
2	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（教育施設の備品等購入）				
事 業 費	6,652,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,153,000	1,499,000	800

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
県産材木材を使用し、指定する木質製品を加工することのできる業者による入札（一般競争）により、請負者を選定。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	園児約930名			
期待する波及効果	園児が木のぬくもりやにおいを体感しながら学べる機会を創出する。			
【公的関与の必要性】				
町立の施設への備品導入であることから、町が実施することが妥当である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
保育園、幼稚園において管理を行う。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
学校だより等掲	実施後	保護者への園だよりにて県民税を利用し導入したことを周知		
HP掲載	実施後	設置状況、活用状況等をHPにて報告		
ロゴマーク掲示 (シル・プレート 等)	実施後	木質製品にみえ森と緑の県民税交付金事業のロゴマークを表記		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

4. 効率性：主な経費内訳

10-10

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（教育施設の備品等購入）
-----	------------------------------

7の（1）. 写真



写真1

箱積木（納入状況）



写真2

箱積木（納入状況）



写真3

箱積木（納入状況）

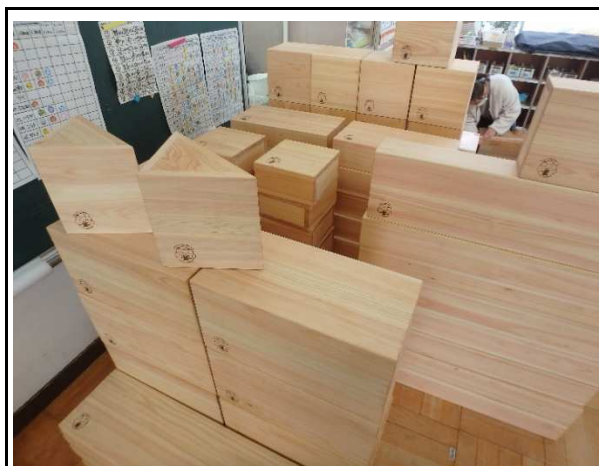


写真4

箱積木（納入状況）

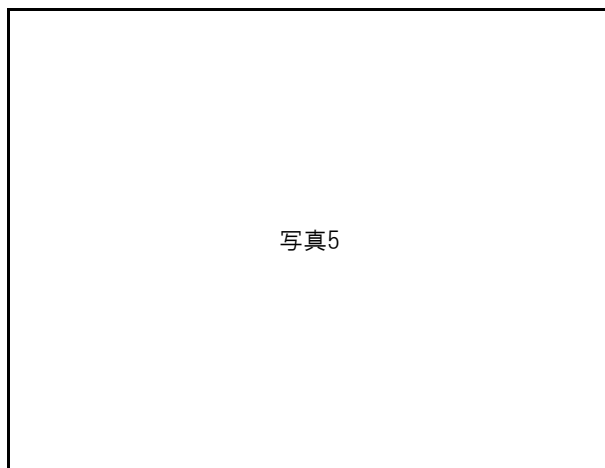


写真5

写真5



写真6

写真6

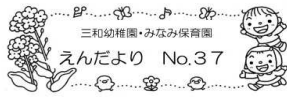
第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（教育施設の備品等購入）
-----	------------------------------

7の(2). その他資料

○三和幼稚園・みなみ保育園

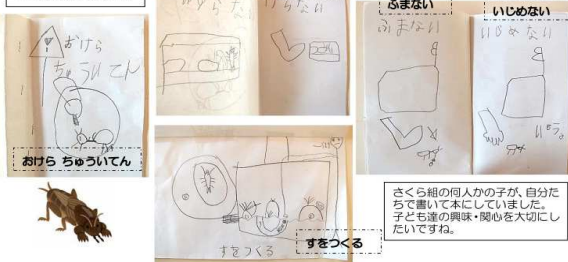


令和4年 3月 1日
あつという間に3月になりました。3月の声を聞く
と急に暖かくなったように感じます。
各クラス、散歩やお別れ会など楽しみな事もたくさん。
このクラスで過ごす最終の月でもあるので、たくさん
思い出作りをしてもらいたいと思います。

さくら組の新しい仲間？「オケラちゃん」

さくら組が見つけた「オケラ」。大切に大切に飼育されています。休みの日は園には誰もいないからかわいそう」という事で、誰かが家に持ち帰り月曜日にまた持ってきてくれます。日に日に飼育箱の中はオケラの環境が整い、何人かの子どもの図鑑やネットで調べた餌を持ってきてくれています。子ども達の小動物への興味・関心に耳を傾け、その気持ちに寄り添ってくださる保護者の方に感謝しています。持ち帰ってくださる保護者の方は「責任重大ですよ、命を絶やさないか緊張します」とさくら組の小さな仲間を受け入れていただいています。本当にありがとうございます。

子ども達のオケラ飼育日記



「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し、木製遊具が導入されました。

「あたらしい積み木ってツルツルしてる」

「いいにおい～」

三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年度から「みえ森と緑の県民税」を導入しました。市町交付事業では、税収の一部が県内各市町に交付され、地域の実情に応じて創意工夫し、森林づくりに取り組んでいます。東員町では、子ども達が木に親しみ、森や緑を大切に思う気持ちを育てるため、幼稚園保育園に木製遊具が導入されています。前回木製の総合遊具等、今回は積み木が導入されました。体力向上や協調性を育てるなど多様



な効果が発揮され、子どもたちの健やかな成長が期待されます。
さっそく、さくら組が乗り物や家を作り始めました。新しい積み木はツルツルしてるね」「お家のおいがするよ（木の匂い）」と五感も刺激を受けています。今まであった木製積み木と合わせ、みんなが工夫して作っていました。大切に使用させていただきます。



ふんぶんごま回せるよ

4歳児ゆり組はふんぶんごまに夢中です。きれいな色に塗られたふんぶんごま、回せるようになった子ども達は友だちと一緒に回したり、足で回したり、手で足で回したり…。いろんな回し方に挑戦しています。一人で手と足とでいくつも一度に回すことができる上級者もいます。ふんぶんごまは丸い形だけでなく、いろんな形でも回ることを知り、三角・四角・星型等の形も回しています。

ふんぶんごま回し大会したいね。そんな話も出ていました。



～絵本の紹介～



2歳が3歳になって、4歳になって…どんどん大きくなる子どもたちに向かって、私たち大人は言わずにはいられません。「おおきくなつたね」でも、子どもたちはどう感じているのかな。おおきくなるって、どういことなのかな。この絵本は、一緒に考えてくれます。「おおきくなるっていいことば…」洋服が小さくなるってこと。新しい歯が生えてくること。あんまり泣かないこと、高いところに登れること。それから、それから…。



幼稚園のアヤマちゃんは、ゆっくりにっこり小学校へおひっこし。新一年生に贈る本！主人公のアヤマちゃんと、少しクイズを楽しんでいると、いつのまにか、「大きくなること」「環境がかわること」へお話がかわっているのです。このお話の最後は、アヤマちゃんの卒園を匂わせるものとなっています。園を卒業し、小学校に入る子供は、嬉しい反面、不安も大きいことでしょう。そんな子供たちに、「大丈夫、大丈夫」と言ってくれるような絵本です。

○稲部幼稚園・いなべ保育園

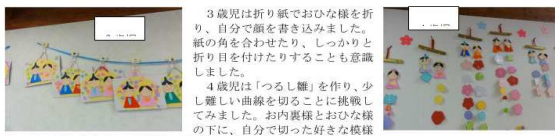
えんだよりNo.65

稲部幼稚園・いなべ保育園 令和4年3月4日



「ひな祭り」

桃の節句とも言われるひな祭りです。遊戯室に飾ったひな人形を、それぞれの年齢が入れかわりながら、何度も見に来ていました。ひな祭りの由来として、女の子の健やかな成長を願う意味がある事を、年齢に応じて絵本などを使い担任から話をしました。



3歳児は折り紙でおひな様を折り、自分で顔を書き込みました。紙の角を合わせたり、しっかりと折り目を付けたらすることも意識しました。
4歳児は「つるし雛」を作り、少し難しい曲線に挑戦してみました。お内裏様とおひな様の下に、自分で切った好きな模様をいくつも貼り付け、3歳児も4歳児も素敵な作品が仕上がりました。

5歳児は劇に使うお面作りや道具作りなどをしているため、おひな様は作りませんでしたが、遊戯室に入る機会が多いこともあり、ひな人形を一番よく見ていました。

～5歳児の保護者の皆様～

東員町では中学3年生まで、自分の夢をつづっていく「ぼくの夢・わたしの未来」というファイルがあります。本日そのファイルを持ち帰ります。その中のお子さんの「将来の夢の絵」を見ていただき、お家の方からのメッセージを記入し、3月10日までに園に戻してください。その後、小学校の方にそのファイルを届けさせていただきます。お忙しい中、無理を言いますがよろしくお願いいたします。

「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し木製遊具が導入されました

三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年度から「みえ森と緑の県民税」を導入しました。市町交付金事業では、税収の一部が県内各市町に交付され、地域の実情に応じて創意工夫し、森林づくりに取り組んでいます。東員町では、子どもたちが木に親しみ、森や緑を大切に思う気持ちを育てるため幼稚園保育園に木製遊具が導入されました。平成31年度の総合遊具に続き、今回は県産材のヒノキの積み木を導入していただきました。子どもたちと大切に使用して頂きたいと思います。



○神田幼稚園・東員保育園



令和4年3月2日
神田幼稚園・東員保育園

積み木遊び楽しい！！

写真に写っている積み木は、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し購入したものにります。

三重県では、平成26年4月から「みえ森と緑の県民税」を導入し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組んでいます。

早速、子ども達は、新しい木の香りに癒されながら、積み木でお家を作ってお家ごっこを楽しんでいます。



ひなまつり

年中さん・年少さんに可愛いお雛さんが飾られています。1つ1つにとっても味のある世界に一つだけの



先生 この積み木
いい匂いがするんだよ。

子ども達は、組み立てて遊ぶ事でアイディアを出し合って友だちと沢山遊んで
います。



私たちもひな人形が大好き
で、毎日見に来るんだよ

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（教育施設の備品等購入）
-----	------------------------------

7 の（2）. その他資料

○笹尾西幼稚園・笹尾第一保育園



園だより

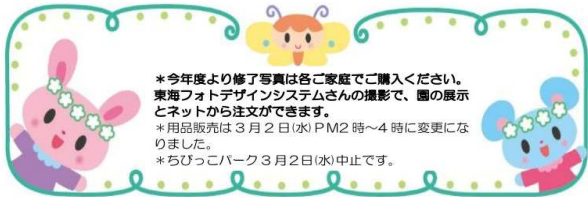
No.33 R4. 3. 1
笹尾西幼稚園・笹尾第一保育園

『みえ森と緑の県民税市町交付金』を活用し、中型箱積み木が購入されました。ヒノキの香りが漂い、木のぬくもりが感じられます。早速、4 歳児ゆり組の保育室に入れ設定しました。

三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成 26 年度から「みえ森と緑の県民税」を導入しました。市町交付金事業では、税収の一部が県内各市町に交付され、地域の実情に応じて創意工夫し、森林づくりに取り組んでいます。東員町では、子どもたちが木に親しみ、森や緑を大切に思う気持ちを育み、また中型箱積み木の遊びを通して友だちと関わり、ごっこ遊びなど子どもたちの健やかな成長が期待されます。今後、中型箱積み木でたくさん楽しみながら大切にに使わせていただきます。



上記の写真は 2 月 28 日（月）4 歳児ゆり組のお友達同士でごっこ遊びが展開されました。今まで以上の数の中型箱積み木を使って、子どもたちも大満足。充実した日々を過ごしています。



※今年度より修了写真は各ご家庭でご購入ください。
東海フォトデザインシステムさんの撮影で、園の展示とネットから注文ができます。
※用品販売は 3 月 2 日（水）PM2 時～4 時に変更になりました。
※ちびっこパーク 3 月 2 日（水）中止です。

○笹尾東幼稚園・笹尾第二保育園



『みえ森と緑の県民税市町交付金』を活用！ 遊戯室に設置してある大型遊具（滑り台）に続き、箱積み木を入れていただきました！！

三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成 26 年度から「みえ森と緑の県民税」を導入しました。市町交付金事業では、税収の一部が県内各市町に交付され、地域の実情に応じて創意工夫し、森林づくりに取り組んでいます。東員町では、子ども達が木に親しみ、森や緑を大切に思う気持ちを育むため幼稚園保育園に木製遊具が導入されています。遊戯室に設置してある大型遊具に続き今回は箱積み木をいただきました。さっそく 4 歳児のクラスで友達同士関わり合っ



♪あかりをつけましょ ぼんぼりに おはなを おげましょ もものはな〜♪

「ひな祭り」は女の子の成長を祝う行事で、桃の花が咲くころに行われるので「桃の節句」とも呼ばれています。お内裏様・おひな様・三人官女・五人囃子など遊戯室に飾られたひな壇を見ながら担任からいろいろな話を聞かせてもらっている子どもたちです。ひなあられ・ちらし寿司やはまぐりのお吸い物などをみんなで健康を願います。ひなあられには春夏秋冬の四季を表す色がついていて、1 年間健康に過ごせるようにという意味があります。おうちで食べるときじっくり観察してみるのもいいですね。
保育室にも子どもたちが手作した個性豊かなひな人形が飾られています。

○城山幼稚園・しろやま保育園

えんだより No.46
やまもも

城山幼稚園しろやま保育園

令和 4 年 2 月 28 日

今年度も、あと 1 か月余りとなりました。5 歳児が遊戯室で劇の取り組みをしていると、ちゅうりっぷ組やゆり組の子供達が、入口からのぞき込んで「いつ見せてもらえるかな」「早く一緒にやらないか」と、話をしています。大きい子にまねが、大きい子のすることに興味を示し、同じようにしてみたいという思いが子供たちにあふれています。

また、どの子も一つ大きくなることをとても楽しみにしているようです。2 歳児りす組さんの子供達は、「ちゅうりっぷ組さんにもうすぐなるんだもん」と、給食に出る苦手な野菜を頑張って食べようとしていたり、帰りの支度の時にずんずんタオルを畳んだり、みずからトイレでおしっこをしようとする姿も増えてきていますよ。

保護者の方も成長を日々感じてみえることと思いますが、この 1 年でどの子も自分でできることが増えてつきがたくましくなり、4 月の頃と比べると大きくなったのを感じ、職員一同嬉しく思っています。

「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し、木製遊具が導入されました

三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成 26 年度から「みえ森と緑の県民税」を導入しました。市町交付金事業では、税収の一部が県内各市町に交付され、地域の実情に応じて創意工夫し、森林づくりに取り組んでいます。東員町では、子どもたちが木に親しみ、森や緑を大切に思う気持ちを育むため、幼稚園保育園に、交付金を活用し中型箱積み木を購入していただきました。金曜日に遊戯室に納入された箱積み木を、今日、ゆり組の子供達が嬉しそうに部屋に運び入れてい



ました。積み木で家等を作りたいという声も聞こえてきました。今後、ヒノキの良い香りに包まれながら、作ったものでごっこ遊びを楽しむのではないかと思います。

＜お知らせとお願＞

- ・PTA 会費から進級・卒園祝いを購入させて頂きました。3 月 25 日にお渡しします。
- 0・1 歳児…手拭きタオル 1 枚、2 歳児…クレパス、3 歳児…ラッシャンペン、4 歳児…色鉛筆
- 5 歳児…証書入れ、お花（卒園式の日に会場に飾ります。帰りにお持ちかえりください）
- ※ 2 歳児のクレパス、3 歳児のラッシャンペン、4 歳児の色鉛筆は、来年度、園にて使います。進級式の日に名前を明記して持参してください。
- ※ 0・1 歳児へのプレゼントはご自由にお使いください。園で使う場合は名前を明記してください。
- ・3 月 22 日の卒園式の参列者は、各家庭一人とさせていただきます。
- 町内の状況を踏まえ、6 月の園長、学校教育課と検討させていただいた結果です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
- 式の詳細については、後日お知らせします。
- ・0～4 歳児は、生活調査票、成長歴を持ち帰ります。変更がある場合は、赤字で訂正してください。
- 2 月 8 日（月）に持ち帰ります。3 月 7 日（月）までに提出してください。
- ※ 1 歳児ある組は新しい用紙をお渡しします。記入して提出してください。
- ・3 月 2 日に 2 歳児りす組と 3 歳児ちゅうりっぷ組は、集合写真を撮ります。
- ・3 月 1 日の 4・5 歳児のサッカー教室は中止にしました。
- 感染状況により、後日に延期するかもしれません。
- ・3 月 4 日に予定していた英語は 8 日に、延期しました。
- 4 歳児と 5 歳児が佐野先生と一緒に英語を使ってゲームなどを楽しみます。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（公園施設の備品等購入）				
事 業 費	3,316,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
				3,316,000	500

1. 事業の目的

町内の公園施設において木質製品を取り入れることにより、木に触れ合う機会を創出し、木材利用の意義について理解を深めてもらい、関心をもってもらう場をつくり、森林教育を進めていく。

2. 事業実績概要

【事業内容】

町内の公園施設（東員町中部公園）のカフェに、県産材のテーブル、イスを導入し、公園利用者が気軽にくつろぎながら木に触れ合える機会を創出する。また、カフェの一角や広報、HPなどを活用し、町民に対して森林や県民税についての理解を図る。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

東員町

【実施個所及び箇所数】

東員町中部公園

【事業量】

テーブル10卓 イス40脚

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

木のぬくもりやにおいを体感し森林への関心を深めることにより、自然の恵みに対する価値観を広げ、木材利用や森づくりへの理解を深める場として活用する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

テーブル、イスに「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し、利用者に直接的に周知を図る。

【新たな対策・視点及び改善点】

施設利用者に対し、木質製品が、森の中の1本の木から製品になるまでの工程、また、そこへ植林し森に戻るまでのサイクルの説明を行う。また、チラシやパンフレットなどを配布し森林や県民税についての理解を深めてもらう。その他、広報、HPに掲載することにより、町民全体にも合わせてPRしていく。

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（公園施設の備品等購入）				
事 業 費	3,316,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
				3,316,000	500

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
県産材木材を使用し、指定する木質製品を加工することのできる請負者を選定。（随意契約）				
【主な経費内訳】				
（別紙のとおり）				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	公園利用者 約10万人/年間			
期待する波及効果	公園利用者が気軽にくつろぎながら木に触れ合える機会を創出する。			
【公的関与の必要性】				
町立の施設への備品導入であることから、町が実施することが妥当である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
保育園、幼稚園において管理を行う。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
チラシ等配布	実施後	利用者にパンフレット、チラシを配布		
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税交付金事業を活用し実施していることを表記		
HP掲載	実施後	設置状況、活用状況等をHPにて報告		
ロゴマーク掲示 (シル・プレート等)	実施後	木質製品に「みえ森と緑の県民税交付金事業」のロゴマークを表記		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（公園施設の備品等購入）		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
テーブル	三重県産桧	卓	10.00	181,500	1,815,000	
イス	三重県産桧 回転式	脚	40.00	30,000	1,200,000	
		小 計			3,015,000	
		消費税			301,500	
		合計			3,316,500	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（公園施設の備品等購入）
-----	------------------------------

7の（1）. 写真



写真1
テーブル（納入状況）



写真2
テーブル（納入状況）



写真3
イス（納入状況）



写真4
イス（納入状況）



写真5
イス（県民税ロゴ刻印）

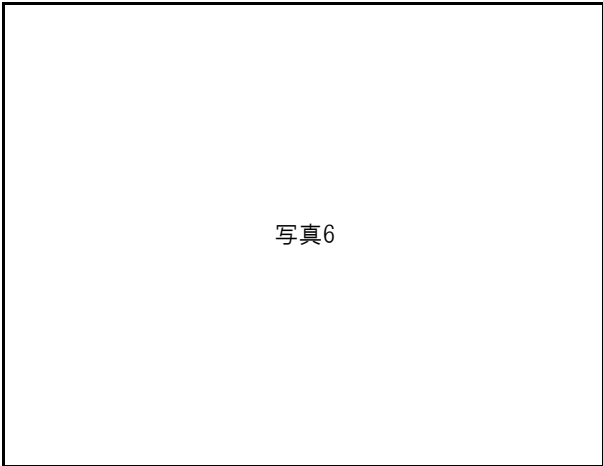


写真6

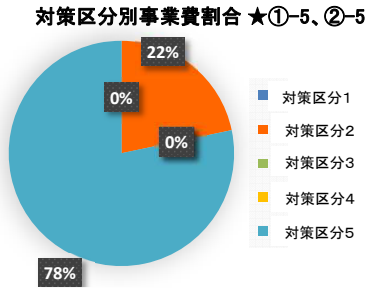
菰野町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

市町名	市町名	三重県
人口（人）	40,335	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	13.9%	12.4%
森林面積(ha)	5,348.67	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	5,272.74	348,833.49
森林率(%)	50.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	4.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	2,291,520	1,103,000		1,103,000				
2	2	危険樹木伐採事業	982,085	245,522		245,522				
3	5	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	4,862,000	4,862,000					4,862,000	
4	5	基金事業	2,558,478	2,558,478						2,558,478
計			10,694,083	8,769,000	0	1,348,522	0	0	4,862,000	2,558,478

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.08ha14本	982,085	245,521	菰野町小島地内において事前伐採14本（補償費含）

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
菰野町は、鈴鹿山脈の麓に位置する自然豊かな環境に恵まれた場所にあり、湯の山温泉や御在所ロープウェイなど、四季折々の自然を満喫できる観光スポットを有しており、多くの観光客が訪れます。このような中で、みえ森と緑の県民税を活用し、基本方針でもある「災害に強い森林づくり」の推進のため、病虫害や松枯れなど、倒木の恐れがある危険木の除去を進めることで、地域住民の安全な生活環境を守るとともに、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進のため、当町の森林資源を活用して地域住民や当町を訪れる人が地元の森林環境の魅力を感じ、自然環境保全の大切さや森林資源活用の意義について考え、学ぶ場の整備を進めます。
事業実施により期待される効果
公共の道路に倒木の可能性がある又はライフラインに支障を与える可能性がある危険木を事前伐採することにより、通行者に対する安全の確保及び電線断線の危険の排除ができ、また、病虫害による被害拡散を防止することで地域住民の安全な生活環境の保全に繋がっている。 また菰野富士の遊歩道については、供用開始に伴い、多くの利用客に活用していただいております。菰野町の森林環境の魅力を感じ、事前環境保全の大切さを学ぶ貴重な場となっている。
情報発信への取組
伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。菰野富士の現場では、のぼり旗を常設することによりPRを行っている。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	③ 私有林整備	255	255
2	⑰ 基金積立（森林整備等）	8,269	8,269
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	8,524	8,524

【記載要領】

ア、事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	病虫害被害木伐採搬出事業				
事 業 費	2,291,520 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,103,000		1,188,520

1. 事業の目的

菰野町内において、病虫害被害等により公共の道路へ倒木の恐れがある樹木の伐採を行い、住民の生命や財産を守ることを目的にする。

また、病虫害被害木を伐採することにより景観を良くし、病虫害被害の拡散防止に努める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

国道、県道及び町道沿道から20m以内の松枯れやナラ枯れ等の病虫害被害木の伐採、搬出、処理に対して助成を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

個人、区、生産森林組合等

【実施箇所及び箇所数】

町内 7 か所

【事業量】

病虫害被害木32本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

病虫害被害木の伐採・搬出を行うことで、公共の道路への被害を防止することで、地域住民の安全を事前に確保する。また、病虫害被害木の拡散防止を行うことにより、森林景観を保全することで、地域住民の身近な森林に対する森林の必要性や保全に対する理解を深める。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

被害木を伐採した地区については、地区での会議等により事業の内容及び状況を説明していただくとともに、同様な被害木の情報収集を行っていただいている。

【新たな対策・視点及び改善点】

各区、生産森林組合、財産区等へ改めて制度の概要及び事業の効果について説明し、事業の周知及び事業個所の掘り起こしを実施。地域の危険木については、区・団体等から所有者へ働きかけを行っていただき、事前伐採の重要性を周知していただいた。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	病虫害被害木伐採搬出事業				
事 業 費	2,291,520 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,103,000		1,188,520

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	個人	1/2以内	1本あたり 100,000円	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

申請者の申し出による（業務委託先については申請者による見積合わせ）

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地域住民
期待する波及効果	通行者及び地域住民の安全確保、森林の必要性の認知

【公的関与の必要性】

所有者の責ですべきことであるが、地元住民の安全な生活環境に関わる取組であるため公的な関与が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	事業実施中において、施行箇所においてのぼりを設置しPRを実施。
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町
事業名	病虫害被害木伐採搬出事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
田口新田区	病虫害被害木伐採	本	10.00	74,272	742,720	371,000
個人	病虫害被害木伐採	本	2.00	239,800	479,600	200,000
田光区・切畑区	病虫害被害木伐採	本	9.00	48,889	440,000	220,000
釈迦第一生産森林組合	病虫害被害木伐採	本	2.00	35,750	71,500	35,000
三区共有土地管理会①	病虫害被害木伐採	本	4.00	17,875	71,500	35,000
三区共有土地管理会②	病虫害被害木伐採	本	4.00	96,250	385,000	192,000
個人	病虫害被害木伐採	本	1.00	101,200	101,200	50,000
						1,103,000
※備考欄は補助金額						
		合計			2,291,520	

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	病虫害被害木伐採搬出事業
-----	--------------

7 の（1）. 写真



写真1

伐採前①



写真2

伐採前②

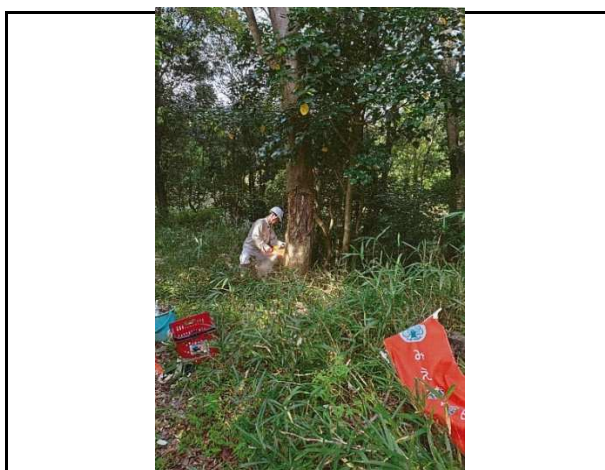


写真3

伐採中①

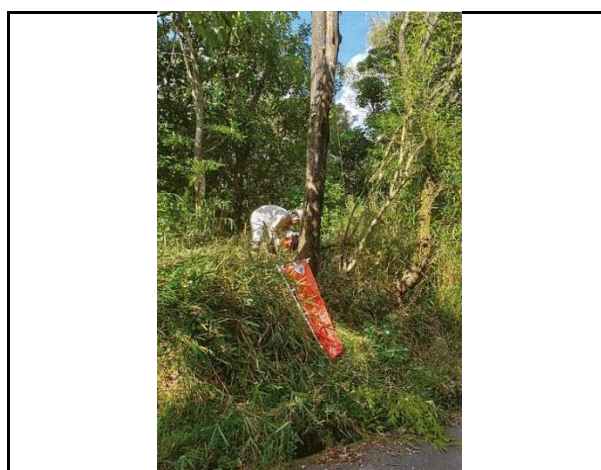


写真4

伐採中②



写真5

伐採後①



写真6

伐採後②

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	危険樹木事前伐採				
事 業 費	982,085 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			245,522		736,563

1. 事業の目的

菰野町内において、台風等の災害により電線等のライフラインに倒木の恐れがある樹木の事前伐採を行い、ライフラインの保護及び住民の生命や財産を守ることを目的にする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

台風等の災害時、電線等のライフラインに倒木等により被害の出る恐れがある樹木を事前に伐採する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

菰野町

【実施個所及び箇所数】

菰野町小島地内1か所（R2に引き続き）

【事業量】

0.08haにおいて14本伐採（補償費含む）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

台風等の災害によりライフラインに倒木の恐れがある樹木の伐採を行うことにより、災害時のライフラインに与える被害を減少させることができる。また、道路の通行車両及び人の安全が確保され、景観もよくなる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

危険木を伐採した地区については、地区での会議等により事業の内容及び状況を説明していただき、事業の重要性周知した。

【新たな対策・視点及び改善点】

本年度は昨年度に引き続き、小島地内において事業を実施したが、次年度以降については 当町の防災機能を生かすため、伐採候補地を新たにリストアップし、実施地域を再考する。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	危険樹木事前伐採				
事 業 費	982,085 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			245,522		736,563

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

町競争入札参加資格者名簿（業務委託）のうち、「清掃－屋外清掃－伐採」で登録があり、かつ所在地が町内（朝上・竹永地区）にある業者のうち、町発注の同種業務の実績を有する業者（4 者）による指名競争入札

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	小島区民及び停電影響区域に住む住民
期待する波及効果	小島区民及び停電影響区域に住む住民の安全確保、森林の必要性の認知

【公的関与の必要性】

地元住民等のライフラインを守る取組であり、多くの地元住民が受益できる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当事業による伐採は、ライフラインへの影響範囲のみの伐採であり、転用及び目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	事業実施中において、施行箇所においてのぼりを設置しPRを実施。
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。
ロゴマーク掲示 (シル・プレート等)	実施前・中・後	R2事業完了後から事業地にロゴマークを掲示しPRを実施。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町
事業名	危険樹木事前伐採		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託費	危険樹木事前伐採業務委	式	1.00	955,900	955,900	伐採木14本
補償費	伐採補償費	式	1.00	26,185	26,185	伐採木14本
		合計			982,085	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険樹木事前伐採
-----	----------

7の(1). 写真

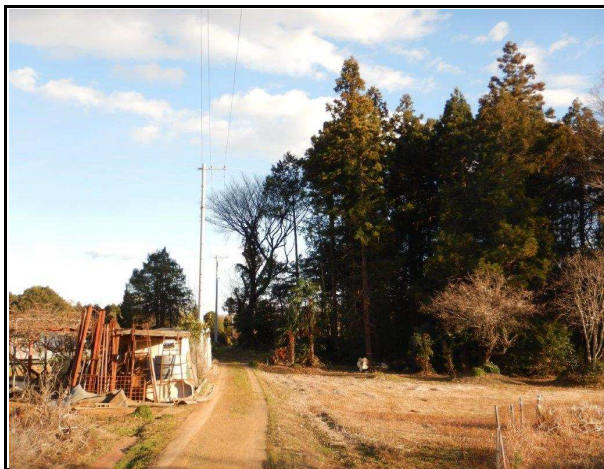


写真1

伐採前（R2事業完了後）



写真2

ロゴによるPR



写真3

伐採状況①



写真4

伐採状況②

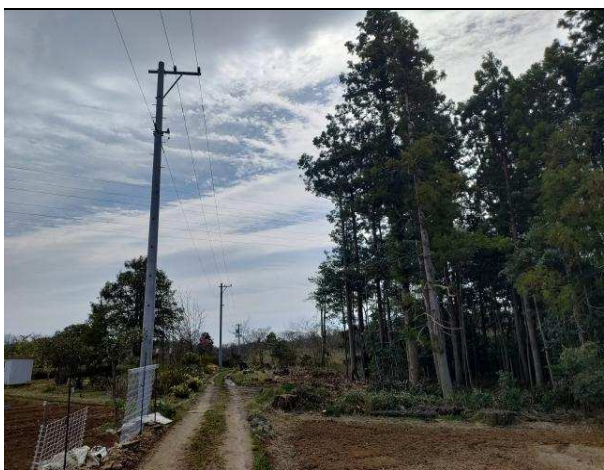


写真5

伐採完了



写真6

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	菰野富士ふるさとの山環境整備事業				
事 業 費	4,862,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,862,000		

1. 事業の目的

身近でなじみのある菰野富士において、誰もが森林と緑に親しむことのできる環境整備を行い、自然体験や自然学習を通じて自然とのふれあいを深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

森林と緑の中を誰もが散策できるバリアフリー木道の遊歩道等の整備。
森林の中での癒し、森林や自然とのふれあいゾーンを創出する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

菰野町

【実施箇所及び箇所数】

菰野富士 1か所

【事業量】

木道工（既設作業道への接続）L=4.3m

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

障がいがある方にも楽しめる遊歩道とし、多くの観光客を呼び込む憩いの場とする。また、企業の森活動も行われており、町や各種団体が実施する森林ウォークなどの健康づくりや自然観察などの体験型プログラムを活用した利用に資することで森林環境教育に取り組む。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

年 1 回みどりの少年隊（隊員・指導者計約 80 名）による自然観察の実施、年 2 回企業の森（ホンダロジスティクス：社員等約 30 名）による森林整備活動の実施

【新たな対策・視点及び改善点】

遊歩道の早期全面開通を目指し、事業内容の見直しを行い、既設遊歩道と接続部分の整備を実施、これまでの整備箇所を含めて、全線で利用可能となった。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	--------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	菰野富士ふるさとの山環境整備事業				
事 業 費	4,862,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,862,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札（入札参加者24者）

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	鳥居道山観光入込み客数：約65,000人
期待する波及効果	健康づくりや自然観察を通じた森林環境教育を行うことができる。

【公的関与の必要性】

新たな観光場となり、また地元住民も気軽に散策できる場となり、またバリアフリー遊歩道であるため、障がいがある方にも楽しむことができるなど、公益性が高いことから公的関与が必要。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町が管理を行うため、転用のおそれはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施前・中・後	施行箇所においてのぼりを設置しPRを実施。
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	菰野町
事業名	菰野富士ふるさとの山環境整備事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
工事費	ユニバーサルツーリズム促進環境整備事業	式	1.00	4,862,000	4,862,000	施工延長L=4.3m 土工 N=一式 木道工A=8.6m2 (L=4.3m、W=2.0m)
		合計			4,862,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	菰野富士ふるさとの山環境整備事業
-----	------------------

7の(1). 写真



写真1

施工前



写真2

のぼり旗によるPR

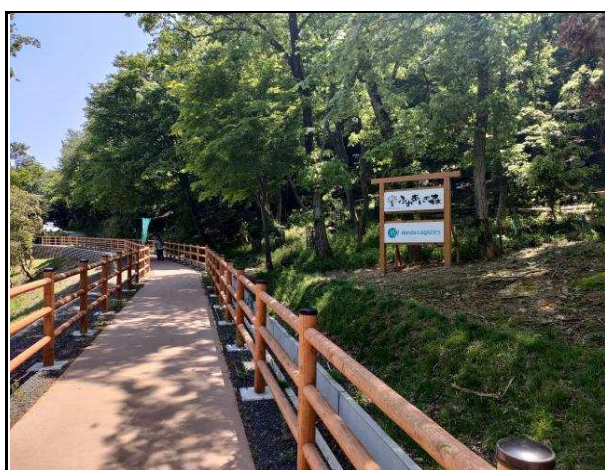


写真3

企業の森との関わり



写真4

施工後①（全面供用開始）

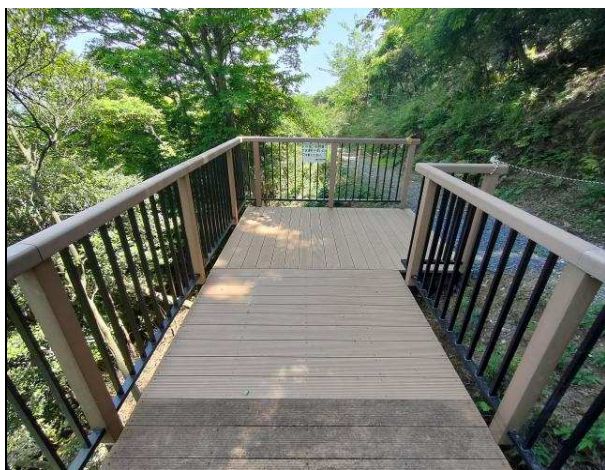


写真5

施工後②（施工箇所）

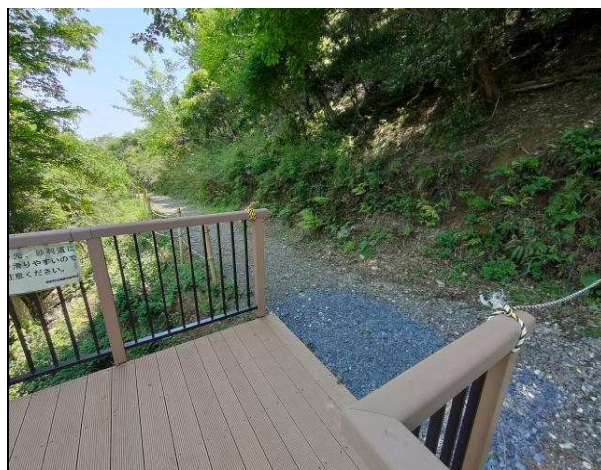


写真6

施工後③（作業道への接続状況）

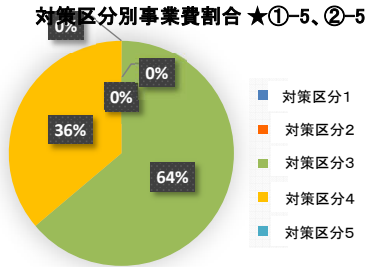
朝日町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

市町名	朝日町	三重県
人口（人）	11,033	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	18.9%	12.4%
森林面積(ha)	63.21	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	63.21	348,833.49
森林率(%)	11.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	2.1	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3,947,548	3,400,000			3,400,000			
2	4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	1,980,000	1,745,548				1,745,548		
3	4	森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）	214,500	180,000				180,000		
4	2	里山再生整備事業（基金積立）	295,452	0						295,452
計			6,437,500	5,325,548	0	0	3,400,000	1,925,548	0	295,452

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
当町は三重県一小さい自治体であり、森林面積も約63haと狭く林業がビジネスとして成り立つことは困難な状況であるが、63haの25%に当たる約16haが竹林であり、竹林割合の高さでは県内一である。また、人口が増加し続け子どもが多い若い町であり年少人口（15歳未満人口）割合も日本一である。 これらの特徴を踏まえ、町と町民により適正に管理された竹林・里山・緑地や、そこから生み出される生産物等を通じ、若年層や親子が森や緑と親しめる取り組みに県民税を活用することで、竹林・里山・緑地が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。 その実現のため、幼児教育段階から緑に親しむ機会を創出する「森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）」や、「森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）」、あさひ竹プロジェクトの一環として竹を使った様々な体験・学びの場を創出する「森林環境教育事業」を実施した。また、将来における里山再生整備等に活用するため「里山再生整備事業（基金積立）」を実施した。
事業実施により期待される効果
幼児教育段階から緑に親しむ環境や竹を使った様々な体験・学びの場を創出する施策を実施することで、町民の緑や里山に関する関心が高まった。段階的に町民自身による自律的な竹林・里山整備に係る活動が持続的な活動へとつながることで、里山の安全性を高めるとともに、日常的に若年層や親子が森・緑と親しんでいる状態が期待できる。
情報発信への取組
町のHP、広報紙等を通じた一般的なPRを実施したほか、竹あかり関係の事業においては中日新聞等の記事として多数取り上げられた。また、来場者に対してQRコードを活用したアンケートを実施し、極めて良好なアンケート結果が得られたと同時に、多くの方にみえ森の存在を周知することができた。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑰ 基金積立（森林整備等）	1,014	1,014
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	1,014	1,014

【記載要領】

ア、事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	森林環境教育事業 (あさひ竹プロジェクト)				
事 業 費	3,947,548 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,400,000		547,548

1. 事業の目的

当町は森林面積約63haの25%に当たる約16haが竹林であり、割合の高さでは県内一となっているが、高齢化等により適切な管理が行き届かない竹林が増えつつあるため、竹を町の地域資源として見つめ直し、町全体で竹・竹林の活用や課題解決を目指すとともに、竹を通じた新旧住民の交流を生み出し、竹に関する知識と理解の促進を図ることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

①竹あかり展示イベント (於: JR朝日駅ポケットパーク、縄生桜並木)

東海道整備事業で完成した施設の完成記念として竹あかりを展示するイベントを開催した。

②おうちで作ろう! 竹あかり

町民に工具を貸し出すことにより自宅等で竹あかりを作製する機会を提供した。なお完成品の一部は①の展示イベントでも展示した。なお、ワークショップ形式での親子竹あかりづくりの企画も検討していたがコロナ禍により中止とした。

③竹の花挿しプロジェクト

東海道整備事業と連携し、竹で作製した花挿しを東海道沿いの有志宅において花を入れて常設展示している。花挿しの材料となる竹の伐採及び加工を東海道を盛り上げる有志団体である「朝日まちなみ検討会」および「竹細工サークル」が、花挿しの絵付けを町内のサークルである「トールペイント教室」がそれぞれ担い、完成した花挿しを東海道沿いの協力いただける住民宅に設置し、住民が自ら花の入れ替えを行うという取組である。

※予定していた竹水鉄砲合戦、竹テント作製ワークショップ、竹駕籠作成ワークショップはコロナ禍により中止とした。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

朝日町 (竹の花挿しプロジェクトのみ朝日まちなみ検討会主体)

【実施箇所及び箇所数】

竹あかり展示: 2箇所、竹の花挿し設置: 東海道縄生地区の民家等約30軒

【事業量】

イベント来場者延べ1,000人、おうちで作ろう! 竹あかり 道具貸出40件

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）				
事 業 費	3,947,548 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,400,000		547,548

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

三重県一竹林面積割合の高い当町において、子ども、親子、地域住民が竹の魅力に触れることをきっかけに、町内の竹林が荒廃しつつある現状に対する問題意識を高め、最終的には住民主体による自立的な竹林整備・活用につなげることを目指す。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

コロナ禍によりワークショップ形式の事業が実施できなかったため、自宅でできる企画や屋外の開放的な場所で実施できる事業を実施した。竹の花挿しプロジェクトは有志団体を中心に多くの町民を巻き込んだ取組となった。竹あかりの展示は駅や幹線道路沿いのロケーションで実施し、町内外の多くの方々の注目を集めることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

おうちで作ろう！竹あかりについては昨年度のアンケートの要望を反映し、新たなデザインを用意したところ、好評であった。コロナ禍でワークショップ系の事業が軒並み実施できなかった中、町民有志の団体である「朝日まちなみ検討会」等と連携した竹の花挿しの取組は、地域の特徴である「東海道」「竹」に「地域住民」の視点を取り入れ実施した。竹林への関心喚起とともに日常的に花の溢れる良好な景観形成の観点からも意義深い事業となった。また、昨年度からの当取組の結果、町民有志による団体設立に向けた議論が進んでいる。

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】①竹あかり展示イベント

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない		

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】②おうちで作ろう！竹あかり

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない		

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】③竹の花挿しプロジェクト

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

・専門性の高い竹あかりの演出・展示について県総合文化センター等での実績が豊富な県内事業者を選定（1者随契）

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）				
事 業 費	3,947,548 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,400,000		547,548

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	イベント来場者延べ1,000人、竹あかり道具貸出40件、東海道沿い民家約30軒
期待する波及効果	町内の方が竹に親しむきっかけとなり、町外の方へのPRにもつながった。

【公的関与の必要性】

竹林の問題は竹林所有者個人の問題となりがちであるが、竹や竹林の魅力に触れ、関心を持つきっかけを行政が作ることで竹林と無関係である住民も含めて竹林を地域資源として捉え、町民全体で解決を図る機運醸成に繋げる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

工具類については引き続き担当課により適切に管理する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	展示企画実施時に竹製ポールをつかったのぼりを設置
HP掲載	実施前・中・後	各企画開催前や開催中、開催後にHPに記事掲載
アンケート実施	実施中	各企画開催時にアンケート実施
広報誌掲載	実施前	各企画について案内する記事を広報誌に掲載
TV（行政チャンネル等）	実施前・中	地元ローカル局（CCnet）にて各企画について紹介する番組を放送
その他	実施前・中	新聞（中日新聞）にて各企画を紹介する記事掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり 写真、新聞記事、アンケート結果を添付

8. その他特記事項（受益者の反応等）

アンケート結果はいずれも極めて良好であったが、特に縄生桜並木の竹あかり展示については回収数も多く、町外からの来訪者も多数あり効果的な事業であった。また、来場者による自主的なInstagramアカウントの作成やハッシュタグ付きの写真投稿が積極的に行われた。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町
事業名	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）		

4. 効率性：主な経費内訳

①竹あかり展示イベント（於：JR朝日駅ポケットパーク、縄生桜並木）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
竹あかりの演出委託（JR朝日駅ポケットパーク）	約300㎡における竹あかり、オブジェ等の設置	式	1.00	804,100	804,100	
竹あかり会場準備委託（JR朝日駅ポケットパーク）	竹あかり設置のための電源等準備	式	1.00	14,300	14,300	
竹あかりイベント撮影委託（JR朝日駅ポケットパーク）	竹あかり展示イベント時の写真撮影	式	1.00	33,000	33,000	
竹あかりの演出委託（縄生桜並木）	約380㎡における竹あかり、オブジェ等の設置	式	1.00	1,476,200	1,476,200	
竹あかり会場準備委託（縄生桜並木）	竹あかり設置のための電源等準備	式	1.00	83,380	83,380	
竹あかりイベント撮影委託（縄生桜並木）	竹あかり展示イベント時の写真撮影	式	1.00	33,000	33,000	
		合計			2,443,980	

②おうちで作ろう！竹あかり

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
竹あかり用デザイン作成委託	竹あかり用デザインの新規作成	点	30.00	3,300	99,000	
竹あかり用竹材調達	竹あかり用竹材の伐採、加工、油抜き	式	1.00	935,000	935,000	竹あかり材料400本分
竹あかり用消耗品	ドリル刃等	式	1.00	398,760	398,760	
		合計			1,432,760	

③竹の花挿しプロジェクト

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
花挿し用竹材伐採・加工用消耗品	竹引き、ヤスリ、コンテナ等	式	1.00	28,018	28,018	竹の花挿し 30セット分
花挿しペイント用消耗品	ニス	式	1.00	18,040	18,040	
花挿し用花材	生花、ホルダー	式	1.00	24,750	24,750	
		合計			70,808	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）
-----	----------------------

7の(1). 写真



写真1

JR朝日駅ポケットパーク竹あかり展示



写真2

縄生桜並木竹あかり展示



写真3

縄生桜並木竹あかり展示（おうちで作ろう、竹あかり！にて町民が作製したもの）



写真4

縄生桜並木竹あかり展示時ののぼり（竹製ポール）



写真5

トールペイントが施された竹の花挿し（縄生地区住民宅に設置）



写真6

町民有志団体「朝日まちなみ検討会」による花挿し用竹材調達

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）
-----	----------------------

7 の（2）. その他資料

JR朝日駅ポケットパーク竹あかり 中日新聞朝刊 R3. 7. 30

縄生桜並木竹あかり 中日新聞朝刊 R4. 1. 8

よっかいちai2022年1月号イベントニュース

縄生桜並木竹あかり 四日市ホームニュース R4. 1. 22

PEEK-A-BAMBOO!あさひ竹プロジェクト
竹あかりの展示 in 縄生桜並木
12/18(土)～1/30(日)
☎059-377-5658

縄生地区の桜並木は、地域の花見スポット。【朝日まちなみプラン】で整備が完了。幻想的な竹あかりが東海道沿いの小路を美しく彩ります。あたたかくしておでかけください。

写真はイメージです

③ 日の入りとともに点灯、日の出とともに消灯
④ 朝日町縄生地区 桜並木
(最寄り駅近鉄伊勢朝日駅徒歩8分)
⑤ 駐車場がないため公共交通機関を利用 マスク着用
⑥ 朝日町産業建設課

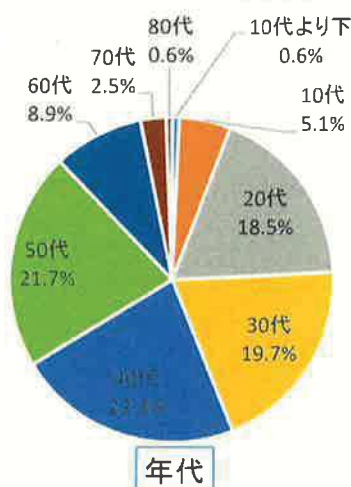
竹の花挿し 中日新聞朝刊 R3. 10. 28

※竹あかりの展示（縄生桜並木、JR朝日駅ポケットパーク）、おうちで作ろう竹あかりについてのアンケート結果を別途添付（代表のアンケート結果を添付。その他のイベントでもアンケート実施済）
※町HPにおける竹あかりの展示（縄生桜並木）の開催報告記事を別途添付。

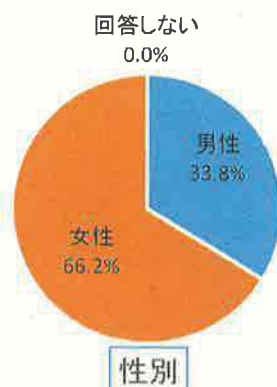
竹あかりの展示 in 縄生桜並木 アンケート回答グラフ

- ・アンケート回収期間: 令和3年12月18日から令和4年1月31日
- ・場所: 縄生桜並木
- ・アンケート方法: 現場に設置したQRコードからGoogleフォームにより回答
- ・回答者: 157名

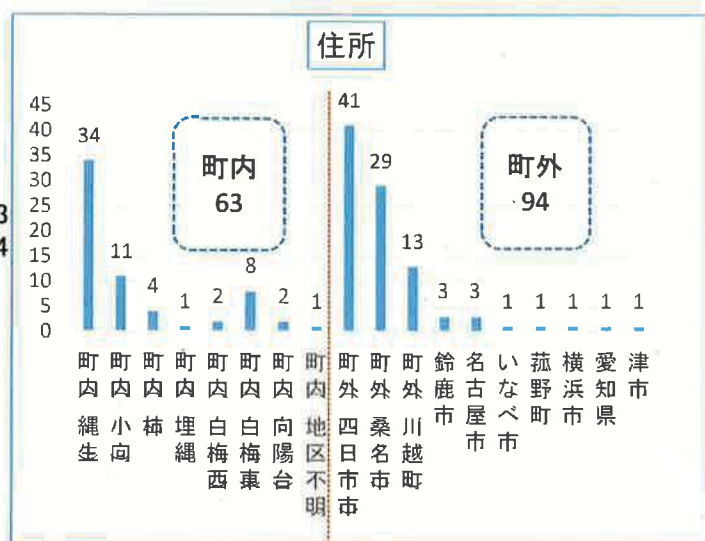
年代	
10代より下	1
10代	8
20代	29
30代	31
40代	35
50代	34
60代	14
70代	4
80代	1
157	



性別	
男性	53
女性	104
回答しない	0
157	



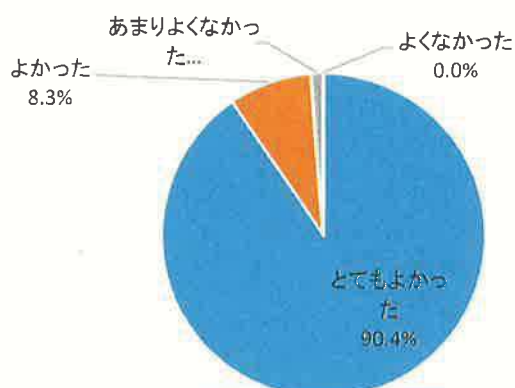
住所	
町内(縄生)	34
町内(小向)	11
町内(柿)	4
町内(埋縄)	1
町内(白梅西)	2
町内(白梅東)	8
町内(向陽台)	2
町内(地区不明)	1
町外(四日市市)	41
町外(桑名市)	29
町外(川越町)	13
鈴鹿市	3
名古屋市	3
いなべ市	1
菰野町	1
横浜市	1
愛知県	1
津市	1
157	



いかがでしたか？

とてもよかった	142
よかった	13
あまりよくなかった	2
よくなかった	0

157

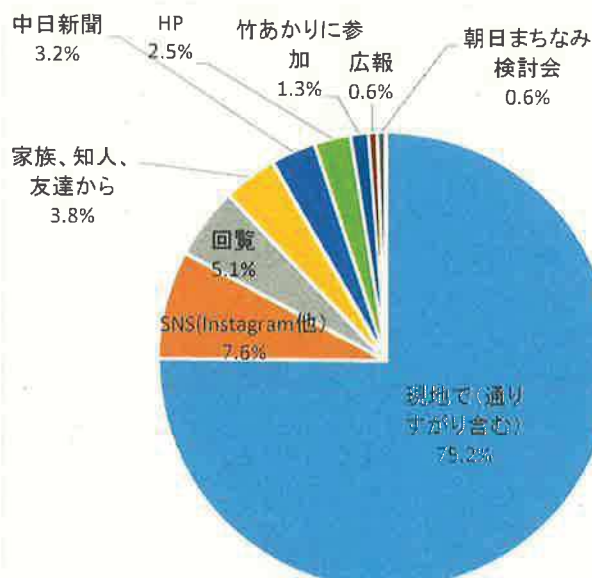


いかがでしたか？

知ったきっかけ

現地で(通りすがり含む)	118
SNS(Instagram他)	12
回覧	8
家族、知人、友達から	6
中日新聞	5
HP	4
竹あかりに参加	2
広報	1
朝日まちなみ検討会	1

157



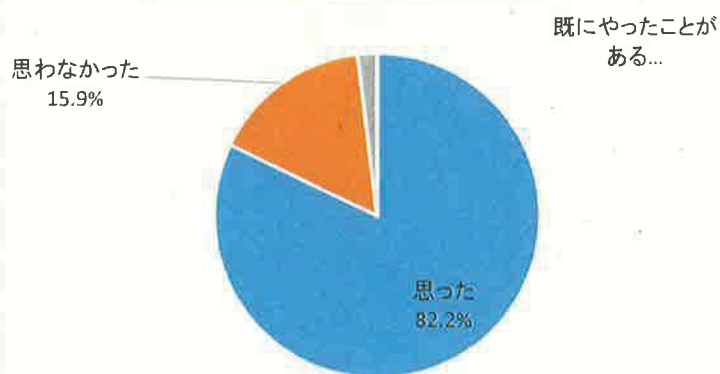
知ったきっかけ

作ってみたいと思いましたか？

思った	129
思わなかった	25
既にやったことがある	3

157

作ってみたいと思いましたか？

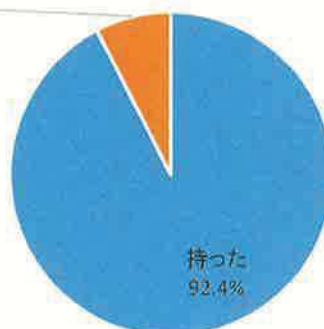


朝日町の竹に興味を持ちましたか？

持った	145
持たなかった	12

157

朝日町の竹に興味を持ちましたか？

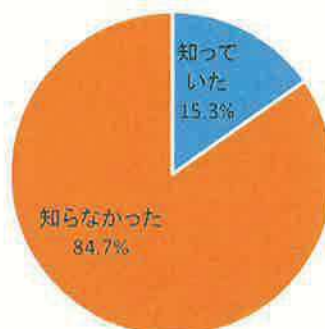
持たなかった
7.6%

みえ森をご存知でしたか？

知っていた	24
知らなかった	133

157

みえ森をご存知でしたか？

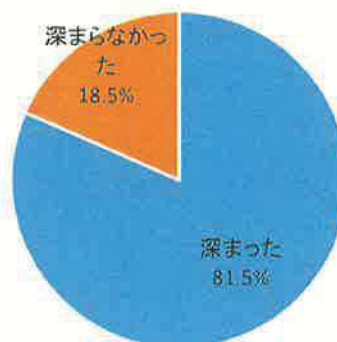


みえ森への理解が深まりましたか？

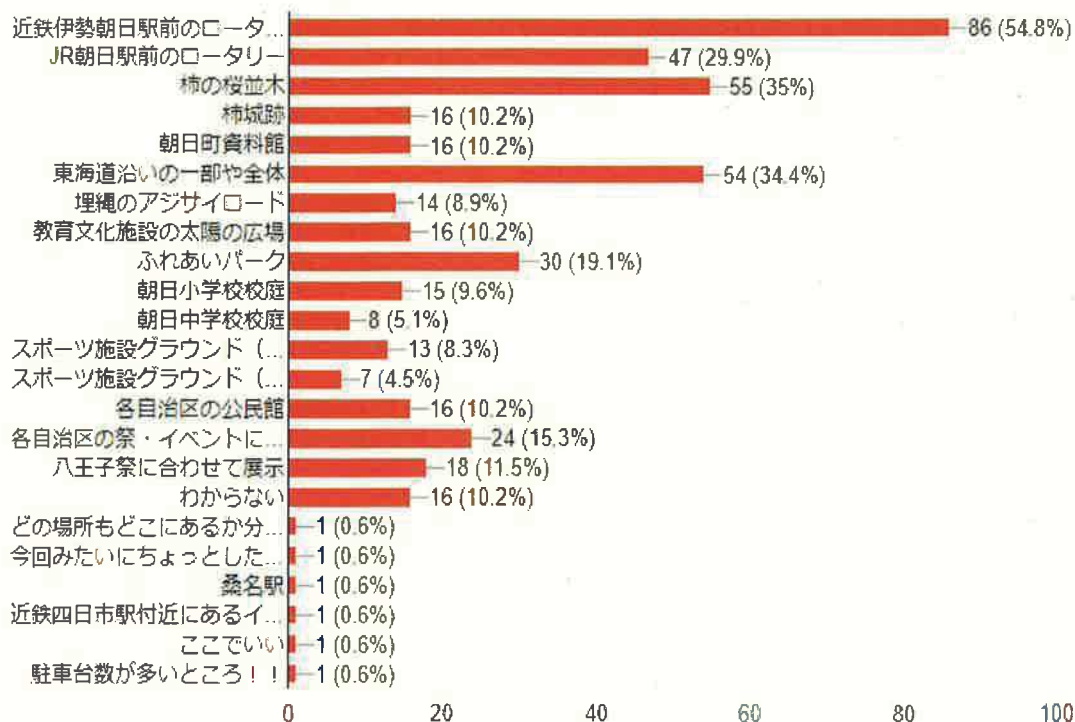
深まった	128
深まらなかった	29

157

みえ森への理解が深まりましたか？



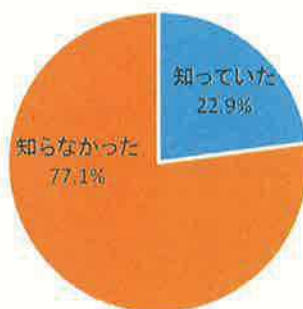
今後、竹あかりの展示を行う場所としてふさわしいと思う場所(イベント) ※複数回答



朝日まちなみプランで整備されたことを知っていましたか？

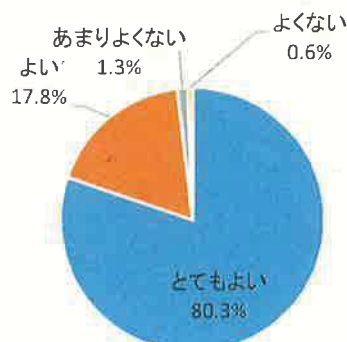
知っていた	36
知らなかった	121
157	

朝日まちなみプランの一環で整備されたことを知っていましたか？



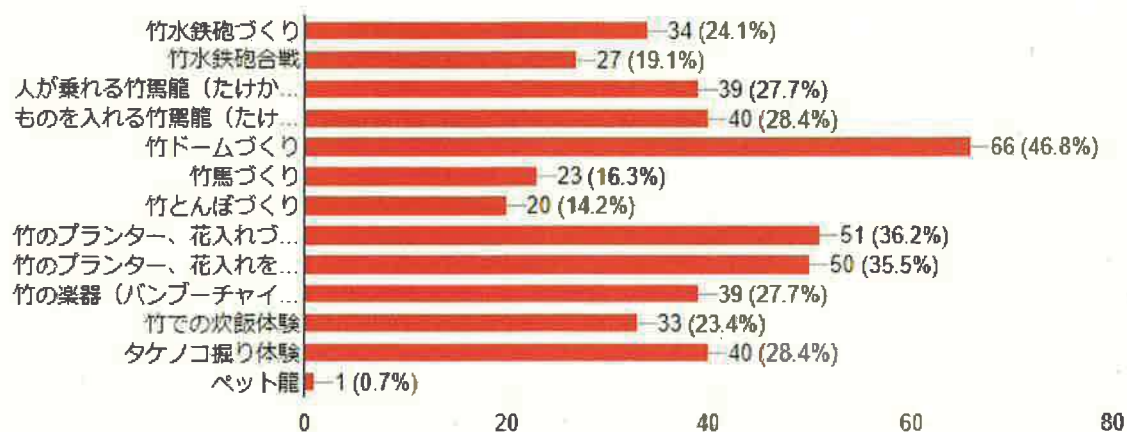
整備された縄生桜並木はどうですか

とてもよい	126
よい	28
あまりよくない	2
よくない	1
157	



整備された縄生桜並木はどうですか？

今後の竹プロジェクトの企画として面白そうなもの ※複数回答



全体の感想※自由記述

1	とてもきれいでした
2	夏に竹あかりを親子で作りました。小学生の娘が自ら点灯したいと展示をとても楽しみにしておりました。思っていた以上の規模で見応えがありました。冬の澄んだ空気の中、沢山の灯りに心が温まりました。来年もぜひ参加したいです。
3	通りすがりでしたがとても素敵で、朝日町の取り組みと知り素敵な企画だと思い、また朝日町のイベントなどを調べて興味の出たものには参加などしたと思い興味が高まりました!! コロナ禍で外出を控えてる中、クリスマス前に竹あかりの優しいあかりに癒され、素敵な風景が見れてとても幸せな気分になりました！
4	とても綺麗 作ってみたい 寒い日だったので足元が凍っていて滑り危なかった 素晴らしい??
5	夏のJR駅前も良かったですが、今回の方が規模も大きくなり、見応えがありました。とても美しく、幸せな気持ちになりました。ありがとうございます。
6	是非今後も行って欲しい
7	しとやかな雰囲気がとても素敵ですずっと見ていられました。朝日町のプロジェクトへの興味が高まりました
8	感動しました！まるで修禅寺のような風情を感じ 一瞬にしてどこかに旅行にきた気分を味わせて もらえて、大変優雅な時間でした、 ありがとうございました(^) これが、柿の桜並木で春に鑑賞できると最高です。
9	見学したのが夕方のラッシュ時で、狭い道に車の交通量が多く結構怖い思いをした。 竹あかりはすごく良かったです。
10	仕事帰り たまたま見つけて、立ち止まって癒されました。 すごく綺麗でした。
11	すごく綺麗で感動しました。
12	たかく一ん最高に綺麗だったよ！もげ
13	「映え」に向いているいい場所だと思いました。
14	一つずつの作品が素晴らしくて、もっと沢山の人の目にほしいと思いました。すごく綺麗でした、、、
15	とても美しかったです！
16	やっと文明開花の時代を迎えた気がしました。
17	他地区の市町村からの見学者が多く見学にこられて賑わいが感じられてすごく良い
18	もっと灯りを色々な色でして欲しいもっとよくなるかも
19	町並みプランやら森と緑やら、目指すものは解りました。 綺麗なのはいいですが、あの辺り？縄生の旧道は、道路も狭く交通量が多いうえ、1号線から降りてくる道との合流もあります。 旧道を走っていると急に視界が開け、いきなり竹あかりが現れるので、びっくりします。 見物客も多く、正直、危ないです。 初日、知らなかった私は、竹あかりの急な光の眩しさに何事かと驚き、ハンドル操作を誤って接触事故を起こしてしまいました。 私以外にもヒヤッとするドライバーは多いはずで。 もっと広くて安全に観れる場所におねがいします。
20	とても良かったです。
21	偶然見つけた光にとても感動しました。 心温まる企画だと思います。元気と癒しを貰えました。クオリティが高くアート作品だと思います！
22	何も知らず通りかかり思わず車から降りて歩き写真を撮りました。とてもキレイで良かったです。
23	たまたま通りすがって気になって立ち寄ったのですが、とても綺麗で感動した。竹ってこんなに綺麗なのかと思った。展示期間中は何度も足を運びたいと思うくらいでした。ひっそりした場所にあったので気付かれにくそうでもったいないなと感じた
24	コロナ禍等による困難な時期にイルミネーションで煌びやかな感じ…には少し違和感がありました。 結果、とても癒される温かい灯火に感謝の思いです。これからも続けていって頂きたいです。
25	近くに住んでいるのに全く知らなくて、これに自治会費とかまた更にかかるのかなと心配になってしまいましたが、実際見るとキレイなので、そういうことはあまり考えないようにしています。でも、実際、町民や一部の住民に費用がかかるようなものはやらないでほしいです。旧東海道沿いに毎年10月に出される提灯も置き場のお金も支払っていて、活性化することは構わないですが、それなりのリターンもないとお金ばかり取られている気分になります。見直してほしいと常日頃思っています。

26	一日中付いているのがすごくいいですね。 昼と夜で違った表情を楽しめて素敵でした。 企画を知らず、たまたま通りかかったところにあんなに綺麗な道が出てきたので思わず車を止めて歩きました。 寒さはありますが、見事な美しさですごく気分が上がりました。
27	竹プロジェクトの皆様ありがとうございました。 町外の女子高生が写真を撮っていました。 冬の寒さの中桜並木が明るくなり、ほっこり暖かさを感じました。 皆様に感謝いたします。
28	朝日町としての活動を凄いと思う。
29	LEDでのライトアップより風情があってよかった
30	通りから見えてとてもキレイだったから来た。近くから見ると、さらに良かった。
31	まりみたいたいっているのが浮いてる感じがあって綺麗でした！
32	たまたま雪の日に見ることができ、幻想的でした！
33	日没から夜明けまでは長すぎるのではないかな？午後11時位までで良いのではと思いました。
34	たまたま運転してる際に気づいて寄りましたが、とても素敵でした。町外の事で知らなかったのも、インスタとかSNSとかでも周辺の市町とかに告知をすると、もっといいなと思いました。
35	桜の時期は良く訪れますが、竹あかりは初めてでした。初詣の帰りに寄りました。雪も積もってとても素敵な風景でした。一晩中あかりが着いているのも素敵ですね。
36	青いライトのものも見てみたいです。
37	きれい
38	12月、東海道を通っていた時、初めて竹灯りのイルミネーションをしてるのを知りました。 今日は四日市から見に来ました。 とてもキレイです。 桑名や四日市でも桜並木のライトアップに竹灯籠してほしいと思いました。
39	とても綺麗で癒されました^^♪
40	竹あかりも良かったですが、縄生の東海道沿いの家々に竹筒の花瓶(一輪挿し)で花を飾っているのが素敵でした。
41	とても綺麗で再度展示する機会があつて良かったと思います。 しかし、朝日町のお金の使い方に疑問があります。「お金を貰ったから使う(予算があるから)」、ではなく税金は今必要な物に使って欲しいと思います。駅前の整備もカッコだけ綺麗にしても使い勝手が悪ければ税金の無駄遣いです(JR朝日駅ロータリーの改悪で、夕方迎えの車による道路へのはみ出しはご存知ですか？非常に使い難くなった！)。 今回のアンケートとずれてしましますが、今税金を使ってやらなければならないのか？と言う疑問は同じです。 予算があるから使うのではなく、住民の為に使うような運用に期待します。
42	車から見えて気になって行ってみました
43	とても綺麗でした。年に一度開催して欲しい
44	もう少し写真が撮れる専用のスポットを用意してほしい。 上手く写真が撮りにくかった
45	たまたま通った道で、今回の「竹あかりの展示」を見つけました！パッと見てとても素敵だったので、車を引き返して近くに停めてもらいました。車を降りてよく見てみると、竹一つ一つに穴が開けられ、細やかなデザインがされており驚きました。竹から射し込むライトの光が温かく幻想的で、見ていてほっこりした気持ちになりました。1箇所だけのライトアップではなく、堤防に沿ってライトアップの道が出来たので、写真映えして綺麗でした！！ 車から降りずに、ゆっくり徐行しながら窓から景色を楽しんでいた人も結構いたので、実際はアンケート回答以上に多くの方が楽しんでいると思います！私は生まれて20年ずっと朝日町に住んでいますが、普段ここは狭く通らない道なので、このプロジェクトのことを知りませんでした。宣伝を沢山して周知を広げれば、より多くの方が集まると思います！ また、朝日町の縄生桜並木の道と、階段が歩きやすいように整備されていて嬉しいですね。員弁川の水門(角落し)の展示とその歴史を知れたことも面白く、朝日町をもっと知るきっかけになりました！ そういえば、私はJR朝日駅を大学への通学で使うのですが、以前ロータリーの所で竹を使ったライトアップがされているのを見ました。これも「竹あかりの展示」プロジェクトの一環だったのでしょうか？竹の活用やまちづくりにも繋がる、とても素敵なプロジェクトだと思うので、ぜひ今後も沢山の場所で定期的に開催して欲しいです！ありがとうございました??

46	とてもきれいで感動しました。毎年やってほしいです。できたら桜の時期なんかもライトアップと合わせてやってほしいです。
47	とっても綺麗な空間でした
48	とてもきれいです。
49	とっても綺麗で癒されました！！
50	とてもキレイで感動しました！
51	とても感動しました。素敵です。綺麗です。今まで全然知らなかったのも夫と愛犬連れて来ました。期間中に孫も連れてきます。
52	車で近くを通るたびにとても気になっていました。普段のイルミネーションとは違う雰囲気です。優しい灯りが素敵でした。
53	たまたま1号線を通り掛かって知りました。とても綺麗で良かったです。これからも続けてもらいたいです。
54	初めて来た場所でした。お寺もあり情緒あり良かったです。
55	すごく幻想的で
56	幻想的でよかった 夏の開催模希望
57	とても幻想的で感動しました。心にしみました。
58	竹を使った光が温かく、きれいに見えました。
59	雪が降って来た時めっちゃ綺麗でした。
60	目立つ看板などを立てるといいと思いました。
61	とても綺麗な作品なので、来年も開催して欲しいです。
62	製作体験イベントなど開催してほしいです。
63	前の道を通る度に気になっていたが、展示終了前に行けて良かった
64	とても綺麗でした。機会があれば、緑や森を生かした公園づくりや、公園の施設として竹を生かしたランプや東屋、ベンチや遊具などを設置したらいいのではと思いました。
65	とてもきれいでした！
66	1号線で暗い印象が強かった場所が、あの輝きで光も場所の暗さも互いに互いの長所と短所を生かして美しかったです。
67	各地で竹あかりが開催されているのは知っていましたが近くで見れて嬉しかったです。仕事の帰りに見つけ、立ち寄りしました。
68	幻想的で素敵です。とても贅沢な空間を見学させて、いただきました。
69	いろんなデザインがあって見ていてとても楽しかったです。桜の木に竹の丸いオブジェを飾っているのも空間がうまく使われていて違う空間に紛れ込んだような錯覚を起こすほどきれいでした。とても寒かったですが見に来て良かったです。
70	距離をもっと長く取れると良い散歩になりそう。
71	めっちゃくちゃ綺麗で感動しました！
72	インスタとTwitterアカウントを開設してハッシュタグつけまくってもっともっとアピールしてほしい！10代？向けにTikTokも……。
73	とても良かったです、すぐ脇に民家があり、大丈夫なのかな？と気になりました
74	美しく感動した
75	きれいに整備され、今回初めてあるきましたが、桜の時期にもう一度やってほしい。
76	自分で作って庭に飾りたいです
77	すごくきれいです。ライブ配信などで世界中に広めてほしいです。
78	素晴らしいと思います。自宅にも欲しいと思います。
79	映た写真がいっぱい撮れた！
80	駐車場が少ない。もっと増やしてほしい
81	とても綺麗で近所だったので何度も来ました！来年も是非！
82	とても綺麗でした。感動しました。あまり見た事のない空間でした。
83	竹あかりの灯りが温かく、心も温かくなりました。 やっと最終日に見に来る事が出来ました??
84	有り難うございました() とても心が癒されました()
85	1号線から見えて気になり立ちよった。 民家も多いので子連れの方は静かに見学すると良い。 最終日に見る事が出来て良かったです。 有り難うございました()

「竹あかりの展示 in 縄生桜並木」を開催しま

キーワードで検索

検索

更新日：2022年2月3日

令和2年度からスタートしたPEEK-A-BAMBOO!あさひ竹プロジェクト。竹への関心を高めることを目的に様々な事業を開催しています。



PEEK-A-BAMBOO!あさひ竹プロジェクト公式ロゴマーク

「朝日まちなみプラン」の一環として整備が完了した「縄生桜並木」にて、令和3年12月から令和4年1月にかけて「竹あかりの展示 in 縄生桜並木」を実施し、大好評のうちに終了いたしました。ここでは、町民の方が作成された作品も含め、竹あかりの展示の様子をご紹介します。





現地のQRコードから取得したアンケートでは、ほとんどの方から「大変よかった」、「よかった」という回答を頂きました。また、縄生の桜並木以外での開催も含め、今後の継続的な展開への要望も多数頂きました。

これらの結果も踏まえ、来年度以降の開催を検討してまいります。今後の展開に ご期待下さい！

なお、この事業は「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しました。



みえ森と緑の県民税公式ロゴマーク

関連リンク

[縄生地区の桜並木を改修しました！](#)

[PEEK-A-BAMBOO!あさひ竹プロジェクトの始動について](#)

このページに関する問い合わせ先

産業建設課

電話番号：059-377-5658

ファクス番号：059-377-4543



暮らしの情報



手続



生活と環境

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）				
事 業 費	1,980,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,745,548		234,452

1. 事業の目的

公共施設（幼保一体化施設）の園庭を緑化することにより、幼児教育の場において園児が緑にふれあい、森や草木を大切にする心を養うための環境をつくることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

幼保一体化施設（あさひ園）の芝生の維持管理（平成28年度～30年度みえ森交付金を活用して緑化した芝生）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

朝日町

【実施箇所及び箇所数】

1箇所

【事業量】

芝生面積（あさひ園）延べ1,286㎡

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

裸足で芝生の上で遊ぶ園児もあり、芝生や緑の心地よさの実感に繋がる。また、それらの体験からも草木を大切にする心を養う。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

あさひ園は約400名の園児を抱える県内有数のマンモス園であり、多数の園児が日常的に走り回る園庭に芝生は劣化が激しいため、区画分けをして計画的に芝生の維持管理を図っている。

【新たな対策・視点及び改善点】

新たにあさひ園通信「えんだより」にみえ森を活用して芝生を維持管理していることを紹介する記事を掲載した。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）				
事 業 費	1,980,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,745,548		234,452

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

令和2年度から実施している長期的な維持管理のため昨年度受託者である地元造園業者に委託（1者随契）

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	園児等約500名
期待する波及効果	子どもたちにとって最も身近な緑とのふれあいにつながる。また、家庭での自然への関心の高まりが期待できる。

【公的関与の必要性】

町有施設の整備であるため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町有施設の整備であるため、今後も引き続き担当課により適切に管理する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	みえ森を活用して芝生整備をしている旨を記載した記事を掲載している
標識・標柱等設置	実施前・中・後	入り口付近にみえ森を活用して芝生を維持管理している旨を記載した看板を設置している。
学校だより等掲載	実施後	「えんだより」にみえ森を活用して芝生整備をしている旨を記載した記事を掲載している

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり えんだより、HP記事

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町
事業名	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）		

4. 効率性：主な経費内訳

幼保一体化施設（あさひ園）の芝生の維持管理

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
夏芝管理工	芝刈り	m ²	4800.00	35	168,000	
	施肥	m ²	3600.00	33	118,800	
	エアレーション	m ²	2400.00	35	84,000	
	張芝工	m ²	200.00	1,328	265,600	
	その他	式	1.00	142,120	142,120	
芝生除草剤散布工	薬剤除草（除草剤散布）	m ²	2400.00	40	96,000	
	モニユメント粒剤	袋	2.00	11,250	22,500	
	アージラン乳剤	本	2.00	4,950	9,900	
	ザイトロン液	本	2.00	6,750	13,500	
共通仮設費		式	1.00	99,000	99,000	
現場管理費		式	1.00	434,000	434,000	
一般管理費		式	1.00	346,580	346,580	
消費税		式	1.00	180,000	180,000	
		合計			1,980,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）
-----	--------------------------

7の（1）. 写真



写真1

園庭に設置されている看板



写真2

ブランコエリア施工前



写真3

ブランコエリア剥ぎ取り中



写真4

ブランコエリア施肥



写真5

ブランコエリア芝敷き並べ



写真6

ブランコエリア完了後、園児利用

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）
-----	--------------------------

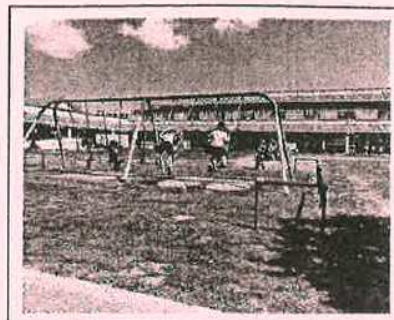
7の(2). その他資料

全園児に配布される「えんだより」11月号に記事掲載



あさひ園では、「みえ森と緑の県民税」を活用し、園庭の芝生を維持管理しています。

今年度も新しい芝生を植え、子どもたちが安全に、そして元気いっぱい遊んでいただける環境を整備しました。



11月号
令和3年10月27日
あさひ園

日中のぽかぽかとしたお日さまがより温かさやそよ吹く風にさわやかさを感じる反面、朝晩の冷え込みに秋の気配を感じる季節となりました。

運動会が延期となり、それぞれのクラスで運動会のリズムの曲を流すと、友だち同士で自然と体が楽しそうに動いたり、みんなで力を合わせることに楽しさを味わったりしています。

少しずつ子どもたちが成長していく姿を感じています。

それぞれの年齢に応じて友だちとかがわって遊ぶことも増えてきます。その中で、自己主張もはっきりしてくると、思いの違いからトラブルになることもあります。このトラブルを通して、自分の気持ちを相手に伝えたり、話を聞いて相手の思いに気付いたり、共に活動する楽しさが味わえるよう援助していきたいと思っています。

園外保育にも出かけながら、落ち葉や木の葉など子どもたちの発見を大事にし、秋の自然を感じられるよう保育環境を整えていきたいと思います。

！おれ！

生活アンケートについて

ご協力いただきありがとうございます。いただいたアンケートから、4歳児の「からだをうごかしてあそぶ」について結果を報告させていただきます。(回収率:39% 88名中34名)

体を動かして遊んだ日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
割合	0%	0%	3%	9%	6%	15%	68%

上の表から、毎日体を動かして遊んでいるご家庭が多いようです。園でも、園庭の遊具で遊んだり、散歩に出かけたり、お部屋やホールでも体を動かして遊ばせたりしています。3・4・5歳児さんは運動会に向けて、体操やリズム、かけっこ等にはりきって取り組む姿も見られています。

涼しくなり過ごしやすくなる時期に、体を思いきり動かして遊ぶ機会を今後楽しみたいですね。

5歳児学年閉鎖について

5歳児学年閉鎖において、ご理解とご協力いただきありがとうございます。今後も手洗い、手指消毒、換気、健康観察を行ってまいります。ご家庭においても、体調管理をしていただき、熱など風邪症状がある場合は、登園を控えていただきますようお願いいたします。



5歳児遠足（探検）について

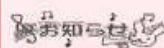
10月26日(火)くら組、10月27日(水)らっこ組、10月29日(木)いもか組の遠足(探検)で東芝グラウンドに出かけます。その際、東芝三重工場内を見学させていただきます。お菓子の詰め合わせもいただくことを東芝産業機器システム 様より、ご連絡いただきました。ご厚意に感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

！お願い！

最近、新聞等で子どもの事故が増えてきております。登降園の際は交通ルールを守っていただき、気を付けていただきますようお願いいたします。特に自転車でお越しの方は自転車による事故が多く、乗り降りの際や曲がり角等、十分注意して下さい。また自動車での登降園の際の待機による出入り口一方通行と、園付近道路の普通車での通り抜け禁止となっております。交通事故につながりますので、十分注意して下さい。

勤労感謝の日

勤労感謝の日は、元気に働くことや、働いてくれる人がいることに感謝をする、国民の祝日です。働くことでみんなの生活があるということを感じられるようになってほしいですね。働いているおうちの方や周りの人に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられるようにしましょう。



あさひ園では、「みえ森と緑の県民税」を活用し、園庭の芝生を維持管理しています。
今年度も新しい芝生を植え、子どもたちが安全に、そして元気いっぱい遊んでいただける環境を整備しました。



11月の予定

	0, 1, 2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1日(月)		身体測定		運動会(予備日4日)
2日(火)			半ばり(予備日5日)	
4日(木)	身体測定(2歳児)			
5日(金)		運動会(予備日12日)		身体測定(半ばりが延期になった場合2日)
8日(月)		予備日:合同避難訓練		
9日(火)		避難訓練		
10日(水)			運動会(予備日15日)	
			保育部:原検査	
11日(木)			保育部内科検診	
16日(火)			誕生会	放学期健診
18日(木)			保育部歯科検診	
			交通安全指導	
19日(金)			ALT(たんぽぽ組)	
30日(火)		歯科検診		

交通安全指導について

〔未通児〕
・左右の横断、手を挙げて道路を渡る、おしゃべりをしない
・できるだけ歩幅を狭くするなど、横断歩道の渡り方を知らせる。
〔以上児〕
・数歩や数本・数段を越えて交通ルールを知らせる。
・体育的な遊びに連なって参加し、敏捷性を養う。

避難訓練について

一斉活動中、西側水路避難を想定し、2階への避難の仕方を知る。

不審者訓練について

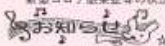
不審者侵入を想定し、子どもたちの居場所を確保し、不審者から遠ざけ、安全な場所に避難する仕方を知る。



★5歳児生活発表会は、12月1日(木)くら組、12月2日(木)らっこ組、12月3日(金)いもか組を予定しております。

★4歳児生活発表会は、1月31日(月)にすもも組、2月1日(火)さくら組、2月2日(水)たんぽぽ組を予定しております。

新型コロナウイルス感染症等の状況により変更の場合もございます。



★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年恒例になっていた東芝青年部様との交流、多世代交流(老人クラブ様との交流)は、中止とさせていただきます。
★気温の変化に伴い、毎週月曜日の体操服着用は、11月15日までとさせていただきます。体操は、引き続き行います。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）				
事 業 費	214,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			180,000		34,500

1. 事業の目的

町有施設で最も集客力のある朝日町教育文化施設（図書館と博物館等の機能を持つ複合施設）において、三重県産材で作られた展示架を購入し、これまで未活用であった換気のいいエントランスや屋外スペース（太陽の広場）に設置し、森林環境教育に資する書籍を棚に配架することで、森林環境に関する町民の関心を喚起するとともに、コロナ禍に対応した新たな施設利用につなげる。

2. 事業実績概要

【事業内容】

教育文化施設において、三重県産材で作られた展示架を購入し、これまで未活用であった換気のいいエントランスや屋外スペース（太陽の広場）に設置し、森林環境教育に資する書籍を棚に配架することで、森林環境に関する町民の関心を喚起するとともに、コロナ禍に対応した新たな施設利用につなげる。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

朝日町

【実施個所及び箇所数】

1箇所

【事業量】

木製展示架3台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林環境に関する町民の関心を高め、理解を深めることにつながる。また、これまで未活用であった換気のいいエントランスや屋外スペースを有効活用することでコロナ禍に対応した施設利用に繋がる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林環境教育の一環として、展示架には森林に関する書籍を設置したほか、期間中に親子を対象とした森林に関する本の「おはなし会」、まつぼっくりを使った「工作」を実施した。

【新たな対策・視点及び改善点】

集客力のある施設での効果的な木材製品の利用を図るとともにコロナ禍に対応した新たな施設利用に繋がる。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）				
事 業 費	214,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			180,000		34,500

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		木製展示架の作成

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

同等品の製作実績がある事業者に対して一者随契により契約

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	イベント来場者延べ200人
期待する波及効果	集客力のある施設での効果的な木材製品の利用を図るとともにコロナ禍に対応した新たな施設利用に繋がる。

【公的関与の必要性】

町有施設での備品導入であるため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町有施設の整備であるため、今後も引き続き担当課により適切に管理する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	竹製ポールをつかったのぼりを設置
ポスター掲示	実施中	みえ森を使った県産ヒノキ製の棚であることを示すポスターを掲示
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中	購入した木製棚にロゴマークプレートを貼り付け

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり 写真、掲示ポスター

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町
事業名	森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）		

4. 効率性：主な経費内訳

木製展示架購入

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木製展示架購入	W585 D585 H1597	台	3.00	71,500	214,500	三重県産ヒノキ製
		合計			214,500	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）
-----	-------------------------

7の（1）．写真

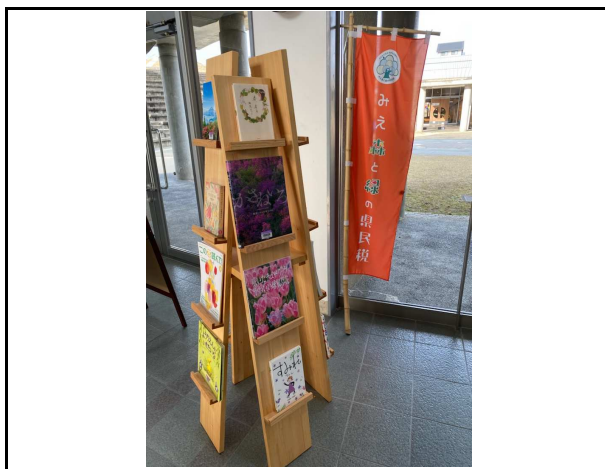


写真1

エントランスで活用中の展示架とのぼり（花の本を設置）

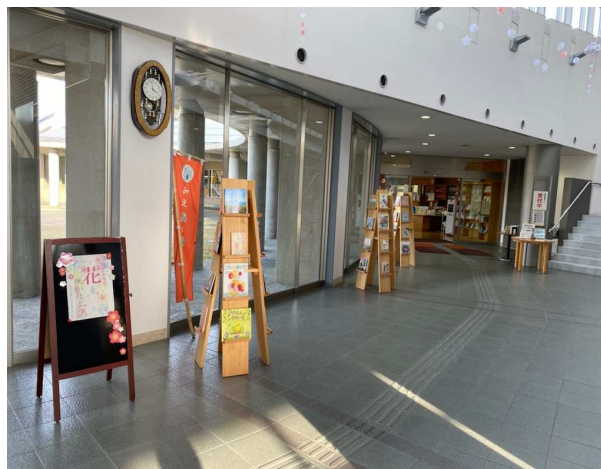


写真2

エントランスで活用中の展示架とのぼり（花の本を設置）



写真3

展示架 ロゴプレート

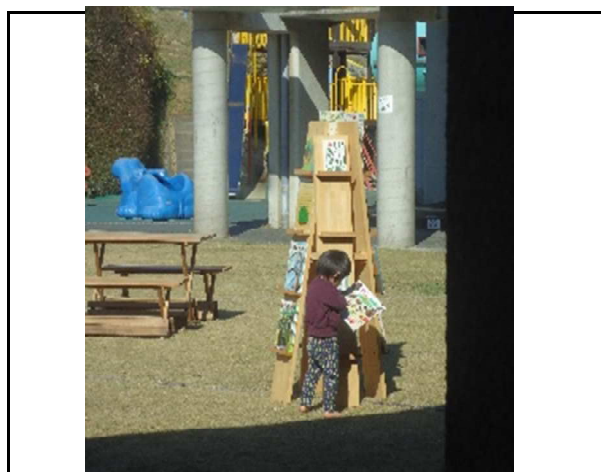


写真4

屋外で活用中の展示架



写真5

屋外で展示架活用時に併催したおはなし会（題材は森に関する本）



写真6

屋外で展示架活用時に併催した工作教室（まつぼっくりを使ったクリスマスツリーづくり）

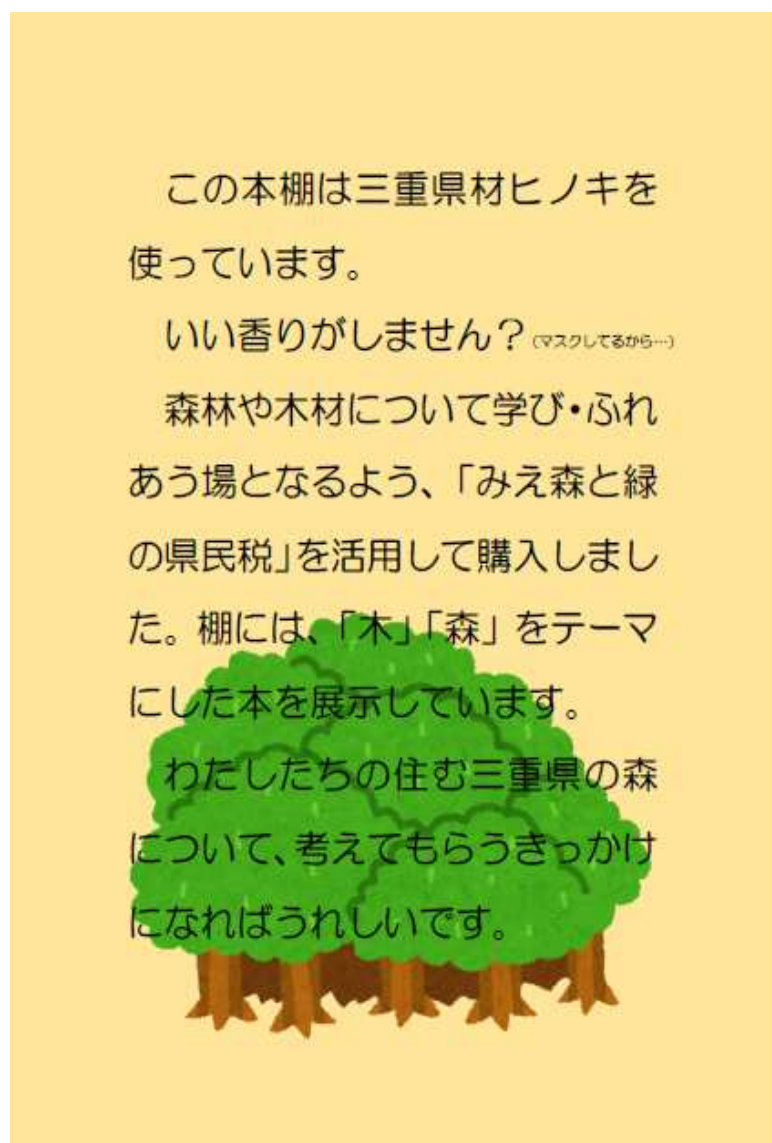
第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）
-----	-------------------------

7 の（2）. その他資料

施設内に掲示したポスター



川越町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

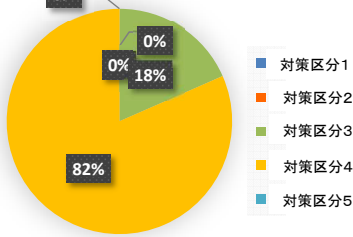
市町名	川越町	三重県
人口（人）	15,283	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	14.3%	12.4%
森林面積(ha)	0.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	川越北小学校自然教室	801,464	575,000			575,000			
2	3	川越南小学校自然教室	443,524	335,000			335,000			
3	4	川越南小学校図書室机・椅子整備事業	3,839,000	3,760,000				3,760,000		
4	4	総合センター椅子整備事業	470,800	268,000				268,000		
5	4	川越町あいあいホール改修工事（基金積立）	10,073,000	10,073,000						10,073,000
計			15,627,788	15,011,000	0	0	910,000	4,028,000	0	10,073,000

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	朝明川の河口に位置する当町は森林を有していない一方で、人口が増加傾向にあり年々人口割合も県平均を上回っています。このような中で、学校施設に木製備品を導入することで、子供たちが日常的に木に触れ森林について学ぶ場づくりを行うのと併せて、小学校における自然教室を通じて自然に触れ森の木の大切さや親しみの気持ちを持った人づくりを進めます。
事業実施により期待される効果	緑豊かな環境の中で、集団生活を通じ中学生活においての「仲間づくり」や「信頼関係」の土台を築き、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ機会を増加させることができる。また、県産材を使用することにより、三重県の森林や木材への関心を深めてもらい木の温もり、肌触りや香りを身近に感じてもらうことができ、木材利用に対する理解や関心が深まった。
情報発信への取組	当町の公式サイトを利用して「令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を掲載し情報提供を行いました。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑲ 基金積立（木材利用等）	1,396	1,396
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	1,396	1,396

【記載要領】

ア、事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	川越北小学校自然教室				
事 業 費	801,464 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			575,000	0	226,464

1. 事業の目的

野外活動を通じ自然に親しみ、自然を大切にする気持ちを育てる。
 集団生活の中で、自分の役割を果たし、互いに協力し合うことにより、仲間どうしのつながりを深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

小学5年生を対象に、四日市市で1泊2日の集団生活を送る中で、ウォークラリーやキャンプファイヤーなどで自然と触れ合う活動を実施する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

川越町

【実施箇所及び箇所数】

1 箇所（朝明溪谷・朝明茶屋）

【事業量】

自然教室 1 回

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

緑豊かな環境の中で、集団生活を通じて、社会性を育むことができ、さらに自然に触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ習慣が身についた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

屋外活動では、昼間は屋外での体験を中心に学習し、夕方は屋内で体験のふりかえりを行うことで一層の学習効果の向上を図った。

【新たな対策・視点及び改善点】

新型コロナウイルス感染症対策を講じて制限のある中ではあるが、今後も継続的に自然教室を実施することにより、森林や緑と接し、児童・生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図ることを目的として実施する。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	川越北小学校自然教室				
事 業 費	801,464 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			575,000	0	226,464

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
直営				

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

直営のため該当しない。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生徒 91 人（教員 9 人）
期待する波及効果	保護者家族とのキャンプなどに行くきっかけに期待できる

【公的関与の必要性】

小学校の授業の一環であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等でなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	町民
学校だより等掲載	実施後	生徒、保護者

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

特になし

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町
事業名	川越北小学校自然教室		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
交通費（バス代）		台	3.00	66,075	198,225	
宿泊代		人	91.00	1,370	124,670	
ウォークラリー活動費用		人	91.00	397	36,127	防虫剤、冒険協会指導代
キャンプファイヤー活動費用		人	91.00	801	72,891	薪材
レクリエーション活動費		人	91.00	1,583	144,053	飯ごう用機材の購入、焼きマシュマロ創作活動費
食費	朝 1 食、昼 1 食、夜 2 食	人	91.00	2,478	225,498	交付対象外
		合計			801,464	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越北小学校自然教室
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

自然教室（焼杉体験の様子）



写真2

自然教室（焼杉体験の様子）



写真3

自然教室（ウォークラリーの様子）

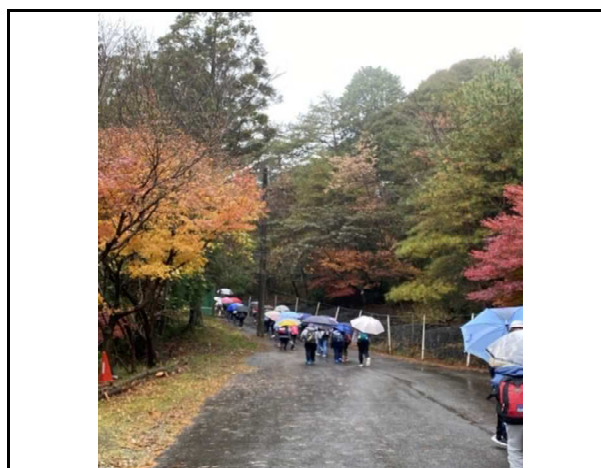


写真4

自然教室（ウォークラリーの様子）

写真5

写真6

写真5

写真6

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越北小学校自然教室
-----	------------

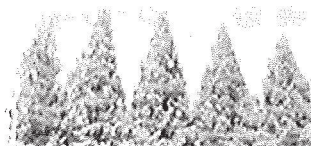
7 の（2）. その他資料

□川越北小だより（令和 3 年 1 2 月 1 5 日発行 第 2 8 号）

自然教室 5 年生 1 2 月 7 日・8 日＜＜四日市市少年自然の家＞＞

川越町立川越北小学校だより

メタセコイア



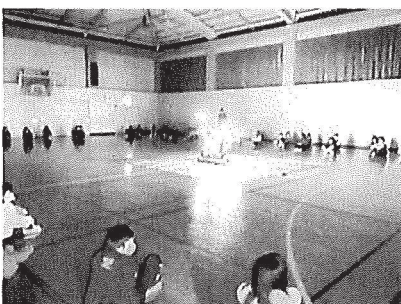
こころ 心 ゆたかであたくましく、みずか すす 自ら進んで学ぶ意欲にあふれた子どもの育成

令和3年12月15日 第28号

たいせつ 大切に ちから 力 ①自分の考えをもつ ②自分を表現する ③人を大切にする ④挑戦する ⑤健康であたくましい

しぜんきょうしつ ねんせい がつなのか ようか よっかいちししゅうねんしぜん いえ
自然教室 5年生 12月7日・8日 《四日市市少年自然の家》

トライ きょうどう えがお さむ ま ねん きずな
「TRY!～協働・笑顔 寒さに負けない5年の絆～」をテーマに、
しぜんたいけん しゅうだんせいかつ と く わたし しぜん じぶん
自然体験・集団生活に取り組みました。私からは、「自然」「自分」
「自治」の3つのキーワードを大切に自然教室を成功させようと言
しました。



あいにくの雨で、いくつかの活動を組み替え、変更し、しおりにな
いスケジュールで取り組むことになりました。部屋長会議で出された
変更点をしっかりとメモし、わからないことは確かめ、責任をもって
かくへや ひと つた へやちよう
各部屋の人に伝えた部屋長さん、その連絡を聞いて一人ひとりが
自分の役割を果たし、見事にやり遂げた5年生でした。

キャンドルファイヤーも、係の人たちがみんなが楽しめるようにと
進行し、まわりもそれに応え、みんなで盛り上がりました。その他、
やきすぎたいけん ひ お たいけん しぜんたいけん おこな ひとり
焼杉体験、火起こし体験、ウォークラリーと自然体験など行い、一人
ひとりが自分で考え、わからないことは聞き合い取り組みました。

コロナ禍でこうして行えた自然教室は、子どもたちの心に思い
て出として刻まれたことと思います。保護者のみなさまには、準備等で
いろいろと支えていただきありがとうございました。

どうじつ ようす 当日の様子は、ホームページに詳しく掲載しています。



ちょうりじっしゅう
調理実習

ねんせい
5・6年生

かんせんしょうたいさく と かていか ちょうり
感染症対策を取りながら、家庭科の調理

じっしゅう と く
実習に取り組んでいます。メニューは、5・6

ねんせい
年生ともにごはんのみそ汁です。昨年度はコロ



かんせんしょうかんせんかくだいぼうし ちょうりじっしゅう おこな ねんせい はじ じっしゅう
ナウイルス感染症感染拡大防止から調理実習を行わず、6年生も初めての実習となりました。

た きゅうしょくどうようおな む すわ もくしょく
食べるときは、給食同様同じ向きで座り、黙食しています。

ねんど おも ぎょうじ
R4年度の主な行事について

らいねんど おも ぎょうじ げんじてん い か よてい こんご かんせ
来年度の主な行事について、現時点では以下のように予定しています。今後のコロナウイルス感染

かくだい じょうきょう よてい へんこう しょうち
拡大の状況などから予定が変更することがあります。ご承知おきください。

うんどうかい ぜんがくねん がつ ど うてんじゅんえん
運動会（全学年） 10月22日（土）雨天順延

らいねんどいこう うんどうかい あき かいさい よてい
来年度以降、運動会は秋の開催になる予定です。

しゅうがくりょこう ねんせい がつ にち もく にち きん
修学旅行（6年生） 11月10日（木）11日（金）

さんしおんがくかい ねんせい がつ にち もく にち きん
三ツ音楽会（6年生） 11月17日（木）もしくは 18日（金）

ほんこう ねんせい さんか か ねんかんちゅうし らいねんど ねんせい
本校は、4年生が参加していますが、コロナ禍で2年間中止となり、来年度の6年生が

さんか
参加します。

しぜんきょうしつ ねんせい がつ にち か にち すい
自然教室（5年生） 11月29日（火）30日（水）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	川越南小学校自然教室				
事 業 費	443,524 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			335,000	0	108,524

1. 事業の目的

野外活動を通じ自然に親しみ、自然を大切にする気持ちを育てる。
 集団生活の中で、自分の役割を果たし、互いに協力し合うことにより、仲間どうしのつながりを深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

小学 5 年生を対象に、四日市市で 1 泊 2 日の集団生活を送る中で、キャンプファイヤー など
 自然と触れ合う活動を実施する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

川越町

【実施箇所及び箇所数】

1 箇所（朝明溪谷・朝明茶屋）

【事業量】

自然教室 1 回

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進める
うでで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

緑豊かな環境の中で、集団生活を通じて、社会性を育むことができ、さらに自然に触れ合うことで、身近な
 木や緑に親しむ習慣が身についた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

屋外活動では、昼間は屋外での体験を中心に学習し、夕方は屋内で体験のふりかえりを行うことで一層の学
 習効果の向上を図った。

【新たな対策・視点及び改善点】

新型コロナウイルス感染症対策を講じて制限のある中ではあるが、今後も継続的に自然教室を実施すること
 により、森林や緑と接し、児童・生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図ることを目的として実施す
 る。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	川越南小学校自然教室				
事 業 費	443,524 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			335,000	0	108,524

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
直営				
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
直営のため該当しない。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	生徒 69 人（教員 9 人）			
期待する波及効果	保護者家族とのキャンプなどに行くきっかけに期待できる			
【公的関与の必要性】				
小学校の授業の一環であるため。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備等でなく、転用や目的外使用は想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施後	町民		
学校だより等掲載	実施後	生徒、保護者		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
特になし				

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町
事業名	川越南小学校自然教室		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
交通費（バス代）		台	3.00	48,533	145,599	
宿泊代		人	69.00	1,260	86,940	
キャンプファイ ヤー活動費用		人	69.00	1,484.943	102,461	火おこし体験セッ ト、焼き杉、手袋、 ごみ袋
食費	朝 1 食、昼 1 食、夜 1 食	人	69.00	1,463.00	100,947	交付対象外
冷暖房料		人	69.00	109.82	7,577	交付対象外
		合計			443,524	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越南小学校自然教室
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

自然教室の様子



写真2

自然教室（キャンプファイヤーの様子）



写真3

自然教室（飯ごう炊飯体験の様子）



写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越南小学校自然教室
-----	------------

7 の（2）. その他資料

□川越南小だより（令和 3 年 1 2 月 2 3 日発行 No.1 6）文責：校長 渡瀬幹久

自然教室での 5 年生の成長

川越南小だより



川越町立川越南小学校

令和3年12月23日発行

№ 16

学校教育目標 一生懸命がんばる子

文責：校長 渡瀬 幹久

めざす学校の姿 いじめを許さない学校

2学期の間、保護者の皆様には、本校教育に、ご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

子どもたちは2学期を通して、運動会などの学校行事、毎日の授業や掃除において、常に「一生懸命がんばる」姿を見せてくれていました。「一生懸命がんばる」ことを積み重ねることで、子どもたちそれぞれに成長する姿がありました。

終業式では子どもたちの成長を評価するとともに、冬休みには家での学習や掃除なども一生懸命がんばるように話をしますので、がんばった時には大いに褒めてやっていただきたいと思います。

冬休みを安全に過ごし、よいお年をお迎えください。来年もよろしく願いいたします。

自然教室での5年生の成長

12月9日10日の自然教室は12月にもかかわらず穏やかな天気恵まれ、二日間を楽しく過ごすことができました。5年生の子どもたちは、自然の中でのウォークラリーやキャンプファイヤー、野外炊事の体験を通して、「仲間と助け合って協力すること」の大切さを、しっかりと学んでいました。特に野外炊事では、火を起こす子、苦労して起こした火を絶やさないように大切に火の薪に移す子、そして焚き付けの枝や薪を次々と運んでくる子や鍋の準備をする子など、まさに「協力」する姿が見られました。

自然教室の二日間で協力することを通して、友達とのかかわりを深め、子どもたちはまた一つ大きく成長したように感じました。



ウォークラリー (展望台) キャンプファイヤー 野外炊事
 ※自然教室の詳しい様子は学校のホームページで紹介しています。

学校評価アンケートのお礼

学校評価アンケートのメールによる回答ありがとうございました。詳しい結果については3学期にご報告させていただくとともに、次年度の学校教育ビジョン策定に活かせるようにしていきます。また、いただいたご意見の中で、すぐに対応が必要なものは、職員に改善を指示いたしました。

私が初めて川越南小学校に赴任した7年前には落ち着いて授業ができないクラスがありました。しかし、保護者の皆様のご協力のおかげや学校組織の改善もあり、本年度はこれまでのところ、落ち着いて授業ができないクラスはありません。授業が落ち着いてできなければ、当然のことながら学力も低下しますし、いじめも起きやすくなります。

本年度はどのクラスの授業でも子どもたちの一生懸命な姿が見られ、全国学力・学習状況調査などの結果からも、ここ数年は学力が確実に向上してきています。(詳しくは学校のホームページ「お知らせ」の全国学力・学習状況調査結果報告をご覧ください。)

今後も安心・安全な落ち着いた学校であり続けるために、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

校長の目(児童も読んでください)

2学期もこのコーナーでは校長として大切に見ていることを紹介して、それができているかをみんなで考えてもらいました。どれも安心・安全で、今のように落ち着いた学校であり続けるためには大切なことです。今できているかをふりかえって、もしできていないことがあれば、気をつけていきましょう。

黙って一生懸命に掃除しよう

掃除は時間いっぱい、黙って頑張りましょう。

トイレのスリッパをそろえよう

きれいな環境の学校は、落ち着いた授業ができます。逆にトイレのスリッパがいつも乱れているような学校では、授業も落ち着かず、さわがしくなりがちです。

SNSなどのネットやゲーム利用のルールを守ろう

ゲームやインターネットがやめられなくなってしまうネット依存^{いぞん}や SNS^{じょう} 上での悪口^{わるぐち}やうわさ
 の書き込み^{か こ}から、友人関係^{ゆうじんかんけい}の悪化^{あつか}やいじめにつながるネットトラブル^{ふせ}を防ぐために、冬休みの前^{ふゆやす まえ}
 にもう一度家庭^{いちどかてい}のルールを家族^{かぞく}で話し合^{はな}って確認^あしてください。
 冬休み^{ふゆやす}中^{ちゅう}も「早ね^{はや} 早おき^{はや} 朝ごはん^{あさ}」を意識^{いしき}した生活^{せいかつ}を心^{こころ}がけて、健康^{けんこう}に過^すごしましょう。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	川越南小学校図書室机・椅子整備事業				
事 業 費	3,839,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,760,000	0	79,000

1. 事業の目的

川越南小学校の生徒に、木製品にふれて関心を持ってもらい、木について学習を行っていく。

2. 事業実績概要

【事業内容】

川越南小学校の図書室で利用する机・椅子を整備し、利用者に森林等の実情や問題について理解を深めてもらい関心を持ってもらう場をつくり木育学習を進めていく。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

川越町

【実施個所及び箇所数】

1 箇所（川越南小学校図書室）

【事業量】

図書室用椅子 W480×D495×H760 57脚

図書室用机 W1800×D900×H700 9台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

県産材を使用することにより、木の温もり等の良さを感じてもらい、木材利用に対する理解が深まった。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

児童が日常的に授業や休憩時間等で図書室を利用する際に県産材の木製品に触れる機会が増え森林や木材に対しての親しみを感じ理解を深める。そのために、授業等で森林や木材について、学べる機会を設けた。

【新たな対策・視点及び改善点】

授業や休憩時間等で図書室を利用する際に、みえ森と緑の県民税市町交付金事業での整備をした机や椅子を紹介してもらい、生徒に森林や木材について学びふれあう場を創出する。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	川越南小学校図書室机・椅子整備事業				
事 業 費	3,839,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,760,000	0	79,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合			指名競争入札による

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

県内登録業者から県民税の契約実績のある業者を選定し、指名競争入札にて実施。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生徒 3 9 5 人
期待する波及効果	県産材利用の促進に寄与する。また、児童家族への普及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

公共施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

公共施設であるため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	町民
パネル展示	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組の一環として、役場町民ホールにてパネル展示した。
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中・後	購入設置した備品本体にロゴマーク標示シールを設置。
学校だより等掲載	実施後	川越南小だよりにて掲載し、生徒・保護者に配布。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

特になし。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町
事業名	川越南小学校図書室机・椅子整備事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
図書室椅子	W1800×D900×H1700mm	脚	57.00	36,735	2,093,895	
図書室机	W480×D495×H760・SH430mm	台	9.00	135,450	1,219,050	
椅子産業廃棄物		脚	49.00	1,846	90,454	
机産業廃棄物		台	9.00	3,692	33,228	
机・椅子現場引き取り・運搬費		式	1.00	53,373	53,373	
消費税		式	1.00	349,000	349,000	
		合計			3,839,000	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越南小学校図書室机・椅子整備事業
-----	-------------------

7の(1)．写真



写真1

導入した机・椅子の配置状況



写真2

導入した机・椅子の配置状況



写真3

導入した椅子



写真4

ロゴマーク表示の状況



写真5

パネル展示の状況



写真6

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越南小学校図書室机・椅子整備事業
-----	-------------------

7 の（2）. その他資料

□川越南小だより（令和 4 年 3 月 11 日発行 No.22）文責：校長 渡瀬幹久

図書室の机と椅子が新しくなりました

川越南小だより



川越町立川越南小学校

令和4年3月11日発行

No. 22

学校教育目標 一生懸命がんばる子

文責：校長 渡瀬 幹久

めざす学校の姿 いじめを許さない学校

新型コロナウイルス感染状況と卒業式の予定

学級閉鎖は現在1クラス、一昨日までが1クラスの計2クラスと、まだまだ油断はできない状況ですが、卒業式は席の間隔をあけるなど、感染対策をしながら練習を進めており、今のところ予定通りの内容で行います。

マスクをして、感染対策をしながら教育活動を行っているので、教育委員会や保健所の調査において、現在までのところ学校内で濃厚接触者と判断される事例はありませんが、放課後マスクを外していっしょにお菓子などを食べていて濃厚接触者と判断される事例があります。また、オミクロン株の特徴として、のどの痛みや鼻水などの症状が多いようです。発熱はもちろん、このような症状がある場合には、早めに医師の診断を受けるとともに、無理をせずに登校を控え、体調の回復に努めてください。同様に家族に風邪症状等がある場合にも登校は控えてください。

卒業式をはじめ、本年度の残りの学校教育活動が無事にできますように、保護者の皆様にもご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

校長の目（児童も読んでください）

「登下校中に大地震が起きたらどうするか」

今から11年前の2011年3月11日午後2時46分に「東日本大震災」が起きました。ちょうど下校中の児童もいたそうです。東日本大震災はマグニチュード9.0、記録に残っている中では、日本で起こった最大の地震と言われています。東北地方の太平洋側が震源地でしたが、宮城県や福島県では大きな津波が起こって、たくさんの方が亡くなったり、家が流されたりしました。このあたりでも揺れて校舎から避難したり、先生たちが下校中の児童の安全確認をしたりしました。

地震はいつ起こるかわかりません。ひょっとすると登下校中に起こることもあります。もし登下校中に地震が起きた時には、まずブロック塀や屋根瓦など倒れてきそうなもの、落ちてきそうな物があるところから離れ、揺れがおさまるまで低い姿勢をとって頭をランドセルなどで守ります。また、大きな地震のあとは津波がくるかもわかりません。高いところに避難することも大切です。

揺れがおさまったら、どこに避難するかを家の人とよく話し合っておいてください。学校が近ければ学校に避難してくるのがいいですが、家に近い場合も、家に誰もいない時はどうするかまで話し合っておいてください。

「朝明ライオンズクラブ」さんからの贈り物

本年度2回目となりますが「朝明ライオンズクラブ」さんから図書カードをいただき「高齢者の人権を考える図書」を購入させていただきました「朝明ライオンズクラブ」さんからは毎年図書カードなどのご支援をいただいていたのですが、本年度でクラブが解散されるということで、ご支援いただくのはこれで最後となります。

ぜひみなさんに読んでほしい本です。図書室にコーナーがあるので、読んでみてください。

また、朝明ライオンズクラブさんからは、特別支援教育のために5万円の支援もいただき、自立活動や音楽に使うキーボードも2台購入させていただきました。



図書室の机と椅子が新しくなりました

下の写真にある三重県産の木材でつくられた新しい机と椅子は、「森と緑の県民税」から補助をいただき、買っていたいたものです。木のぬくもりがあり、落ち着いて読書ができるので、ぜひ図書室に行ってどんどん本を読んでください。



第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	総合センター椅子整備事業				
事 業 費	470,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			268,000	0	202,800

1. 事業の目的

いきいきセンターの椅子を木製品にて整備し、来庁する町民に改めて木の良さを感じていただき、木について学ぶきっかけをつくり、森林や木材についての理解を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

いきいきセンターに椅子4脚を整備。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

川越町

【実施箇所及び箇所数】

1 箇所（総合センター内、いきいきセンター）

【事業量】

ロビーベンチ 4台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

県産材を使用することにより、木の温もりや木の肌触りや香りを身近に感じることができ、木材利用に対する理解が深まった。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

いきいきセンター（総合センター）利用者に対し、県産材の木製品に触れる機会が増え森林や木材に対しての親しみを感じ理解を深めるため、同施設内で県民税のパネル展示を行った。

【新たな対策・視点及び改善点】

いきいきセンター（総合センター）利用者へ、森林や木に対して学べる場を創設していく必要がある。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	総合センター椅子整備事業				
事 業 費	470,800 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			268,000	0	202,800

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合			見積り入札による

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

県内登録業者から県民税の契約実績のある業者を選定し、指名競争入札にて実施。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	施設利用者（年間 65, 112 人：月平均約 5, 426 人）
期待する波及効果	県産材利用の促進に寄与する。利用者の家族への普及効果。

【公的関与の必要性】

公共施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

公共施設であるため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	購入設置した備品本体にロゴマーク標示シールを設置。
パネル展示	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組の一環として、役場町民ホールにてパネル展示した。
HP掲載	実施後	町民

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

特になし。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町
事業名	総合センター椅子整備事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
ロビーベンチ	W1800×D900×H1700mm	台	4.00	107,000	428,000	
消費税		式	1.00	42,800	42,800	
		合計			470,800	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	総合センター椅子整備事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

導入した椅子の状況



写真2

導入した椅子の状況



写真3

ロゴマーク表示の状況



写真4

パネル展示の状況



写真5

写真5



写真6

写真6

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり				

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業
-----	------------------

7 の（2）. その他資料

☐ みえ森と緑の県民税市町交付金事業【HP】

川越町におけるみえ森と緑の県民税を活用した取組

<https://www.town.kawagoe.mie.jp/index.php/business/moritomidori/>

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業の実績

☐ パネル展示

「令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金」により整備されました。